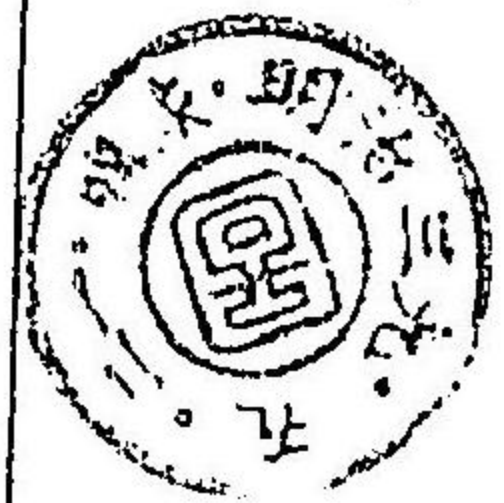


1-695 90-199

再版

法學博士岡野敬次郎著



日本手形法

中央大學發行

一 凡ソ書繁ナレハ則チ初學者入り難ク簡ナレハ則チ覈
查ニ適セス其宜ヲ得ルハ夙ニ著述者ノ難シトスル所蓋
シ本書亦此通弊ヲ脱スル能ハス即チ或ハ精ニ過キ或ハ
粗ニ失スルノ嫌アリト雖モ幸ニ手形法ヲ初メテ學フ者
ノ指砭ト爲リ又講法家參考ノ資ト爲ルヲ得ハ著者ノ光
榮焉ニ過キス

一 僅僅五百頁ノ小冊子手形法各種ノ制度ヲ論スルニ於
テ闕遺ナキヲ期スルハ固ヨリ本書ノ目的ニ非ス隨テ論
及セサル問題亦尠カラス或ハ斷案ヲ下シテ特ニ詳説ヲ
略シタルモノアリ然レトモ學説ノ要旨ヲ紹介スルニ至
リテハ蓋シ餘蘊ナカルヘシト信ス

一 判決ハ中央大學發行ノ大審院判決錄ニ據リ引照ハ概

ホ遺漏ナキヲ期セリ其是非ノ論評ヲ試ミタルモノ亦數多アリ

一 手形發達ノ沿革ハ現行原則ノ解明ニ資スル所多キヤ論ナシト雖モ而カモ本書ノ史的叙述ヲ省キタルハ研鑽未タ此ニ及ハサルカ故ナリ

一 著者ハ多年東京帝國大學法科大學ニ於テ商法講座ヲ擔任シ手形法ヲ講スルニ當タリテ正確ニ思想ヲ表スル恰當ノ文辭ナキニ苦メリ而シテ著者ノ試ニ創定シタル術語ニシテ我邦學者ノ採擇ヲ得タルモノアルハ著者ノ竊ニ以テ榮トスル所ナリ本書ヲ公ニスルニ臨ミ敢テ之ヲ改メサルハ著者慣用ノ文辭ナレハナリ

本書ニ引照シタル手形法ノ著書ハ其種多シトセス

- 一 グリフォンノート Grinhut, Wechselrecht. 2Bde 1897.
- 一 レーマン O. Lehmann, Lehrbuch des Deutschen Wechselrechts. 1886.
- 一 テール Thöl, Das Handelsrecht (Zweiter Band. Das Wechselrecht). Vierte Auflage. 1878.
- 一 カヌスタイン v. Canstein, Lehrbuch des Wechselrechts. 1890.
- 一 ヰヒテール O. Wächter, Das Wechselrecht des Deutschen Reichs. 1883.
- 一 ルノー Renard, Lehrbuch des Allgemeinen Deutschen Wechselrechts. 1863.
- 一 クンツ Kuntze, Deutsches Wechselrecht. 1862.
- 一 クンツ Kuntze-Brachmann, Das Wechselrecht in Endemann's Handbuch des Deutschen Handels-, See- und Wechselrechts. Vierter Band. 1884.
- 一 ハルトマン Hartmann, Das Deutsche Wechselrecht. 1869.
- 一 リオンカン Lyon-Caen et Renaul, Traité de Droit Commercial. Tome quatrième.
- 一 スタウブ Staub, Kommentar zur Allgemeinen Deutschen Wechselordnung. Vierte

Aufgabe. 1901.

一 ベルンスタイン Bernstein, Allgemeine Deutsche und Allgemeine Österreichische Wechselordnung. 1898.

一 レーベイン Reibin, Allgemeine Deutsche Wechselordnung.

一 ホフマン Hoffmann, Erläuterung der Wechselordnung. 1859.

一 デルンブルグ Dernburg, Das Bürgerliche Recht des Deutschen Reichs und Preussens. Zweiter Band. Zweite Abtheilung. 1901.

其他 コーザック Cosack, Lehrbuch des Handelsrechts. Vierte Auflage. 1898. ガーラ

イスマハ Gareis, Das Deutsche Handelsrecht. Sechste Auflage. 1899. トントニホフ

特ニ書名ヲ舉ケサルトキハ ゴールドシュミット Goldschmidt, System des Handelsrechts. Dritte Auflage.

1891. ナリ

以上ハ唯手形法全般ヲ説明シタル普通ノ書名ヲ列舉シタルナリ其各制度若クハ箇箇ノ事項ヲ論述セルモノニ至リ

テハ本書中各其所ニ於テ出所ヲ明示セルヲ以テ茲ニ掲ケス

日本手形法目次

緒言
總論

第一章	手形法	一丁
第二章	手形上ノ權利	一五丁
第三章	手形行爲	二三丁
第四章	手形ノ有價證券タル性質	三七丁
第五章	手形理論	五一丁
第六章	非手形關係	九八丁
第一節	手形豫約	九九丁
第二節	原因關係	一〇二丁

第三節	資金關係	一〇三丁
第四節	手形授受ノ既存ノ法律關係ニ及ホス效力	一一八丁
第五節	不當利得ノ償還請求權	一二七丁
第七章	爲替訴訟及ヒ手形抗辯	一三四丁
第八章	國際手形法	一四三丁
第九章	時效	一五二丁
各論		一五五丁
爲替手形約束手形		同丁
第一章	振出	同丁
第一節	振出ノ方式	同丁
第一款	爲替手形	一六〇丁

第二款	約束手形	一七二丁
第三款	變形手形	一七二丁
第二節	任意事項	一八二丁
第三節	遠式事項	一八八丁
第四節	振出ノ效力	一八九丁
第一章	裏書	一九三丁
第一節	裏書性	同丁
第二節	裏書ノ方式	一九五丁
第三節	裏書ノ效力	二〇二丁
第四節	一部裏書	二一一丁
第五節	戻裏書	二一四丁
第六節	裏書禁止ノ裏書	二一九丁
第七節	支拂拒絕證書作成ノ期間經過後ノ裏書	同丁

第八節	取立委任ノ裏書	二二五丁
第九節	質入裏書	二二九丁
第三章	引受	二三〇丁
第一節	引受要求ノ呈示	同 丁
第二節	引受ノ方式	二四四丁
第三節	引受ノ效力	二四八丁
第四節	單純ナラサル引受	二五二丁
第四章	保證	二六一丁
第五章	支拂	二七〇丁
第一節	支拂要求ノ呈示	同 丁
第二節	支拂ノ時期	二七四丁
第三節	支拂ノ目的	二八〇丁
第四節	一部支拂	二八一丁

第五節	所持人ノ資格	二八二丁
第六節	支拂ノ體様	二九三丁
第七節	手形金額ノ供託	二九四丁
第六章	遡求權	二九七丁
第一節	緒論	同 丁
第二節	擔保請求權	三〇〇丁
第一款	引受拒絕ノ場合ニ於ケル擔保請求	同 丁
第二款	引受人破産ノ場合ニ於ケル擔保請求	三一二丁
第三節	償還請求權	三二二丁
第一款	償還請求ノ條件	三二七丁
第二款	償還金額	三三六丁
第三款	戻手形	三四二丁
第四款	償還ノ體様	三四六丁

第五款	支拂拒絶證書作成ノ免除	三四八丁
第四節	通知	三五八丁
第七章	參加	三七八丁
第一節	緒言	同 丁
第二節	豫備支拂人	三八七丁
第三節	參加引受	三九六丁
第四節	參加支拂	四〇九丁
第五節	多數參加ノ競合	四一六丁
第八章	拒絶證書	四二八丁
第一節	拒絶證書ノ性質	四三〇丁
第二節	拒絶證書ノ作成者	四三三丁
第三節	拒絶證書ノ方式	四三六丁
第九章	複本及ヒ贍本	四五四丁

六

第一節	複本	四五六丁
第二節	贍本	四七二丁
小切手		四八一丁

日本手形法目次
終

七



日本手形法

法學博士 岡野敬次郎著

緒言

手形法トハ手形ノ交通ニ關スル法ニシテ其規定セル法規ノ總稱ニシテ我
商法ハ其第四編ヲ手形ト題シ之ニ關スル規定ヲ掲擧セリ外國ニ於テ英米
ノ如キハ特別法ノ形ヲ以テ手形法ヲ制定スルハ當然ナルモ獨尙其他商法
法典アルニ拘ハラス尙ホ爲替手形及ヒ約束手形ニ關スル法規ヲ一括シテ
之ヲ特別法トシ佛國其他多數ノ法典國ハ此二種ノ手形ニ關スルモノヲ法
典ノ一部トス之ヲ法典中ニ位セシムルハ非ナルニ非スト雖モ手形上ノ法

緒言

律關係ヲ以テ商事契約ノ一種ト明定スルコト佛法其他ノ法律ノ如キハ近世ノ學者ノ是認セサル所タリ蓋シ爲替手形及ヒ約束手形ノ交通ニ關スル現象ハ特別ノ發達ヲ爲シ特別ノ歴史ヲ有シ又特別ノ理論ニ依リテ説明スルヲ得ヘキモノアレハナリ之ヲ特別法トセス商法中ニ列スルニ於テモ之ヲ獨立ノ一編トシ以テ特殊ノ地位ヲ與ヘサルヘカラス小切手ノ私法上ノ地位ニ付テハ外國ノ制度區區ニシテ所謂手形法アリテ小切手法ナキモノアリ手形法ヲ商法ノ一部トシテ小切手法ヲ特別法トスルモノアリ商法中ニ二者ヲ併セテ規定スルモノアリ英國法ハ小切手ヲ爲替手形ノ一種ト認メ手形法中ニ之ヲ定ム我商法ハ小切手ヲ一種特別ノ手形トシタリ第四編ヲ手形ト題シ爲替手形約束手形及ヒ小切手ニ關スル特別規定ヲ網羅セリ第一章總則ハ各種手形共通ノ原則ヲ掲ケ三種ノ手形ハ各一章ヲ成ス手形ハ皆一定ノ金額ノ支拂ヲ目的トス之ヲ手形金額ト稱シ手形ニハ之カ記載ヲ必要トス

爲替手形及ヒ小切手ニ在リテハ發行者自ラ支拂ヲ爲スヲ約セス他人ヲシテ之カ支拂ヲ爲サシムルヲ目的トス之ヲ支拂ノ委託ト稱ス約束手形ハ發行者自ラ支拂ヲ爲スヘキヲ約スルモノニシテ之ヲ支拂ノ約束ト云フ手形ノ發行者ハ振出人ナリ支拂ノ委託ヲ受クル者ハ支拂人ナリ手形金額ノ支拂ヲ受クヘキ者トシテ指定セラレタル者ハ受取人ナリ振出人ハ手形ニ署名セサルヘカラス而シテ約束手形ノ振出人ハ支拂ヲ爲スヘキ債務者ニシテ自ラ支拂ノ債務ヲ負擔スルカ故ニ支拂人ナルモノナシ之ニ反シテ爲替手形及ヒ小切手ニ在リテハ振出人ハ他人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルノ意思ヲ表示シ自ラ支拂ヲ爲スノ債務ヲ負擔セス支拂人トシテ指定セラレタル者亦手形ノ發行ニ因リテ直チニ債務者ト爲ルノ理ナキナリ約束手形ニハ其發行ノ當初ヨリ絕對ノ債務者アリテ爲替手形及ヒ小切手ニハ主タル債務者ト稱スルモノナシ然レトモ爲替手形ノ支拂人ハ特定ノ行爲ヲ爲シ之ニ依リテ絕對ノ債務者タルヲ得其行爲ハ引受ニシテ此行爲アリタル

トキハ支拂人ハ其名稱ヲ變シテ引受人ト爲ル此引受人カ主タル債務者トシテ絶對的支拂ノ債務ヲ負擔スルハ約束手形ノ振出人ト異ナラス而シテ支拂人ヲシテ引受ヲ爲サシムルニハ受取人ニ於テ之ニ手形ヲ呈示セサルヘカラス之ヲ稱シテ引受要求ノ呈示ト云フ支拂人此呈示ヲ受ケテ引受ヲ爲ササルトキハ之ヲ引受ノ拒絕ト稱ス引受拒絕ノ場合ニ於テハ受取人ハ其權利ヲ確實ナラシムル爲メ振出人ヲシテ擔保ヲ供セシムルコトヲ得此權利ヲ擔保請求權ト云フ爲替手形ノ振出人ハ他人ヲシテ其發行シタル手形ノ支拂ヲ爲サシムルカ故ニ其他人支拂ノ委託ニ應セサルトキハ自ラ之カ擔保ノ責ニ任スヘキナリ而シテ引受拒絕ノ事實ハ特定ノ公正證書ヲ以テ之ヲ證セサルヘカラス之ヲ引受拒絕證書ト稱ス受取人擔保請求權ヲ行ハント欲セハ公證人又ハ執達吏ニ委嘱シテ其證書ヲ作ラシメ尙ホ其請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス擔保請求ノ通知即チ是ナリ

手形金額ノ支拂アルヘキ日ハ滿期日ナリ此期日到來シタルトキハ受取人

ハ支拂ヲ求ムルヲ得ヘク之ヲ求ムルカ爲メニハ手形ヲ呈示セサルヘカラス之ヲ支拂要求ノ呈示ト稱ス此呈示ハ爲替手形ノ支拂人又ハ引受人約束手形ノ振出人小切手ノ支拂人ニ對シテ之ヲ爲ス受取人手形ヲ呈示シテ支拂ヲ得サルトキハ支拂ノ拒絕アリタリト云フ此場合ニ於テハ受取人ハ爲替手形及ヒ小切手ノ振出人ニ對シテ法律ノ規定ニ依リテ一定セル金額ヲ請求スルコトヲ得此權利ハ償還請求權ニシテ請求スヘキ金額ハ即チ償還金額ナリ而シテ償還請求權ヲ行フニハ法定ノ時期ニ支拂ノ拒絕ヲ證スル特定ノ公正證書ノ作成及ヒ請求ノ通知ヲ必要トス其證書ハ支拂拒絕證書ニシテ之ヲ作ラシムヘキ期間ハ支拂拒絕證書作成ノ期間ナリ通知ハ之ヲ償還請求ノ通知ト稱ス

手形ハ債權者タルヘキ者ヲ定ムルノ方法ニ依リテ之ヲ四種ニ區別ス記名式ハ單ニ受取人ヲ指定セルヲ云ヒ指圖式トハ甲又ハ其指圖人ノ形式ヲ以テ發行スルヲ云フ共ニ受取人ニ於テ手形ヲ移轉スルニ特定ノ行爲ヲ爲サ

サルヘカラス其行爲ヲ裏書ト稱シ之ニ依リテ手形ヲ移轉スル者ヲ裏書人ト云ヒ之ニ依リテ手形ヲ取得スル者ヲ被裏書人ト云フ被裏書人ハ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ得テ其最後ノ被裏書人ニ附スルニ通例所持人ノ名稱ヲ以テス元來裏書ノ方法ニ依リテ證券ヲ移轉セシムルニハ指圖式ノ發行ヲ必要トスルモ手形ハ素ト流通ヲ目的トスルカ故ニ記名式ヲ以テ發行シタルトキト雖モ恰モ指圖式ト同シク裏書ヲ以テ移轉スルヲ得ルモノトセリ而シテ裏書人ハ爲替手形ノ振出人ト同一ノ債務ヲ負擔シ引受拒絶ノ場合ニ於テハ擔保請求ニ應シ支拂拒絶ノ場合ニ於テハ償還請求ニ應セサルヘカラス

無記名式トハ所持人若クハ持參人ニ支拂フヘキヲ記載シ債權者ヲ指定セサルカ故ニ此形式ノ手形ハ單ニ引渡ノミニ因リ移轉スルヲ得ルナリ而シテ甲又ハ持參人ノ形式ヲ以テシタルモノハ民法ノ規定ノ上ニ於テハ其性質極メテ明瞭ヲ缺クト雖モ余ハ之ヲ一種固有ノ形式ナリト解スルヲ正當

ナリト信ス即チ第一ノ債權者トシテ指定セラレタル者ハ指圖式ト同シク裏書ヲ爲スヘク其以後ハ恰モ無記名式ノ如ク引渡ノミニ因リテ轉轉スヘキナリ

裏書ノ性質及ヒ其效力ハ茲ニ詳論スルノ限ニ在ラスト雖モ裏書ニ依リテ手形ヲ流通シタル場合ニ於テ其裏書ハ間斷ナク繼續スルヲ要ス裏書ノ連續ハ所持人カ手形上ノ權利ヲ行フニ缺クヘカラサル條件ナリ

爲替手形小切手ノ振出人ハ擔保義務者ナリ裏書人モ亦擔保義務ヲ負擔ス數多ノ擔保義務者アルトキハ法律ハ其行爲ノ順序ニ依リテ前者及ヒ後者ノ名稱ヲ用ユ前者ハ後者ノ債務者ニシテ後者ハ前者ノ債權者ナリ而シテ後者カ前者ニ對シテ擔保請求若クハ償還請求ヲ爲サントスルトキハ受取人ト同一ノ手續ヲ爲ササルヘカラス拒絶證書ノ作成及ヒ通知是ナリ

終ニ蔽ミ一言スヘキハ小切手ハ大體ニ於テ爲替手形ニ關スル規定ニ從フト雖モ其經濟的作用ニ於テ大ニ異ナルモノアリ爲替手形ハ信用證券流通

證券ニシテ小切手ハ主トシテ支拂證券ナリ信用ヲ利用シ證券ノ流通ヲ目的トスルニ非ス

總論

第一章 手形法

固有手形法
民事手形法

手形法トハ汎ク之ヲ解スレハ手形ノ交通ニ關スル法律關係ヲ定ムル法規ノ總稱ナリ然レトモ學者概テ之ヲ狹義ニ解シ固有ノ手形法及ヒ民事手形法ノ區別ヲ説キ手形ニ特別ナル規定ヲ一括シテ之ニ手形法ナル名稱ヲ附ス手形法ハ單ニ必要ナル特別法規ヲ掲クルノミ敢テ一般私法ト關涉セサルニ非ス又固ヨリ一般私法ノ原則ノ適用ヲ排斥スルニ非ス其關係恰モ商法ノ民法ニ對スルカ如ク手形法ハ即チ一種ノ特別法タリ故ニ手形ノ交通モ特別法規ノ存スルナキニ於テハ一般私法ノ定ムル所ニ從ハサルヘカラス手形行為ノ能力、手形豫約、原因關係、資金關係等ニ付テハ手形法中何等ノ規定ナク代理、債務消滅ノ原因等ニ至リテハ全ク其規定ヲ缺クニ非スト雖モ僅ニ一、二條ニ過キス凡ソ是等ノ場合ニ於テハ私法一般ノ原則ヲ適用ス

手形法ノ私
法上ノ地位

ヘキナリ手形法ハ手形ノ交通ニ關スル法規ヲ網羅スルニ非ス其之ニ私法
 一般ノ原則ヲ適用スル場合ニ於テ學者民事手形法ノ名稱ヲ附ス
 手形法ハ私法ノ一部ナリ然レトモ私法中如何ナル地位ヲ占ムヘキカニ付
 テハ學者ノ所說一ナラス手形ヲ一種ノ契約トシ賣買質貸借委任消費貸借
 等ト列ヲ同ウスヘキモノトシタル者アリ支拂若クハ代物辨濟中ニ説明シ
 或ハ更改債權ノ讓渡多數當事者ノ債權等ト共ニ論シタル者アリ又信用行
 爲支拂行爲ノ一種トスル者ニ至リテハ今日ニ於テモ稀ナリトセス而シテ
 契約トスルハ手形上ノ債務ノ原因ヨリ觀察シタルナリ債權ノ讓渡ト同列
 ニ置クハ手形上ノ債權移轉ヲ基礎トシタルナリ信用行爲若クハ支拂行爲
 ノ一種トスルハ手形使用ノ目的ヲ標準トシタルナリ皆余ハ之ヲ妥當ナリ
 トセス有價證券ノ題下ニ手形ヲ一種ノ物トシテ掲ケ特ニ之ヲ物權法中ニ
 論シ又手形ノ所有權ヲ主位ニ置キテ説明ヲ試ムト雖モ手形ノ物權的關係
 ヲ定ムル規定ハ極メテ少ク其主要ナルハ手形ノ上ニ存スル物權ニ非スシ

手形ノ交通
ニ適用スヘ
キ法律

テ寧ロ手形ヨリ生スル債權ナリ手形行爲ニ因リテ生スル債權債務ノ關係
 ハ實ニ手形法ノ大部分ヲ占メ從テ私法上ノ地位ハ債權ノ編ニ屬スヘキモ
 ノナリ
 我商法ハ手形行爲ヲ以テ物的商行爲トシ手形法ヲ以テ法典ノ一部トス故
 ニ手形法ニ特別ノ規定アルトキハ先ツ之ヲ適用スヘシト雖モ其特別規定
 ナキトキハ商法ノ他ノ規定ニ依ルヘク次テ商慣習法ニ依ルヘク最後ニ民
 法ノ規定ニ依ルヘキナリ(第一條)獨國ニ於テハ手形法ハ特別法ナルモ其
 商法第二條ニ手形法ニハ變更ヲ來スコトナシト明定セル(第二條)學者
 之ヲ解シテ暗ニ手形法ヲ以テ商法ノ一部ト認メタリト論シタリ又手形上
 ノ法律關係ノ商事ナルハ唯手續法上ニ於テ之ヲ云フノミ手形行爲ヲ爲ス
 ノ理由カ商行爲タルヘキトキニ限り始メテ之ヲ實體法上ノ商事ナリト論
 シ或ハ手形行爲ノ當事者ノ一方カ商人ナル場合ニ於テ商事トシテ商法ノ
 規定ヲ適用シ其然ラサル場合ニ民法ノ規定ヲ適用スヘシト論ス是等獨法

上ノ學說ノ當否ハ姑ク之ヲ論セス我商法ハ佛法ト其主義ヲ同クシ手形法ヲ以テ商法ノ一部トシタルカ故ニ法律適用ノ順序ニ於テ毫モ異論ヲ挾ムノ餘地ナシトス然レトモ手形法ヲ固有特別法規ノ集合トシ以テ民事手形法ト區別シテ其混入ヲ防キタルハ即チ獨國ノ制度ニ模倣シタルナリ
固有手形法ノ大眼目ヲ概言スレハ手形ヲ以テ貨幣ノ代用トシ信用證券トシテ其流通ヲ圓滑ナラシムルニ在リ其流通力ヲ重シ擔保力ヲ鞏固ニシ安全ニ豫期ノ支拂ヲ得セシメントスル皆此目的ヲ達スルノ必要手段ナリ今其大綱ヲ擧クレハ

第一 債務ノ力ヲ強大ニシ以テ手形上ノ債權者ノ權利ヲ鞏固ニス手形上ノ債權債務ハ手形行爲ヲ爲スノ理由如何ヲ問ハス絶對ニ其效力ヲ生シ手形行爲者ノ債務ハ一ニ手形ニ記載シタル文言ニ依リテ定マルモノトシ手形ノ取得者ヲシテ之ニ信賴シテ其豫期スル權利ヲ享有スルヲ得又所謂一方的ニシテ手形ノ取得者ハ唯權利ヲ取得スルノミニシテ義務ヲ

負擔セス手形行爲ハ獨立シテ其效力ヲ生スルソ手形上ノ債權ノ不要因的證券的、一方的、獨立のナルハ皆權利ノ確實鞏固ヲ期スルノ制度ナリ又手形能力ニ付テ曩昔大ニ制限ヲ設ケタルモ漸次所謂一般能力 (allegemeine Wechselfähigkeit) ヲ認ムルノ傾向ヲ生シタルハ手形ノ效力ヲ大ナラシムルノ趣意ニ外ナラス支拂ニ付キ恩惠期日ヲ認メス一覽拂ノ手形ニ於テモ支拂人ニ考慮ノ猶豫時間ヲ與ヘス引受拒絕又ハ支拂拒絕ノ場合ニ於テ所持人ハ其事實ヲ證スル爲メ直チニ拒絕證書ヲ作ラシメ擔保義務者ニ對シテ訴訟ヲ提起スルコトヲ得テ而カモ其權利ノ行使ニ付テハ裏書ノ順序ニ依ラス所謂選擇、遡求、權ヲ行フヲ得引受人破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ所持人ハ前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スヲ得ル等亦手形ノ效力ノ牢固ヲ期スルニ在リ手形上ノ債務者ノ手續法並ニ實體法ニ於テ普通ノ債務者ニ比シテ其位地ノ甚々不利ナルハ債權ノ效力ヲ強大ナラシムルナリ

第二 債權者ハ迅速ニ其權利ヲ行使セサルヘカラス債權者ハ時期ヲ愆ラ
 ス手形ヲ呈示セサルヘカラス支拂拒絶ノ場合ニ於テハ支拂拒絶證書作
 成ノ期間内ニ拒絶證書ヲ作り且拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ
 通知ヲ發スヘク是等ノ行爲ヲ爲ササルトキハ手形上ノ權利ヲ失ヒ時効
 期間ノ極メテ短期ナルカ如キハ其著明ナルモノナリ

第一章 手形上ノ權利

手形上ノ權利
 手形上ノ權利
 手形上ノ權利
 手形上ノ權利

手形ハ法定ノ形式ヲ必要トスル一種ノ有價證券ナリ而シテ手形上ノ權利
 ハ此手形ナル證券ト須臾モ離ルヘカラサル關係ヲ有スルモノニシテ手形
 ナクシテハ手形上ノ權利ナク又手形上ノ權利ヲ利用スルノ途ナシ所持人カ
 支拂人ニ對シテ引受ヲ求メント欲セハ手形ノ呈示ヲ必要トシ支拂ヲ求メ
 ント欲セハ支拂ト交換的ニ手形ヲ交付スルノ準備ナカルヘカラス償還金
 額ノ支拂モ亦手形ト引換ニ非サレハ之ヲ請求スルヲ得ス被裏書人モ手形
 ノ占有ヲ取得セサルヘカラス又手形ヲ喪失シタル者ハ原則トシテ手形上
 ノ權利ヲモ喪失スルニ至ルナリクシテカ其著手形法ニ於テ手形ノ生、効、力、
 活、効、力、死、効、力 (Genital = Vital = Finalfunktion) ノ文辭ヲ用キタルハ手形上ノ權利
 ハ手形ト共ニ發生シ手形ト共ニ活動シ亦手形ト共ニ消滅スルノ義ヲ明ニ
 シタルナリ手形ハ手形上ノ權利ノ缺クヘカラサル基礎ナリト云ヒ或ハ手

手形行為ハ
手形上ノ權
利ノ基礎ナリ

形ハ手形上ノ權利ノ唯一ノ基礎ナリト云フハ皆手形上ノ權利ト手形ナル
證券トカ法律上分離スヘカラサル關係ヲ有スルノ意ヲ示スニ過キス
手形上ノ權利トハ手形行為ノ目的トシテ生スル權利ナリ而シテ手形行為
トハ法定ノ形式ヲ備フル特定ノ行為ニシテ手形ニ署名スルヲ以テ其實質
的要件トス手形行為ノ文字ハ商法施行法ニ於テ之ヲ用ユルノミ商法ハ常
ニ手形ニ署名スト云フモ其義ニ於テハ手形行為ト同シキナリ蓋シ手形行
爲ハ手形ニ署名スルニ非サレハ之ヲ爲スヲ得ス署名ハ實ニ手形行為ノ要
件ナレハナリ手形上ノ權利ハ獨リ手形行為ニ依リテノミ生スルヲ得ルモ
ノニシテ手形行為ハ手形上ノ法律關係ノ唯一ノ基礎ナリ手形行為ナクシ
テ手形上ノ權利ナク又手形行為ノ直接ノ目的トシテ生スルモノ即チ手形
上ノ債權債務ナリ

第一 手形行為ナクシテ手形上ノ法律關係發生セス

振出人ノ債務ハ振出ニ因リテ生シ裏書人ノ擔保義務ハ裏書ニ因リテ生

シ引受人ノ手形金額支拂ノ義務ハ引受ニ因リテ生ス其他保證人參加引
受人ノ債務一トシテ手形行為ニ基カサルハナシ手形行為完成ノ要素ニ
付テハ學說ニ依リテ大ニ異ナレリト雖モ手形行為ナクシテ手形上ノ法
律關係ヲ生セシムル能ハサルハ學者ノ齊ク認ムル所ナリ今手形ノ發行
交付ヲ約スルトキハ其契約ハ當事者間ニ一種ノ法律關係ヲ生シ一方ハ
契約ノ定ムル所ニ從テ手形ヲ發行シ之ヲ交付スルノ義務ヲ負擔シ他ノ
一方ハ之ヲ請求スルノ權利ヲ有スト雖モ契約ノ趣旨ハ手形行為ヲ爲ス
ニ在リテ未タ手形行為ヲ爲サレハ當事者間手形上ノ法律關係ナキナ
リ又一人カ他人ノ發行スル爲替手形ノ引受又ハ支拂ヲ爲スヘキヲ約シ
タルトキハ發行者ニ對シテ契約上ノ義務ヲ負擔スルハ明ナリ然レトモ
未タ引受ヲ爲サレハ手形上ノ債務ヲ負擔シタリト云フヘカラス其他
之ニ類スルノ例枚舉ニ遑アラスト雖モ要ハ手形行為ヲ目的トスル契約
ハ當事者間ニ所謂民事上ノ法律關係ヲ生スルニ止マリ其契約ノ結果ト

シテ手形行爲ヲ爲シテ始メテ手形上ノ法律關係ヲ生スルナリ又複本若クハ謄本ヲ所持スル者カ送付複本若クハ原本ノ受託者ニ對シテ之ガ返還ヲ請求スルノ權利ハ亦手形上ノ權利ニ非サルナリ何トナレハ受託者ハ手形行爲ヲ爲ササレハナリ

第二 手形上ノ債權債務ハ手形行爲ノ直接ノ目的トシテ發生スルモノナリ

爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ對シテ複本ノ發行交付ヲ請求スルノ權利ヲ有シ振出人ハ其請求ニ應セサルヘカラサルノ義務ヲ有ス而シテ此義務ハ振出行爲ナクンハ生セスト雖モ其行爲ノ直接ノ結果トシテ生スルニ非ス振出人カ法律ノ規定ニ依リテ負擔スル義務ナルカ故ニ手形上ノ債務ト稱スヘカラス不當利得ノ償還請求權ハ振出人及ヒ引受人ニ對スル權利トシテ我商法ノ認ムル所ナリ即チ手形行爲者ニ對スル權利ナリト雖モ手形上ノ權利ノ消滅シタル後ニ於テ始メテ行フヲ得ルモノナル

テ以テ固ヨリ手形上ノ權利ニ非ス是亦手形行爲ノ目的トシテ生スルモノト云フヘカラサルハ明ナリ又擔保義務者ノ擔保供與ノ義務消滅シタル場合ニ於テ其供託シタル金額ヲ回復スルノ權利擔保ヲ供スルニ當タリ引受拒絶證書ノ交付ヲ請求スルノ權利支拂ヲ爲ス者カ所持人ヲシテ手形ニ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ之ニ署名セシムルノ權利手形金額ノ一部ノ支拂ヲ爲シタル場合ニ於テ所持人ヲシテ其旨ヲ手形ニ記載セシメ且謄本ヲ作り署名ノ後之ヲ交付セシムルノ權利支拂拒絶證書作成ノ期間經過後ニ於テ手形金額ヲ供託シテ債務ヲ免ルルノ權利等ハ皆手形行爲ノ直接ノ目的トシテ生スルニ非ス即チ手形上ノ權利ニ非サルナリ而シテ手形上ノ債務ノ體様ニ付テ手形行爲ニ附隨シテ之ヲ約シ或ハ之ヲ手形ニ記載シ又ハ之ヲ記載セサルコトアリ裏書人カ其債務ヲ變更シ償還義務ヲ輕減シ其他費用ノ負擔通知ノ免除ヲ約スルコトアリ我商法ハ手形法ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ

生セスト明定セルカ故ニ凡ソ手形上ノ效力ヲ生スルモノハ皆手形法ニ其規定ナカルヘカラス其規定ナキモノハ手形上ノ效力ナキナリ唯茲ニ注意スヘキハ其效力ナシトハ手形上ノ法律關係トシテ其效力ナキノ意

ニシテ其契約ノ當事者間ニ於テ全然無効ナリト云フニ非サルナリ手形行為ナクシテ生スル法律關係及ヒ手形行為ニ牽聯シテ生スルモ其直接ノ目的トシテ生スルニ非サル法律關係ハ余之ヲ總稱シテ非手形關係ト云フ此關係ハ法律規定ノ形式ヲ基礎トシテ二種ニ大別ス其一ハ手形法ニ規定セルモノニシテ他ノ一ハ手形法ニ規定ナキモノナリ而シテ手形法ニ規定セサルモノハ固ヨリ手形上ノ法律關係ニ非ス手形法ニ規定セルモノニシテ手形上ノ法律關係ナラサルモノアリ之ヲ手形法上ノ權利ト稱シ以テ手形上ノ權利ト區別セント欲ス手形上ノ權利ト手形法上ノ權利トハ其觀念ヲ異ニスルヲ忘ルヘカラスナルナリ
引受人ニ對スル支拂請求權振出人及ヒ裏書人ニ對スル償還請求權保證人

手形法上ノ權利

參加引受人ニ對スル權利ハ爲替手形ニ於テ各手形行為ノ直接ノ目的トシテ生スルモノニシテ手形上ノ權利ノ著明ナルモノナリ約束手形小切手ニ於テモ亦固ヨリ手形上ノ權利アリ約束手形ノ振出人ニ對スル支拂請求權ハ手形上ノ權利ナリ其他爲替手形ニ關スル規定ヲ準用スルノ結果他ニ手形上ノ權利ナルモノ幾多アルナリ小切手ノ保證ハ我商法ノ手形行為ニ非ス故ニ保證ヨリ生スル法律關係ハ手形上ノ法律關係ニ非サルナリ又爲替手形ニ於ケル擔保請求權カ手形上ノ權利ナルハ我商法ノ解釋トシテ疑フヘカラス手形上ノ權利ト云ヒ手形上ノ責任ト云フハ擔保請求權若クハ擔保ヲ供スルノ義務ヲ包含スルハ手形法ノ諸條ニ於テ之ヲ證スルヲ得手形上ノ權利ト稱スルハ民事訴訟法第四百九十四條ノ手形ニ因ル請求ト其義ヲ同ウス(獨國民事訴訟法第六百二條ノ Ansprüche aus Wechsell. 亦同シ)學者カ手形上ノ權利ノ本體ヲ説明スルニ當タリ手形上ノ權利ハ爲替訴訟(Wechselklage)ヲ以テ主張スルヲ得ルノ權利ナリト云フヲ例トス然レトモ何

手形上ノ權利ト爲替訴訟

ヲ以テ手形上ノ權利ト云ヒ將何ヲ以テ手形ニ因ル請求ト稱スルカハ實體法ノ所定ニ依ルヘキモノニシテ實體法ニ於テ手形上ノ權利トシテ認メタルモノ即チ爲替訴訟ニ依ルヲ得爲替訴訟ニ依ルヲ得ルカ故ニ手形上ノ權利ナリト云フハ本末ヲ顛倒スルモノナリ

而シテ擔保請求權ハ手形上ノ權利ナルモ爲替訴訟ニ依ル能ハス何トナレハ民事訴訟法ニ所謂證書訴訟ノ要件ヲ備ヘサレハナリ獨國手形法第二十六條(我商法第四百七十四條ニ該當ス)ハ擔保請求權ハ爲替訴訟ニ依リテ行使スルヲ得ヘキヲ定メ又第二十九條(我商法第四百八十條ニ該當ス)ニ於テモ擔保ノ請求ニ關シテ同一ノ趣意ヲ明定セリ之ヲ明言セル所以ハ獨國民事訴訟法第四百九十二條ニハ一定ノ金額ノ支拂其他代替物若クハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トスル請求(我民事訴訟法第四百八十二條)ハ證書訴訟ニ依ルヲ得ヘク爲替訴訟ハ證書訴訟ノ一種トシテ其條件ヲ一ニシ擔保請求權ハ其條件ヲ缺ケハナリ

第三章 手形行爲

手形行爲(Skriptur-, Wechselakt)トハ手形法ニ規定シタル特定ノ要式行爲ニシテ手形上ノ法律關係ノ唯一ノ基礎ナルハ前章ニ論シタルカ如シ今手形行爲ニ關スル要領ヲ舉示スレハ

第一 手形行爲ハ特定ノ形式ヲ必要トス

振出ノ形式ハ商法第四百四十五條、第五百二十五條、第五百三十條、裏書ノ形式ハ第四百五十七條、引受ノ形式ハ第四百六十八條、保證ノ形式ハ第四百九十七條、參加引受ノ形式ハ第五百三條ニ各定ムル所アリ而シテ其各行爲ニ共通ナル形式ハ署名ニシテ署名ナクハ手形行爲ナク(大審院判決九頁)署名ハ手形行爲ニ缺クヘカラサル形式ナリ其形式ノ不備ハ絕對ニ補充ヲ許サス唯茲ニ區別スヘキハ單ニ署名ノミヲ以テ足レリトスルモノアリ署名ノ外一定ノ形式ノ履行ヲ必要トスルモノアリ無記名式裏

手形行爲ノ形式

書第四百五十七條第二項引受第四百六十八條第二項保證第四百九十七條ハ前者ニ屬シ其他ハ後者ニ屬ス

手形行爲ハ手形ニ爲ササルヘカラス然レトモ必スシモ手形自體ニ爲スヲ要セサルモノアリ裏書保證ハ賸本又ハ補箋ニ爲スコトヲ得(第四百五十七條第一項第四百九十七條)ハ其例ナリ而シテ其各手形行爲ノ復本ニ爲スヲ得ヘキハ復本ノ性質上當然ナリ敢テ明文ヲ待タス

署名ハ自署ノ意ナリ明治三十三年法律第十七號ハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルヲ定メタルヲ以テ手形行爲モ亦自署ヲ必要トセサルニ至レリ法人ノ手形行爲ニ付テハ其名稱若クハ商號ヲ記載シ代理權ヲ有スル者署名セサルヘカラス(大審院判決三五頁)

第二 手形行爲者ハ手形上ノ債務ヲ負擔ス

手形行爲ヲ爲シタル者ハ之ニ因リテ手形上ノ債務ヲ負擔スルヲ原則トス是手形行爲ノ目的ナレハナリ手形行爲ヲ爲シテ手形上ノ債務ヲ負擔

手形行爲者ハ手形上ノ債務者ナリ

變造カ變造前ノ手形行爲ニ及ホス影響

セサルハ法律ニ其規定ナカルヘカラス無擔保ノ裏書(第四百五十九條)支拂拒絕證書作成ノ期間經過後ノ裏書(第四百六十二條)ハ各明條アリ而シテ手形行爲者カ手形上ノ債務ヲ負擔スト云フハ其者ノ真正ノ行爲ナルヲ要スルハ論ナシ振出人、裏書人、引受人其他手形行爲者トシテ署名ノ形存スルモ手形行爲ヲ爲ササル者ハ善意ノ取得者ニ對シテモ手形上ノ債務ヲ負擔セス(大審院判決三五頁)代理權ヲ有セサル者カ他人ノ代理人トシテ手形行爲ヲ爲スモ其他人ハ固ヨリ手形上ノ債務者タルコトナシ手形偽造ノ場合亦同一ノ理ニ從フ

變造カ變造前ノ手形行爲ノ效力ニ如何ナル影響ヲ及ホスヘキヤノ問題ニ付テハ獨國ノ學者ハ概ネ變造カ手形ノ要件ニ關スルヤ否ヤヲ區別シ要件ニ關スル變造ハ其變造前ノ署名者ヲシテ其義務ヲ免レシメ之ニ反シテ法律上重ヲ置クヘキ事項ナルモ手形ノ要件ト稱スヘカラサルモノヲ變造シタル場合ニ於テハ其變造前ニ手形行爲ヲ爲シタル者ハ依然ト

シテ其行爲ノ當時ニ於ケル手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負擔スト説明ス
 今其一例トシテグリーンフートノ所論ヲ紹介スヘシ曰ク振出ノ年月日、
 手形金額、支拂地、受取人ノ氏名又ハ商號ハ手形ノ要件ニシテ之ヲ變改シ
 タルトキハ其以前ニ署名シタル者ニ對シテハ最早真正ノ手形行爲ナキ
 ニ至リタルモノニシテ恰モ要件ヲ掲ケサル手形ニ署名シタルト同シク
 手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナシ之ニ反シテ豫備支拂人引受、呈示期間、
 原因文句、通知文句ノ如キ事項ノ變造ハ債務者ヲシテ其義務ヲ免レシメ
 スト (T.S. (33 s. 419) ヴルンスタイン、スタウブ、ヴェヒテル等大體ニ於テ其論旨
 ヲ同ウス大審院モ亦此定説ニ從フカ如シ(大審院判決錄第 十一輯七八九頁)唯一言加フヘ
 キハ變造カ變造前ノ署名者ノ負擔ヲ輕減スルトキ例セハ手形ノ金額千
 圓ヲ十圓トシタル場合ニ付テハレーマンハ所謂大ハ小ヲ包ヌルノ理ニ
 基キ署名者ハ仍ホ小額ノ債務ヲ負擔スト説キデルンブルグハ稍疑フ所
 アルカ如シト雖モ多數ノ學者ハ之ニ反對ス、要件ニ關スル變造ニ付キ行

爲者ノ負擔ノ輕重ヲ區別セントスルノ非理ナルハ論ヲ俟タサルナリ
 手形行爲者ハ各其自己ノ行爲ノ拘束ヲ受ケ之ヲ外ニシテハ債務ノ成立
 若クハ效力ヲ論スヘキ基礎ナキハ動カスヘカラサル大原則ナリ故ニ今
 變造カ手形行爲ノ要部ニ及ヒタルトキハ縱令外觀ニ於テハ完全ナル手
 形ノ形式ヲ備フルモ其變造前ノ手形行爲ハ既ニ破壞セラレ債務ノ原因
 消滅シタリトスルハ事理ノ當然ナルカ如シ然レトモ能ク獨國學者ノ説
 明スル所ヲ視ルニ何ヲ以テ要件ノ變造トスヘキカニ付テハ必スシモ其
 見ヲ同ウセス又要件ニ非サル事項トシテハ極メテ明瞭ナル例ヲ舉示ス
 ルニ過キス殊ニ債務者ノ負擔ニ著大ナル影響ヲ及ボスヘキ事項ノ追加
 若クハ塗抹モ唯所謂要件ニ非サルノ故ヲ以テ手形行爲ノ效力ヲ損傷ス
 ルコトナシトスルニ至リテハ余ハ其當否ヲ疑ハサルヲ得ス一旦有效ナ
 ル手形行爲ヲ爲シテ債務確定的ニ成立シタルトキハ之カ要部ノ變更ア
 リタルカ爲メニ自ツカラ消滅スヘキノ理アラサルナリ變造者又ハ惡意

若クハ重大ナル過失アリテ變造手形ヲ取得シタル者カ手形上ノ權利ヲ有セサルハ論ナシ(第四百三十七條第三項)ト雖モ手形變造ノ後依然トシテ手形タルノ外觀ヲ備フルニ於テハ所謂善意ノ取得者ハ手形上ノ債權者タルヲ得サルヘカラス固ヨリ變造前ノ署名者カ變造後ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負擔スルコトナシト雖モ手形行爲ノ内容ノ證明ノ問題ト債務ノ效力ノ問題トハ之ヲ區別セサルヘカラス證券自體ニ基キテ手形行爲ノ内容ヲ立證スルヲ得サルハ手形上ノ債務ノ成立效力ト相關セス又手形上ノ債權債務ハ證券的權義ナルノ思想ト背馳スルコトナシ

⑥ 手形ノ變造カ其變造前ノ手形行爲ノ效力ヲ害セサルハ前述セルカ如シ署名者カ變造ノ爲メニ債務者トシテ不利ヲ被ムルコトアルヘカラスナルリ我商法ハ手形變造ノ事實アリタル場合ニ於テハ手形行爲者ハ皆變造前ニ署名シタルモノト推定スルノ原則ヲ掲ク(第四百三十七條第二項)故ニ變造ノ事實ハ行爲者ノ證明スヘキ所ナリト雖モ一旦其證明アリク

變造後ノ手形行爲ノ效力

ルトキハ行爲者ヲシテ變造手形ノ文言ニ從テ責任ヲ負擔セシメント欲セハ權利者ニ於テ變造後ニ署名シタルコトヲ證明セサルヘカラス而シテ之ヲ證明スル能ハサルトキハ更ニ變造前ノ文言ヲ立證シテ始メテ其權利ヲ主張スルヲ得ヘシ此變造前ニ署名シタルモノト推定スルノ原則ハ瑞債務法ニ其例アリト雖モ立法論トシテハ余ハ之ヲ失當ナリト認ム

第三 手形行爲ハ代理人ヲシテ之ヲ爲サシムルヲ得

手形行爲ハ法律行爲ナリ其代理ハ一般ノ原則ニ從フヘキハ論ヲ俟タス而シテ商法第四百三十六條ニ於テ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシト規定セルハ解釋上多少ノ疑ナキニ非スト雖モ手形行爲代理ノ場合ニ於テ本人ヲ手形行爲者ト看做スニハ

- 一 本人ノ爲メニスルコトヲ記載スルヲ要ス 商行爲ノ代理ニ付テハ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ第三者ハ本人ニ

手形行爲ノ代理

對シテ其權利ヲ主張スルコトヲ得第百六十六條ルモ此原則ハ手形行爲ノ代理ニ適用スヘカラス手形行爲ニ付テハ手形上何人カ本人ナルカヲ明ニセサルヘカラス

二 代理人ノ署名ヲ要ス 本人ノ氏名ヲ記載スルノミニテハ不可ナリ又本人ノ氏名ヲ手形ニ記載シテ代理關係アルヲ示スノミニテハ亦不可ナリ

本人ノ氏名ヲ記載シタルノミニテハ本人ニハ行爲ノ效力ヲ及ホサス代理人モ署名ナキノ故ヲ以テ責任ヲ負ハス代理人獨リ署名シテ本人ノ氏名ヲ記載セサルトキハ自ラ責任者ナリ又代理權ナキ者他人ノ氏名ヲ記載シテ署名シタルトキハ民法第百十七條及ヒ第百十八條ノ規定ニ從フヘキモノトス

第四 手形行爲ハ獨立シテ其效力ヲ生ス

形式上完全ナル手形ノ存スルハ各手形行爲ノ效力ニ缺クヘカラザル條

手形行爲ノ獨立

件ナリ基本的手形行爲カ形式ヲ缺クカ爲メニ無効ナルニ於テハ他ノ手形行爲モ亦無効タラサルヲ得然レトモ他ノ手形行爲ノ無効ナルヤ否ヤヲ決スルニハ外觀上手形タル形式ヲ具備シタルヤ否ヤヲ以テ之カ標準トス手形行爲カ其外觀ニ於テ缺クル所ナクハ縱令其行爲ハ法律上無効タルヘキ場合ニ於テモ他ノ手形行爲ノ成立效力ニ影響ヲ及ホササルナリ之ヲ要スルニ箇箇ノ手形行爲ハ全然相獨立シテ其效力ヲ生シ他ノ手形行爲カ果シテ手形上ノ債務ヲ設定スルノ效力ヲ有スルヤ否ヤヲ問ハス苟モ形式ヲ備フルトキハ手形行爲ノ效力ハ其各行爲自體ニ付テ之ヲ觀察スヘキモノトス

手形行爲ハ其各行爲自體ニ於テ手形上ノ債務ヲ設定スルノ效力ヲ有スルヤ否ヤヲ決定ス手形行爲者ハ各自己ノ手形行爲ニ因リテ債務ヲ負擔スルモノニシテ果シテ他ノ手形行爲者カ其行爲ニ因リテ債務ヲ負擔スルヤ否ヤト相牽連スルコトナシ故ニ一手形行爲カ無効ナルカ若クハ取

消サレタリトスルモ其無効取消ハ唯其原因ノ存スル手形行爲者ノ債務ノ無効取消タルニ止マリ他ノ手形行爲ニ何等ノ影響ヲ及ホスモノニ非ス故ニ無能力者カ其行爲ヲ取消シタル場合ニ於テハ無能力者手形上ノ債務ヲ負擔セサルノ效果ヲ生スルノミ(第四百三十八條)無能力者カ其債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ホサス(大

院判決第七頁)

又偽造變造ノ手形ト雖モ之ニ真正ノ行爲ヲ爲シタル者ハ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ(第四百三十七條第一項)署名ヲ偽造セラレタル者ニ於テ手形上ノ責任ナク又獨國學者ノ通説ニ從ヒ要件ノ變造アリタル場合ニ於テ變造前ノ署名者手形上ノ責任ヲ免ルルモ偽造手形ニ署名シタル者ハ其偽造手形ノ文言ニ從ヒ變造後ニ署名シタル者ハ變造手形ノ文言ニ從ヒテ手形上ノ債務ヲ負擔ス又裏書ノ一カ真正ナラサルモ振出引受其他ノ手形行爲ノ效力ヲ損スルコトナク亦裏書連續ヲ傷クルコトナキナリ

又保證ハ從タル債務トシテ主タル債務ノ存在ヲ前提トスト雖モ是亦主タル債務カ其形式ニ於テ備ハレルヲ必要トスルニ過キス(第四百九十七條)其實體ニ於テ有效ナルヲ條件トセサルナリ
手形ノ複本ヲ發行シタル場合ニ於テ各別ニ其複本ヲ裏書シタルトキハ各通ニ付テ責任ヲ負ハサルヘカラス(第五百二十條)又裏書人ノ一人カ裏書ヲ禁止シ無擔保ノ旨ヲ記載シ又ハ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルトキハ其事項ハ唯其手形行爲ニ付キ其效力ヲ生スルノミ是亦手形行爲獨立ノ原則ノ結果ト云フヘキナリ

第五 無能力

我商法ハ所謂手形能力ニ關シ何等特別規定ヲ設ケス即チ民法ノ原則ニ從ハサルヘカラス民法上ノ無能力者手形行爲ヲ爲シタルトキハ其手形行爲ニ附著スル瑕疵ハ行爲者其人ニ關スルモノニシテ其無能力ナルハ固ヨリ手形ノ外形ニ於テ之ヲ窺フヘカラス而シテ其瑕疵ハ人的性質ヲ

無能力ノ物的效力

有シ獨リ其無能力者ニ付テノミ手形行爲ノ效力ヲ論スヘク他ノ真正ノ手形行爲ニハ何等ノ影響ヲ及ボササルナリ然レトモ無能力者ハ特ニ法律ノ保護ヲ受クル者ニシテ其無能力ハ絶對ノ對抗力ヲ有シ善意ノ取得者ニ對シテモ之ヲ對抗スルヲ得無能力ニ基ク瑕疵ハ手形行爲ノ本質ニ附著スルヲ以テ手形取得者ノ善意ヲ以テ之ヲ補充スルヲ得サルナリ無能力者民法ノ規定ニ依リテ其債務ヲ取消シタルトキハ始ヨリ債務ヲ負擔セサルノ法律上ノ結果ヲ生スルカ故ニ何人ニ對シテモ其債務ヲ否認スルヲ得然レトモ無能力者カ常ニ其結果トシテ手形ノ返還ヲ請求スルヲ得ルニハ非サルナリ其直接ノ相手方ニ對シテハ此權利ヲ有スルモ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ハ絶對的ニ權利者タル資格ヲ有スルヲ以テ之ニ對シテハ手形ノ返還ヲ請求スヘカラサルナリ無能力ハ手形自體ニ於テ之ヲ知ルヲ得ス而シテ手形ノ取得者ハ其所載ノ文言ニ信賴シテ權利ヲ取得スルノ原則アリト雖モ無能力ハ所謂物

的抗辯トシテ一切ノ取得者ニ對抗スルヲ得ルナリ

第六 詐欺、強迫、錯誤

手形行爲ノ取消ニ關シテ明文ヲ掲ケタルハ無能力ノ場合ノミ然レトモ之ヲ根據トシテ他ニ手形行爲取消ノ原因ヲ認メサルモノト論スルハ斷シテ誤ナリ詐欺又ハ強迫ハ亦法律行爲取消ノ原因トシテ手形行爲ニ付キ同シク之ヲ認メサルヲ得ス其取消ノ效力ニ民法ノ規定ヲ適用スヘキハ論ナク從テ詐欺ニ因ル場合ハ善意ノ第三取得者ニ對シテハ取消ノ效果ヲ主張スルヲ得サルナリ(民法第九十六條)又手形行爲ヲ爲シ之ニ因リテ債務ヲ負擔スルノ意思ナクシテ署名シタル者ハ善意ノ取得者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負擔セサルヘカラスト論スル者アルモ余ハ何カ故ニ法律行爲ニ關スル一般ノ原則カ手形行爲ニ其適用ナキカノ理由ヲ發見スルヲ得ス此問題ニ付テハ更ニ第五章ニ詳述スヘシト雖モ茲ニ一言注意スヘキハ余ハ我商法ノ規定ハ上ニ於テ手形行爲ヲ爲スハ意思ハ欠缺

詐欺、強迫

セ、ル、ト、手、形、ニ、記、載、セ、ル、文、言、ト、行、爲、者、ノ、意、思、ト、符、合、セ、サ、ル、ト、ヲ、區、別、ス、ル、ハ、正、當、ナ、ル、ヲ、信、ス、前、者、ハ、法、律、行、爲、一、般、ノ、原、則、ニ、依、リ、之、ヲ、定、メ、(大審院第十
一七頁)後、者、ハ、商、法、第、四、百、三、十、五、條、ノ、定、ム、ル、所、ニ、シ、テ、即、チ、行、爲、者、ハ、善、意、ノ、取、得、者、ニ、對、シ、テ、ハ、手、形、ノ、文、言、ニ、從、ヒ、テ、責、任、ヲ、負、擔、シ、其、真、意、ト、符、合、セ、サ、ル、ヲ、理、由、ト、シ、テ、債、務、ヲ、否、認、ス、ル、ヲ、得、サ、ル、ナ、リ

第四章 手形ノ有價證券タル性質

手形ト手形上ノ債權債務トノ關係ヲ表スルノ文字トシテ手形ノ生効力、活効力、死効力ト稱スルハ既ニ説明シタリ我民法ハ指名債權ト云ヒ無記名債權ト云ヒ常ニ債權ノ方面ヨリ觀察ス故ニ其債權ヲ表スル證券ノ法律上ノ性質ヲ論スルハ民法ノ精神ニ適合セサルヘシト雖モ商法第二百六十三條ハ「有價證券ノ有價取得」ト云ヒ其取得シタル證券ノ讓渡ト云フ是レ證券ヲ商品トシテ其運轉ヲ規定セルモノニシテ證券ノ表スル權利ノ取得又ハ讓渡ト解スヘカラサルナリ又民事訴訟法第四百八十四條ハ「有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的トズル請求」ナル文字ヲ用キ尙ホ強制執行ニ關スル規定ニ於テモ第五百八十一條ニハ「有價證券ノ差押」ナル文字アリ第六百三條ニ於テハ「債權ノ差押」ハ證券ノ占有ニ依リテ之ヲ爲ス「トアリ其意債務者ハ證券ノ占有ノ喪失ニ因リテ自ツカラ其權利ヲ處分スルヲ得サルニ至ルモ

ノトスルニ在リ雷ニ證券ナキノ故ヲ以テ權利ノ處分ヲ他人ニ對抗スルコトヲ得ストスルノミニ非ス若シ權利ハ證券ノ外ニ存在シ證券ト離レテ之ヲ處分スルヲ得ハ證券ノ占有ハ法律上何等ノ效力ヲ有セサルナリ證券ノ占有ト權利ノ利用ト離ルヘカラサル關係ニ在ルモノハ即チ有價證券ナリ手形ノ有價證券タルハ既ニ述ヘタリ本章ニ於テハ有價證券トシテ手形カ如何ナル特質ヲ有スルカヲ説カント欲ス

第一 手形ハ設權證券ナリ

證券ノ作成カ權利設定ノ形式ナルトキハ其證券ヲ稱シテ設權證券 (positivurkunde, konstitutive, kausale Urkunde)ト云フ此證券ニ在リテハ證券ノ作成ハ即チ權利ノ發生ニ缺クヘカラサル條件ニシテ苟モ證券ノ作成ナクシテハ縱令當事者ノ權利ヲ設定セントスル意思明瞭ナルモ法律關係ノ成立ヲ證明シ若クハ主張スルヲ許サス試ニ設權證券ト單純ナル證據證券トヲ對比スレハ設權證券ニ在リテハ權利ト證券トノ關係ハ機關的ニシ

設權證券

テ且本質的ナリ之ニ反シテ證據證券ニ在リテハ權利ト證券トハ器械的ニシテ且外形的ノ關係ヲ有スルニ過キス前者ニ在リテハ法律關係ハ證券ニ依リテ始メテ完成シ後者ニ在リテハ成立セル法律關係ヲ證明スルノミ設權證券ニ於テハ證券ハ法律關係成立ノ形式ニシテ證據證券ニ於テハ法律關係ハ證券ノ外ニ成立ス故ニ權利ノ成立ヲ證明スルニ證券ヲ以テセサルヘカラサルト他ノ證據ニ依リテ權利ノ成立ヲ主張スルヲ得ルトノ差異ヲ生ス之ヲ要スルニ一ハ法律關係ノ私法上ノ原素タルノ作用アリ一ハ訴訟法ノ範圍ニ屬スルモノト云フヘシ

手形ノ設權證券タルハ手形上ノ法律關係ハ手形ノ作成ニ依ルニ非スンハ發生セサルニ視テ明ナリ而シテ同シク有價證券ニシテ設權證券ナラサルモノハ株券社債券ノ類ナリ株主ハ株券ノ發行交付ヲ求ムルノ權利ヲ有ス株券ヲ得テ始メテ株主權ヲ生スルニ非ス株券ノ請求權ハ株主權ノ一分子ナリ社債券ノ作成ハ社債權者ノ資格ニ必要ナラス

第二、手形ハ所謂絕對的有價證券ナリ

絕對的有價證券 (absolute Wertpapiere) トハ權利ヲ利用スルノ方法如何ヲ問ハス常ニ證券ノ占有ヲ條件トスルモノヲ稱ス學者或ハ之ニ完全ナル有價證券 (vollkommene Wertpapiere) ノ名稱ヲ附ス絕對的有價證券ニ對スルモノハ相對的有價證券 (relative Wertpapiere) ニシテ權利ノ讓渡ニ證券ノ占有ヲ必要トスルニ止マリ權利ノ執行ニハ之ヲ必要トセサルモノノ如キハ此種ニ屬ス株式ノ讓受人カ會社其他第三者ニ對シテ株主タル資格ヲ對抗セント欲セハ株主名簿ニ株式ノ移轉ヲ登録シ且株券書換ノ手續ヲ爲ササルヘカラス即チ會社ニ對シテ株主タルノ權利ヲ行ハント欲セハ株券ノ占有ヲ取得セサルヘカラスト雖モ一旦此手續ヲ完了シタルトキハ株主權ノ行使ハ株主名簿ノ登録ニ依リ敢テ株券ノ占有ヲ必要トセス故ニ學者之ヲ稱シテ不完全ナル有價證券 (unvollkommene Wertpapier) トスルニ手形ニ在リテハ手形上ノ權利ノ移轉ハ手形ノ占有ト雖ルヘカラス其行

絶對的有價證券
相對的有價證券

使ハ常ニ手形ノ占有ト相伴フ手形ナクシハ裏書ヲ爲スヲ得ス手形ト交換的ニ非スンハ支拂ヲ請求スルヲ得サルカ如シ

第三、手形ハ要式的有價證券ナリ

要式的トハ法律ニ定メタル形式ノ履行ヲ必要トスルノ意ニシテ凡ソ手形ニ記載スヘキ事項ハ皆法律ノ明定スル所ナリ而シテ其要件トシテ掲クルモノヲ缺クトキハ手形トシテ成立セス手形以外ノ事實又ハ意思表示示ヲ以テ要件ノ欠缺ヲ補充スルヲ得ス當事者如何ナル場合ニ於テモ手形トシテ效力ヲ生セシムヘキ旨ヲ手形ニ明記スルモ手形ノ效力ニ何等益スル所ナシ又手形ニ表セサル事實ヲ以テ要件ノ存在ヲ證スルヲ許サス之ヲ稱シテ手形ノ要式的性質ト云ヒ要式證券形式證券等ノ名稱ヲ附スルモ其趣意ニ於テ異ナル所ナキナリ振出裏書引受其他ノ手形行爲皆法律ニ於テ其形式ヲ定ム其形式ヲ守ラサルトキハ手形行爲ハ皆無効タルナリ

手形ノ要式
的性質

今振出行爲カ其形式ニ於テ缺クル所アルカ爲メ無効ナルトキハ其手形ニ爲シタル裏書引受其他ノ手形行爲ハ皆無効ナリ獨國手形法第七條ハ之ヲ明定スト雖モ必スシモ明文ヲ待テ始メテ知ラサルナリ而シテ形式ニ於テ完全ナルヤ否ヤハ外觀ヲ以テ判斷スヘク手形ニ記載シタル事項カ果シテ事實ト符合スルヤ否ヤハ敢テ問フ所ニ非サルナリ手形ニ記載シタル文言ヲ形式的ニ觀察シテ手形行爲ノ效力ヲ決定ス余ハ之ヲ手形ノ外觀的解釋ノ原則ト稱スデルンブルグノ „Prinzip der äusseren Korrespondenz“ ト稱シ他ノ學者ノ „Formelle Auffassung“ ト稱スルモ其意ハ即チ一ナリ

第四 手形ハ當然ノ指圖證券ナリ

手形ハ其記名式ナルトキト雖モ指圖式ヲ以テ發行シタルト同シク裏書ニ依リテ之ヲ移轉スルヲ得(第四百五十五條)裏書ハ手形ノ通性ナルヲ以テ學者手形ヲ法律上ノ指圖證券(Gesetzliches Ordrepapier)若クハ推定的ノ指

性手形ノ裏書

圖證券(Präsumtives Ordrepapier)ト稱ス倉庫證券船荷證券モ我商法之ヲ當然ノ指圖證券トス

第五 手形ハ呈示證券ナリ

證券ノ呈示ヲ以テ履行請求ノ條件トスルモノヲ呈示證券(Presentations-papiere)ト云フ呈示證券ノ概念ニ付テハ學者ノ間ニ議論ナキニ非スト雖モ余ハ之ヲ否認セス今其特質ヲ擧クレハ

- 一 債務者遲滯ノ責ニ任スルハ證券ニ記載シタル滿期日ノ到來ニ在ラ
- スシテ其期日到來ノ後證券ヲ呈示シタル時ニ在リトス滿期日ハ法律上ノ效果ヲ生スヘキ呈示ノ始期タルノミ故ニ債權者ニ於テ遲延利息ヲ請求スルハ滿期日ヲ基礎トセス其到來ノ後證券ノ呈示ヲ爲シテ其效ヲ奏セサル時ニ在リ商法第二百七十九條ハ此原則ヲ掲ク即チ民法第四百十二條ノ例外ヲ爲スモノナリ學者此性質ヲ表スルニ催告債務(Mahnschuld)ノ名稱ヲ用ユルアリ(大審院判決錄第(十一)輯八九六頁)

呈示證券ノ特質

二 呈示證券ノ債務ノ履行ハ當事者カ特ニ其場所ヲ定メサルトキハ債務者ノ營業所若クハ住所ニ於テス(第二百七十八條第二項)之ヲ法律上ノ履行ノ場所ト云フ所謂取立債務 (Holschuld, dette q' éralle) ニシテ持參債務 (Bring-schuld, dette portable) ニ非サルナリ

三 實效ヲ奏セサル呈示ハ擔保義務者ニ對スル權利行使ノ條件タリ而シテ其呈示ハ債務ノ履行ヲ求ムルノ目的ヲ以テ之ヲ爲ササルヘカラス履行ヲ求ムルニ當タリテ證券ト交換的ニ爲スヘキモノハ皆呈示證券ナリ無記名證券ハ呈示證券ナリ指圖證券ハ呈示證券ナルヲ通例トス然レトモ指圖證券ハ必スシモ呈示證券ナルニ非ス又記名證券ト雖モ呈示證券ト爲スヲ得ルナリ

手形ニ在リテハ所持人カ支拂ヲ求ムルトキハ其支拂ト引換ニ手形ヲ交付セサルヘカラス(第四百八十三條第一項)其呈示證券タルヤ明ナリ茲ニ注意スヘキハ手形ノ所持人ハ手形ノ支拂地ニ於テ支拂要求ヲ呈示ヲ爲

スヘク債務者現時ノ營業所又ハ住所ノ何レノ地ニ在ルヲ問ハサルコト是ナリ

第六 手形ハ債權的證券ナリ

有價證券ハ之ニ表スル權利ヲ標準トシテ物權的有價證券 (sachenrechtliche Wertpapiere) 債權的有價證券 (Forderungspapiere) 及ヒ團體的有價證券 (Korporationspapiere) ニ區分スルヲ得今其性質ヲ概言スレハ物權的有價證券トハ物權的效力ヲ有スル有價證券ニシテ我商法ハ其三種ヲ認ム陸上運送ニ於ケル貨物引換證海上運送ニ於ケル船荷證券倉庫營業ニ於ケル預證券是ナリ是等證券ノ裏書ハ其證券ニ記載セル商品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有スルハ我商法ノ明定スル所タリ(第三百三十五條、第三百六十五條、第六百二十九條)團體的有價證券ト稱スルハ社員權ヲ以テ内容トスル證券ニシテ株券ハ即チ其例ナリ株式會社ノ株主カ其會社ノ社員トシテ有スル權利(之ヲ株主權ト稱ス)ハ其法律上ノ性質物權ニ非ス債權ニ非ス一種特

物權的有價證券

團體的有價證券

債權的有價證券

別ノ權利ニシテ余ハ之ヲ團體的私權ト説明スルヲ正當トス株券ハ有價證券トシテ其權利ヲ表スルノ證券ナリ而シテ債權的有價證券ハ債權ヲ表スルモノニシテ手形ノ此種ニ屬スルハ説明ヲ須キス手形上ノ債權ノ目的ハ金錢ニ限ルカ故ニ之ヲ金錢證券 (Geldpapiere) ト稱スルヲ得ヘキナリ我商法ハ商品ノ給付ヲ目的トスル手形 (Warenwechsel) ヲ認メス爲替手形約束手形小切手皆一定ノ金額ノ支拂ヲ以テ其目的トス而シテ手形上ノ權利者カ主タル債務者及ヒ擔保義務者ニ對シテ有スル權利ハ盡ク債權ナリ

第七 手形ハ不要因的有價證券ナリ

不要因的トハ債務カ其原因ヲ以テ成立ノ要素トセサルノ意ナリ凡ソ人ノ債務ヲ負擔スルハ必ス之ヲ負擔スルノ理由ナカルヘカラス不要因的債務 (abstrakte Obligation) ト稱スルモノニ於テモ固ヨリ其理由ヲ缺クニ非ス其理由ト分離シテ債務成立シ從テ原因ノ存在若クハ原因ノ適法ト債

不要因的債權債務

務ノ成立ト法律上相牽連セサルノミ今敢テ茲ニ原因ノ理論的説明ヲ試ミント欲スルニ非スト雖モ普通ノ債權債務ハ其原因ト相抱合シテ始メテ其存在ヲ認ムヘク其原因ニ依リテ各特質ヲ表スルカ故ニ之ニ基キテ他ノ債權債務ト異ナル所以ヲ知ルヲ得ヘキナリ是ヲ以テ一箇ノ債權債務ノ特別ノ性質ヲ明ニセント欲セハ獨リ債務者カ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ表示シクシ若クハ其債務ノ目的物ノ何タルヲ證スルヲ以テ足レリトセス進テ何カ故ニ債務ヲ負擔スルヤヲ究メサルヘカラス金百圓ヲ支拂フノ債務ハ其外形ニ於テハ常ニ一ナリト雖モ其原因其成立ノ理由ノ異ナレルニ依リテ各固有ノ性質ヲ有ス債權者其權利ヲ主張シ之カ執行ヲ求メントセハ單ニ債務者カ金百圓ヲ支拂フヘシト約シタルノ事實ヲ證スルヲ以テ足レリトセサルハ明瞭ナリ不要因的ト稱スルモノニ在リテハ債權債務ハ原因ト分離シテ獨立シテ發生存在シ又執行スルヲ得ヘク何カ故ニ債務ヲ負擔スルニ至レルカヲ問ハス債權者ハ其權利ハ由テ生

シタル所以ヲ證明セシテ其權利ヲ主張スルヲ得ルナリ手形上ノ債權債務ヲ以テ不要因ナリト云フハ即チ此意ニ外ナラス手形行爲ヲ爲シタル者ハ絶對ニ手形上ノ債務ヲ負擔シ其原因ノ存否ヲ問ハス又其原因ノ不法ナルト否トヲ論セス直接ノ當事者間 (immediate parties) ニ在リテハ債務者ハ原因ノ欠缺又ハ不法ヲ抗辯ノ事由トスルヲ得ヘシト雖モ其抗辯ノ事由トスルトハ債務ヲ免ルルヲ得ルノ謂ニシテ即チ債權者ニ於テ其債務ノ成立ヲ證スルノ責任ヲ負擔セサルノ意ヲ包含ス若シ夫レ所謂間接ノ當事者間 (remote parties) ニ在リテハ善意ノ取得者ハ一ニ手形所載ノ文言ニ從ヒテ其權利ヲ取得シ又執行スルヲ得テ原因ニ關スル抗辯ヲ對抗セラルルノ處ナキナリ

手形上ノ債權債務ヲ以テ不要因のナリトズルノ效益頗ル大ナリ權利ヲ確實鞏固ニシ權利ノ執行ヲ圓滑迅速ナラシメ以テ手形ヲシテ流通證券タルノ作用ヲ發揮セシム若シ手形行爲ノ理由如何ヲ探究シ取得者ヲシ

テ之カ證明ヲ爲サシメ若クハ行爲者常ニ原因ノ如何ヲ證明シテ其債務ヲ否認スルヲ得ルモノトセハ手形交通ノ安全ハ畢竟得テ期スヘカラサルナリ

第八 手形ハ證券の權利ヲ表スル證券ナリ

余ノ證券の權利 (Skripturrecht = obligation, Literalobligation) ト稱スルハ證券ニ記載セル文言カ惡意ナク又重大ナル過失ナクシテ證券ヲ取得シタル者ノ權利ノ效力ヲ定ムルヲ云フナリ換言スレハ債權債務ノ範圍一ニ證券ノ文言ニ率由シテ之ヲ決定シ取得者ニ對シテハ之カ反證ヲ許ササルナリ證券の權利ハ所謂善意ノ取得者ヲ保護スルノ精神ニ出テタル制度ニシテ證券カ直接ノ授受者ヲ離レテ第三者ノ手裏ニ歸シタル後ニ於テ其效果ヲ現ハスナリ第三者カ證券所載ノ文言ニ信賴シテ之ヲ取得シタルトキハ債務者ノ眞意證券ニ表スル所ト符合セサルヲ理由トシテ之ヲ左右スルヲ得ス第三者ハ證券ノ文言ニ從テ其權利ヲ主張スルヲ得ルナリ

ゴルドシュミットカ證券ニ記載スル權利ノ内容ハ一ニ其文言ニ依リテ定マリ又其證券ニ表スル所獨リ當事者ノ眞意ニ出テタリト看做シ唯直接ノ當事者又ハ惡意ノ取得者ニ對シテ反對ノ抗辯ヲ認ムルニ過キスト云ヒ又ブルンネルカ證券ノ公ノ信用 (publica fides) ナル觀念ヲ基礎トシ證券ヲ公ノ信用アル有價證券 (Wertpapiere öffentlichen Glaubens) ト稱スルモ同一ノ思想ニ基クナリ我商法第四百三十五條ニ於テ手形行爲ヲ爲シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒ責任ヲ負擔スト定メタルハ即チ此意ヲ明ニシタルモノト云フヘシ(大審院判決錄第十卷第七九頁)手形ノ文言カ終局的ニシテ且確定カヲ有スルハ手形ノ流通ニ利スル所多大ナルハ言ヲ俟タス自己ノ前者ニ對スル抗辯ヲ杜絶シ又前者カ證券ノ正當ノ所有者ナラサルトキト雖モ證券ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得テ完全ナル債權者ト爲ルヲ得ルカ如キハ其最モ著シキモノナリ

證券的權利

第五章 手形理論

手形上ノ債權債務ハ手形行爲ニ因リテ生シ手形行爲カ手形上ノ法律關係ノ唯一ノ基礎タルハ近世學者ノ齊シク認ムル所ニシテ亦異論アルナシ然レトモ其手形行爲ノ成立トハ如何ナル意義ニ解スヘキカ如何ナル事實アラハ手形上ノ債務發生ノ條件ヲ具備シタリトスルカハ古來學者ノ難問トスル所ニシテ今ニ迄テ一定セス學說ノ多キ蓋シ此問題ニ過クルモノ莫ルヘシ手形理論 (Wechseltheorien) トハ即チ此問題ニ關スル學說ノ謂ナリ余ハ獨國學者ノ說ク所ニ倣ヒ學說ヲ新舊二派ニ區別シテ其大綱ヲ叙シ終ニ余ノ見ル所ヲ述ヘント欲ス

舊派ノ學說

手形上ノ債權債務ノ本質ハ既ニ第十四世紀ノ交ニ於テ學者ノ問題ト爲リ第十七世紀ニ至ルマテ學說ノ一致ヲ見サリシナリ然レトモ學者皆手形上ノ債權債務ヲ以テ契約上ノ債權債務トシ而カモ振出人受取人間ニ於ケル

契約ヲ固有ノ手形契約 (eigenlicher Wechselkontrakt) ト稱シ其契約ノ性質如何ヲ論シタルノミ振出人ト支拂人トノ間ニ於ケル契約ハ委任トシ呈示者ト支拂人間ニ於ケル契約ハ羅馬法ニ所謂「コンステツム」(constitutum) トスルニ付テハ敢テ説ヲ異ニセザリシナリ而シテ其所謂固有ノ手形契約ハ或ハ消費貸借ナリトシ交換ナリトシ賣買ナリトシ一種ノ無名契約ナリトシ或ハ特種ノ契約タルヘキ一定ノ性質ヲ有セス其契約ヲ爲スニ至リタル事由ノ如何ニ依リ賣買交換若クハ消費貸借ナリトシタリ是等ハ主トシテ伊國學者ノ唱道シタル所ニシテ獨佛ノ學說亦其餘響ヲ受ケ第十七世紀及ヒ第十八世紀ニ於テハ二國ノ學者亦手形契約ヲ以テ諾成契約ナリト論セリ而シテ其契約ノ性質ニ付テハ區區ノ説明ヲ試ミタリト雖モ大勢ハ之ヲ賣買ニ類似セル一種特別ノ諾成契約ナリトスルニ歸セリ其要ハ振出人ハ即時若クハ將來支拂ハルヘキ金錢又ハ金錢的價格ヲ報酬トシテ特定ノ他地ニ於テ相手方又ハ其指圖人ニ一定ノ金額ヲ支拂フヘキヲ約ストスルニ在

諾成契約說
ノ要綱

リ此説ニ依レハ手形契約ハ諾成契約ナルカ故ニ金額、支拂地、時期、報酬等ニ付キ當事者ノ合意アルトキハ手形契約ハ其效力ヲ生シ證券ノ發行授受ハ唯手形契約履行ノ爲メニスル自然普通ノ手段タルニ止マリ固ヨリ必要缺クヘカラサルモノニ非サルナリ今諾成契約說ノ要綱ヲ舉クレハ

- 一 手形契約ハ當事者ノ合意ニ因リテ成立ス
- 二 手形ナル證券ハ契約成立ノ條件ニ非ス他ノ證據ヲ以テ其成立ヲ證明スルヲ得
- 三 手形契約ハ其原因ト牽聯ス故ニ對價ノ授受ハ契約履行ノ條件ナリ

裏書ノ制度認めラレテ手形ヲ以テ證券的債權債務トスルノ思想漸次發達スルニ迫テハ手形理論モ亦其影響ヲ被ムラサルヲ得ス即チ諾成契約說ハ一變シテ要書契約說ト爲ルニ至レリ而シテ之ヲ首唱シタル學者トシテハ特ニ獨國ノハイネクチュースヲ舉ケサルヘカラス其所論ヲ見ルニ口頭ノ手形契約ハ債權債務ノ關係ヲ生スルモ之ヲ手形上ノ債權債務トセス當事者ノ

合意ニ基キ證券ノ授受アリテ始メテ契約完成シ證券ハ手形上ノ法律關係發生ノ法律上ノ理由ニシテ振出人カ一定ノ形式ヲ備ヘタル證券ニ署名シ之ヲ受取人ニ交付シタル時ニ於テ振出人ノ債務成立スト解スルニ在リ然レトモ要書契約ノ理ハ獨リ振出人受取人間ノ契約ニ應用セラレタルノミ裏書ニ至リテハ依然トシテ其根本ノ法律關係如何ニ依リ賣買委任贈與若クハ代物辨濟其他ノ契約ナリトシ又引受ハ手形ニ記載スル委任ノ承諾ナリトセリ第十八世紀ノ後半ニ在リテハイネクテースノ說ヲ奉シタル者尠カラスト雖モ諾成契約說未タ全ク其跡ヲ絶ツニ至ラザリシ然レトモ手形ニ關スル口頭ノ契約ヲ豫約ト解スルノ說遂ニ勝ヲ制シ手形契約ノ締結ハ證書ノ授受ニ依ラサルヘカラストスルニ至レリ法制史家マルテンスハ斷乎トシテ論シテ曰ク手形ノ授受者間ニ於ケル合意ハ手形取引ノ端緒ナリ固有ノ手形契約ノ締結ハ一定ノ手形ノ交付及ヒ對價ノ受領ニ依ル而シテ豫約ト手形契約トハ往々ニシテ同時ニ成立スト雖モ二者ハ嚴ニ之ヲ區

要式契約說ノ要旨

別セサルヘカラストアイヒサルンダニエルス、ミッテルマイエル等皆マルテ
 ンズノ論旨ヲ是認セリ

要式契約說ノ要旨ハ左ノ諸點ニ在リ

- 一 證券ハ振出人ノ手形上ノ債務ノ成立ニ絶對的必要ナリ
- 二 當事者間ノ單純ナル契約ハ債權債務ノ關係ヲ生スルモ其關係ハ手形上ノ法律關係ニ非ス

三 證券ノ欠缺ハ補足ヲ許サス

四 一タヒ證券ノ授受アリタルトキハ振出人カ證券ヲ交付シタルノ理由如何證券ノ授受ニ因リテ當事者ノ遂ケントシタル目的如何振出人

ハ既ニ受取人ヨリ報酬ヲ受領シタルヤ否ヤ手形ニ記載スル原因ハ眞實ナルヤ否ヤ等ハ法律ノ問ハサル所ナリ

斯ノ如クシテ手形契約ト手形豫約トハ全然別箇ノ制度タルニ至リ手形豫約ハ諾成契約ニシテ手形發行ハ準備タル契約ナリ振出人ハ對價ヲ得テ證

券、署名シ之ヲ發行交付スルノ義務ヲ負擔スルノミ而シテ豫約ハ履行ハ要書契約ノ締結ニ在リ其締結即チ手形ノ發行交付アリテ始メテ手形上ノ法律關係ヲ生ストスルハ二箇ノ契約ヲ區別スルハ結論ナリ之ヲ要スルニ要書契約ノ長所ハ手形上ノ債務ヲ以テ原因ト獨立セル一方的ノ債務トスルニ在ルナリ

近代ノ學說ヲ叙スルニ先チテ紙幣說、要式行爲說及ヒ定額約束說ノ三者ヲ紹介セサルヲ得ス此三說ハ共ニ手形理論一新ノ先鋒ニシテ近世ノ學說立法ニ貢獻シタル所頗ル偉大ナレハナリ

第一 紙幣說 (Pariengeldtheorie) 紙幣說ハアイネルト (Einert, Das Wechselrecht

nach dem Bedürfnis des 19. Jahrhunderts, 1839) ノ首唱スル所ニシテ手形ヲ以テ

商人間ニ於ケル紙幣ナリトスルニ在リ此說ハ手形ノ經濟的作用ヲ論シタルニ過キスシテ法律上ノ性質ヲ闡明シタリト云フヘカラス其短所ノ著シキモノヲ擧クレハ(一)手形ハ債務ヲ表スル證券ニシテ支拂ハ將來ニ

短所

紙幣說

在リ商人間ニ於テ支拂具トシテ之ヲ授受スルハ履行ヲ得ルノ希望確實ナルカ故ナリ然レトモ手形ハ債權的證券タルニ過キスシテ紙幣ノ純然タル支拂證券タルトハ其性質同シカラス(二)手形ノ活動ハ債權的連鎖ナリ裏書人ハ裏書ヲ爲シテ自ラ債務ヲ負擔シ以テ手形ノ信用ヲ増加ス而シテ裏書人其後者ニ償還ヲ爲シタルトキハ更ニ前者ニ對シ其債權ヲ行使スルノ地位ニ在リ要スルニ徹頭徹尾債權債務ノ關係ヲ持續スルモノニシテ紙幣ノ授受者間ニ何等ノ法律關係ヲ生セサルモノトハ大ニ異ナレリ(三)紙幣說ハ裏書ヲ以テ手形ノ流通ヲ阻害スルノ法制トシテ之ヲ排セサルヘカラス又無記名式ノ手形ヲ以テ最モ手形タルノ性質ヲ備フルモノト認メサルヘカラス然レトモ是レ流通ノ圓滿使用ノ簡易ヲ偏重スルノ謬ナリ然レトモ紙幣說ハ長所亦尠シトセス手形上ノ債權債務ヲ一方的タラシムル其一ナリ手形ノ受者ハ債權ヲ取得スルノミ債務ヲ負擔スヘカラス蓋シ振出人カ受者ニ對シテ債務ヲ負擔スルト同時ニ權利ヲ

長所

取得ストセハ手形ハ到底流通證券タルノ作用ヲ發揮スル能ハサレハナ
 リ曩昔受者カ其前者ノ利益ヲ保持スル爲メ引受ヲ求ムヘク之ヲ爲ササ
 レハ損害賠償ノ責ニ任スヘシトセル原則ハ紙幣說ノ容レサル所ナリ受
 者ハ獨立ナル權利ヲ得發行者ヲシテ廣ク多數ニ對シテ債務ヲ負擔セシ
 ムル其二ナリ前者ニ對スル人的抗辯ニ遭遇スルノ虞ナク裏書偽造ナル
 モ無能力者ニ出ツルモ善意者完全ナル權利ヲ取得スルニ非スンハ手形
 ノ流通ヲ期スヘカラサルナリ手形カ當事者ノ位地ヲ決定スルノ效力ヲ
 有ストスル其三ナリ手形ニ表セサル事項當事者間ノ關係ヲ左右セサル
 アリテ始メテ不要因的ノ商業證券若クハ支拂約束トシテ活動スルヲ得
 ルナリ

要式行爲說

第二 要式行爲說 (Formalakttheorie) リーベ (Liebr, Entwurf einer Wechselordnung

für Braunschweig, 1843) ノ唱フル所ニシテ其趣旨ハ手形ハ要式的行爲ナリ

一定ノ形式ヲ備ヘタル行爲アリタルトキハ當然法律上ノ效力ヲ生シ形

長所

式ノ履行ハ其法律上ノ結果トシテ一定ノ法律關係ヲ生スルモノニシテ
 當事者ニ於テ其效力ヲ期シ其結果ヲ欲シタルト否トヲ問ハス恰モ羅馬
 法ノ「ステブラーチオ」カ當事者間ニ於テ法定言語ノ交換アリタルトキハ
 當然權利義務ヲ生シ當事者ノ言語ヨリ其權利義務ヲ生セシムヘキノ意
 思アリト推測スルカ故ニ非サルカ如シ即チ手形ノ存在ニ法律上ノ效果
 ヲ附シ荷モ手形ノ發行交付アリタルトキハ一定ノ地及ヒ時期ニ於テ一
 定ノ金額ヲ支拂フノ義務ヲ生ストスルニ在リ此說ハ手形ノ價值ヲ債權
 債務ノ關係ニ置キ私法的ノ説明ヲ試ミタル點ニ於テ紙幣說ニ比スレハ
 一大進歩ト云ハサルヘカラス而シテ手形行爲ヲ以テ不要因的 要式行爲
 トシ手形ノ所持人ヲ視ルニ保全行爲ヲ爲スノ義務ヲ負擔スル受任者ト
 セス之ヲ獨立ナル債權者トシ手形上ノ關係ヲ雙方的ノ契約關係トセス
 所持人ノ保全行爲ハ其債務ニ非スシテ自己ノ利益ヲ保護スルノ手段ナ
 リトスル等ハ要式行爲說ハ特長ト稱スヘキナリ

定額約束説

第三 定額約束説 (Theorie des Summenversprechens) テール (Thöl, Entwurf einer

Wechselordnung für Mecklenburg. 1847; Wechselrecht) 所説ノ要旨ヲ示ス左ノ如シ

爲替手形ノ引受ヲ爲シタル者ハ絶對的ニ手形金額支拂ノ義務ヲ負擔シ
資金ヲ受領セサルヲ理山トシテ支拂ヲ拒ムヲ得ス又振出人ハ支拂拒絶
ノ場合ニ於テハ償還義務ヲ履行セサルヘカラサルノ責任ヲ有シ其受者
ヨリ對價ヲ得サルヲ以テ抗辯ノ事由トスル能ハス即チ手形金額及ヒ償
還金額支拂ノ義務ハ手形行爲ヲ爲スニ至リタル原因ヲ問ハサル純然タ
ル定額支拂ノ債務ナリ此定額支拂ノ約束ニ與フルニ法律上絶對的效果
ヲ以テスルハ債務者ノ債權者ニ對抗スルヲ得ヘキ抗辯ノ制限ト爲リ手
形交通ニ利スル所甚ク大ナリ債務者ノ責任ノ基礎ハ原因ニ在ラスシテ
手形約束ニ在リ故ニ手形契約ハ要式契約ニシテ其形式トハ手形手形契
約及ヒ拒絶證書ナリ而シテ手形契約ノ形式ハ手形ノ授受ニシテ手形ノ
占有者ハ手形上ノ債權者ナリ

長所

此説ノ長所ハ受者ハ唯權利ヲ取得スルノミニシテ義務ヲ負擔スルコト
ナク受者ノ何人タルカハ振出人引受人裏書人ニ於テ全ク之ヲ問ハス後
者ハ前者ノ受任者ニ非ス又受者ノ義務ト稱スルモノハ寧ロ其權利執行
ノ條件タルニ過キストスル等ノ諸點ニ在リ

近世ノ學説

更ニ進テ近世ノ手形理論ト稱スルモノニ論及セント欲ス獨國ノ學者概ネ
契約説 (Vertragstheorie) 及ヒ一方行爲説 (Theorie des einseitigen Aktes) ニ分類スルモ
一方行爲説亦自ツカラ分派アリテ之カ學理的排列甚ク難ク且却テ會得ニ
便ナラス余ハ分類ノ方法ヲ執ラス順次諸説ノ梗概ヲ紹介セント欲ス

契約説

第一 契約説 (Vertragstheorie) 契約説ノ根本的思想ハ債務者ノ債務モ債權
者ノ債權モ共ニ債權的契約ノ締結ニ因テ發生ストスルニ在リ而シテ余
ハ先ツテテールノ契約説ヲ叙セサルヲ得ス其要ニ曰ク手形契約ノ形式ハ
第一ニ手形ノ授受ナリ手形ノ授受ナクンハ手形契約ヲ爲ス能ハス何ト
ナレハ債權者カ手形ニ依リテ權利ヲ取得スルニハ手形ヲ所持セサルヘ

カラサレハナリ手形ハ支拂ヲ受クルノ具ニシテ亦唯一ノ具ナリ然レトモ手形所持ノ外何等必要ナルモノナシ而シテ手形ノ授受ハ第二ニ手形契約ヲ締結スルノ意思ヲ以テ之ヲ爲ササルヘカラスト雖モ其意思ハ敢テ證明ヲ要セス手形ノ授受アリタルトキハ其意思アリタリト推定シ又手形ノ授受モ證明ヲ要セス手形ニ債權者トシテ指定シタル者ニ於テ手形ヲ所持スルトキハ手形ノ授受アリタルモノト推定スルナリ唯被告ハ原告ニ對シテ契約締結ノ意思若クハ手形授受ノ欠缺セルコト即チ其請求ノ原因タル契約ノ不成立ヲ立證スルヲ得ルナリト (Wechsrecht S. 33. § 13-217) ガーライヌノ其著商法ニ論スル所 (S. 1. § 321) ヲモテテルノ手形法ニ説ク所 (10. § 176) 其趣旨ニ於テ毫モ異ナルナシ皆契約ノ締結ヲ以テ手形上ノ法律關係ノ原因トシ手形ニ債權者トシテ指定セラレタル者ニ於テ單ニ手形ヲ所持スルヲ以テ契約ノ締結アリト推定シ手形ノ所持ハ正當ノ授受ヲ推測スルナリ斯ノ如ク手形ノ所持即チ契約ノ締結ナリト

スルカ故ニテールノ手形契約ノ形式ト稱スルハレーマン、グリーンプー、トノ評スル如ク形式ナキ形式ト云ハサルヘカラスト而シテ手形ノ授受ニ關シテモ固ヨリ惡意ヲ推定スヘキニ非サルモ普通ノ手續ヲ經テ契約ノ締結ニ因リ手形ヲ取得シタルモノト推定スルノ理由アルナシ而カモ其何ノ故ニ然ルカラ立證セス余ハ契約ノ締結ト手形ノ所持ナル事實ヲ以テ直チニ正當ノ債權者ト推定スルトハ兩立スヘカラサル觀念ナリト信ス

契約說ヲ奉スル學者頗ル多ク今之ヲ列舉セス近時最も強硬ニ契約說ヲ主張スル者ヲベルンスタイントス而シテ契約說ハ手形行為ノ所謂直接當事者間ニ於ケル法律關係ヲ説明スルニ於テハ或ハ難カラサルヘシト雖モ債務者ト將來相次ク後者トノ間ノ債權的連鎖ノ由テ來ル所ヲ證スル甚タ容易ナラス學者亦此點ニ關シ種種ノ説明ヲ試ミタリ不定ノ將來ノ手形所持人ト契約ヲ爲ストシ若クハ裏書人ハ其前者後者ノ間ニ介立

シテ契約ノ締結ヲ媒介スル者ニシテ意思表示ノ傳達者ナリトスルハ固ヨリ失當タリ被裏書人ハ手形上ノ權利ノ承繼者トシテ獨立ノ債權ヲ取得ストスルハ權利ノ承繼ト其獨立ト兩立スルヲ得ヘキノ證明ヲ要スゴルドシユミットハ嘗テ論シテ曰ク手形ノ發行者ハ第一ノ受者ト契約ヲ締結スルト同時ニ將來ニ於テ相次ク證券ノ取得者ニ對シテ一方的ニシテ承諾ヲ必要トセス而カモ慣習法ニ從ヒ絶對的ノ拘束力ヲ有スル約束ヲ爲スモノナリ契約ハ不定ノ第三者トノ間ニ成立スルニ非ス特定者間ニ於ケル契約ナリト雖モ其契約ハ特定人ノ爲メニ且特定人ノ一團ノ爲メニス此一團ニ屬スル者ハ發行者ニ對シテ獨立ノ權利ヲ取得スト(N. F. H. R. XXVIII s. 110 ff.)ゾーム(Sohm)ハ曰ク手形約束ハ各不定ノ人ニ對スル無數ノ拘束力アル申込ヲ包含スルモノニシテ將來ノ被裏書人カ手形ヲ取得シタルトキハ各債務者ニ對シテ其申込ヲ承諾シ之ニ因リテ各債務者及ヒ各債權者間ニ債權的契約ノ成立ヲ來スナリト(N. F. H. R. XVII s.

16-107 insbes. 72-81)

余ハ契約說ヲ否認スル者ニシテ試ニ疑點ヲ舉クレハ

- 一 普通ノ契約ニ於テハ當事者ハ各其相手方ノ何人ナルヤヲ輕視セス然ルニ手形ニ在リテハ受者ハ債務者ニ重ヲ置クト雖モ債務者ハ債權者ノ誰タルヲ問ハサルナリ
- 二 偽造手形ニ真正ノ手形行爲ヲ爲シタル者ハ善意ノ取得者ニ對シテハ債務ヲ負擔セサルヘカラス今振出行爲偽造ニシテ振出人受取人間ニ契約ノ成立ヲ認ムヘカラサル場合ニ於テモ裏書人引受人ハ各其手形行爲ニ因リテ債務者ト爲リ又被裏書人カ債權者タルニハ裏書行爲ノ真正ナルヲ條件トセス其前者正當ノ權利者ナラサルモ債權取得ヲ妨ケス是ニ由テ之ヲ觀レハ手形ノ契約的授受ハ手形上ノ權利ノ成立ニ缺クヘカラサル原因ナリト稱スヘカラサルハ明瞭ナリ
- 三 將來ノ所持人ヲ以テ承繼者トスルハ後者カ前者ヨリ大ナル權利ヲ

取得スルヲ得又偽造ノ裏書ニ因リテ手形ヲ取得スル者モ完全ナル債権者タルヲ得ルノ理ヲ説明スル能ハス受者全ク意思ノ欠缺セル場合ニ於テモ真正ノ手形行爲者ハ善意ノ取得者ニ對シテ其責ヲ辭スル能ハサルハ契約説ノ解明スルヲ得ル限ニ在ラス

四 若シ夫レ單一ノ行爲ヲ以テ第一ノ受者トノ契約締結ト同時ニ之ニ附隨シテ無數ノ拘束力アル申込ヲ爲ストシ第一ノ受者ノ媒介ヲ待タスシテ將來ノ各所持人ト契約ヲ爲スモノト説明スルハ契約ノ觀念ヲ距ルコト遠ク一方的行爲ナリト解スルト毫モ擇フ所ナキナリ

五 被裏書人ノ權利ハ獨立ナリトノ思想ノ發達シ證券ニ記載スル文言ニ至リカ被裏書人ノ取得スル權利ノ效力ヲ定ムルノ原則認メラルルニ至リテハ契約説ハ全ク其法律上ノ根據ヲ奪ハレタルモノト云フヘキナリ

第一ノ受者ニ基キテ權利ノ所由ヲ證明スルヲ得サル場合ト雖モ手形行爲者ハ無數ノ債権者ニ對シテ責任ヲ負擔セサルヘカラス

六 契約説ヲ主張スル者ニシテ引受ノ契約ナルヲ認メサルアリト雖モ之ヲ契約ナリトスルハ引受人ハ引受ノ當時ニ於ケル所持人ノミナラス其後者ハ勿論其前者ニ對シテモ支拂ノ義務ヲ負擔シ單純ナラサル引受ハ所持人ノ意思ニ反スル場合ト雖モ引受ノ文言ニ從テ引受人ヲ拘束スル所以ヲ説明スヘカラス

呈示説

第二 呈示説 (Pendenz-Präsentationstheorie) 此説ハフォルステル (Fürster, Theorie

und Praxis d. preuss. Privatrechts I S. 64) 及ヒリーゼン (Lieser, Zur Lehre von der rechtlichen Natur der Inhaberpapiere, Z. f. H. R. XXVIII s. 36 ff.) ノ主張スル所ニシテ其要手形上ノ債権者ハ承繼的ニ手形上ノ法律關係ニ参加スルニ非ス、支拂ヲ求ムルカ爲メニ手形ヲ呈示スル最後ノ所持人ヲ以テ債権者トスルニ在リフォルステル曰ク手形占有ノ取得ハ債権者タルヲ得ヘキ者ヲ定ムルノミ呈示訴訟若クハ受戻アリテ始メテ債権者確定スルナリ其之ヲ爲スマテハ手形ノ發行ニ因リテ表セラルル一方的ノ債務意思存スル

ニ過キス何人カ手形ヲ取得シテ債權債務ノ關係ヲ成立セシムルニ至ルカハ全然未定ナリ債權者タル資格ハ未決ノ状態ニ在リトリセルハ所持人手形ヲ呈示スルアリテ始メテ債權者ヲ生スト云ヒ又呈示者ハ債權者ナリト云フ之ヲ要スルニ支拂ヲ求ムルカ爲メニ手形ヲ呈示スル者ハ原始的ノ債權者ニシテ債務者ハ指圖文句又ハ無記名式ノ發行ニ因リテ豫メ呈示者ヲ自己ノ債權者トスルノ意思ヲ表示ストスルニ在リ二氏ハ無記名證券ニ付テ此說ヲ唱ヘタルモド、フオンテナイ(De Fontenay)ノ如キハ廣ク手形ニ之ヲ應用シタリ

今呈示說ノ非ナル理由ヲ概述スレハ裏書人ハ裏書ヲ爲シタル後ト雖モ其前者ニ對シ擔保ヲ請求スルヲ得ヘク其請求權ヲ有スル所以ハ一タヒ債權者タルノ資格ヲ取得シ後自ラ裏書ヲ爲スモ仍ホ此資格ヲ保有スルカ爲メナリ又所持人カ裏書ニ依リテ證券ヲ處分スルノ權能ヲ有スルニ拘ハラス之ヲ債權者ニ非スト云フハ甚タ謂ハレナシ之ヲ要スルニ呈示

者ニ對スル單一ノ債權債務ノ關係ト云フハ手形行爲者間ニ於ケル債權的連鎖ノ存在ヲ否認スルモノナリ又滿期日即チ履行ノ時期ヲ待テ始メテ債權ノ成立ヲ說クハ頗ル奇怪ノ論ト云ハサルヘカラス

創造說

第三 創造說(Kreationsheorie) 契約說ト反對ノ極端ニ在ルヲクンツェ(Kuntze)

ノ創造說トス其說ニ曰ク證券ハ發行者ハ法律關係ハ一方的ノ創造者ニシテ獨リ署名ニ依リテ證券ニ價格ヲ付ス受者ハ單ニ受領者トシテ此有價證券ヲ取得スルノミ受者アリテ始メテ完成スルモ發行者ト共同シテ法律關係ヲ設定スルニ非サルナリト又曰ク手形ハ發行者署名ノ時ニ於テ固有ノ信用關係ヲ表シ又現實ノ有價物ヲ表ス手形發行者ノ手ニ存スル間ハ恰モ己ニ對シテ債權者タルノ觀ヲ呈ス而シテ此準備的ノ信用關係カ變シテ固有ノ債權債務ノ關係ト爲ルニハ手形ハ發行者ニ對シテ債權者タルヘキ他人ノ手裡ニ歸スルヲ必要トス受取人ニ於テ手形ヲ取得スルアリテ始メテ債權債務ノ關係發生ス故ニ發行アリテ未タ取得アラ

サル時期ニ於テハ手形ハ仍ホ不全ノ状態ニ在リト而シテクンツェハ更ニ
 エンデマンノ商法 (Eudem. H. B. IV § 12 ff.)ニ於テ一方的創造説ノ心理
 的説明ヲ試ミテ曰ク債務ノ目的 (Objigationsobjekt)ハ債務者タル人ニ非ス
 特定ノ給付ヲ爲スヘキ債務者ノ意思ナリ其意思即チ拘束ヲ受ケ其意思
 即チ債權者ノ有ニ歸ス……………手形其他之ニ類スル證券の權利ニ在リテ
 ハ證券ト債權債務ノ關係トハ私法上分離スヘカラサル状態ニ在リテ即
 チ證券ハ債權債務ノ機關ナリ負擔者ナリ……………債務者ノ意思證券ニ固
 定シ之ニ依リテ吾人ノ感覺ニ訴フルヲ得ヘキ形體ヲ具ヘ債權者證券ヲ
 取得シタルトキハ其支配權ノ目的ヲ達シ得タルニ均シク無形ノ債權債
 務ハ有形ノ所有物ニ近ツキ恰モ有體物ニ變化シタルカ如シト
 クンツェハ己ノ説ヲ純然タル創造説 (reine Kreditscheorie)ト自稱スルモ其説
 明スル所ヲ見レハ債權債務ノ關係ハ發行者ノ署名ニ因リテ直接ニ生ス
 トスルニ非ス并ハ署名アリタルトキハ既ニ發行者ノ手裡ニ存スル間ニ

於テ現實ノ價格ヲ有シ何時ニテモ債權ノ原因タルヲ得ヘキ資格ヲ具備
 スルノミ元來債權債務ノ關係ハ二人ノ對立ヲ必要トシ證券發行者ノ手
 ヲ離レサルトキハ當事者ノ複數ヲ缺クモノニシテ發行者ハ同時ニ債權
 者及ヒ債務者タル能ハス債權者タルヲ得ルノ能力ヲ有スル他人カ債權
 者タラントスル意思ヲ以テ其證券ヲ取得スルマテハ法律關係ノ準備ニ
 シテ成立ニ非ス發行者ハ證券ノ占有者トシテ之ヲ留保シ破毀スルノ全
 權ヲ有スト云ヘルニ徴シテ明瞭ナリトス尙ホ債權債務ノ成立ニハ手形
 ノ取得ヲ必要トス其前ニ在リテハ唯準備的ノ信用關係存スルニ過キス
 シテ債務關係ナルモノナシ手形ハ不完全ナル状態ニ在リテ將ニ手形タ
 ラントスト論スルニ至リテハ取得前ハ未タ手形上ノ法律關係ノ成立ヲ
 認メサルノ趣意タルヤ疑ヲ容レス殊ニ信用關係ノ存在ヲ説クモ發行者
 ハ自由ニ證券ヲ破毀スルヲ得ト云フハ信用關係ト稱スルモノハ法律上
 ノ效果ヲ有セサルモノニシテレーマン、グリーンフットノ如キハ純然タ

ル創造説ト認め難シト批評セルハ寧ロ當然ト云フヘシ而シテ今クンツェ
ノ所説ニ付テ一言センカレーマンハ彼ノ心理的説明ヲ攻撃シテ曰ク凡
ソ意思ナルモノハ如何ナル場合ニ於テモ純然タル精神的ノモノニシテ
人ヲ離レテ其存在ヲ想像スル能ハス意思カ證券ニ固定シテ債權者ノ有
ニ歸スト云フハ意思ノ自存自立ヲ認ムル架空ノ論ナリト又クンツェ論ス
ル所ノ論理上ノ結果ハ手形カ受取人トシテ指定セラレタル者ノ占有ニ
歸シタルトキハ債權債務ノ成立條件ハ茲ニ備ハリ占有取得ノ善意惡意
ヲ問ハサルカ故ニ被指定者手形ヲ竊取シタルトキト雖モ尙ホ之ヲ手形
上ノ債權者ト認めサルヘカラス是果シテ法理ノ容ス所ナルヤ此點ニ於
テ創造説ニ反對スル者甚々多シ

所持説

第四 所持説(Delentionsstheorie) シーゲル(Siegel, Das Versprechen als Verpflichtungs-
Grund)ハ債權債務發生ノ原因ハ契約ノミニ非ス所謂一方的約束モ亦特
定ノ場合ニ於テ均シク債權債務ノ原因タルヘキヲ痛論シ無記名證券指

圖證券ヲ其適例トセリ而シテ其論旨ハ受取人其他ノ者ノ爲メニ債權ノ
成立スルニハ證券カ其手裡ニ歸スルノ外何等ノ要件アルコトナシ此事
實(Faktum)アレハ受取人ニ於テ知ルト知ラサルト欲スルト欲セサルト
ニ拘ハラズ債權者タルノ資格ヲ取得スト云フニ在リ今試ニ其説明ノ文
辭ヲ舉示センカ債務成立ノ理由ハ證券ノ作成ナリ裸體ノ約束ナリ然レ
トモ約束ハ證券ニ指定セラレタル者又無記名證券ニ於テハ發行者ニ非
サル者ノ手裡ニ歸スルヲ條件トシテ之ヲ爲スモノナルヲ以テ此條件ノ
備ハレルアリテ約束ハ其效果ヲ生ス唯其條件ヲ具備スルノ時期場所及
ヒ方法ハ債權債務ノ發生及ヒ存立ニ何等相關スル所ナシ是ヲ以テ縱令
證券ハ發行者ノ意ニ反シテ流通スルニ至ルモ證券喪失若クハ盜失ノ場
合ニ於テモ債務ノ效果ヲ生スヘキ條件ハ成就セルモノト云ハサルヘカ
ラス

ジーゲルハクンツェノ如ク手形ノ取得ヲ債務成立ノ要件トセサルカ故ニ

純然タル創造說ノ名稱甚々當レルカ如シ然レトモ單純ナル事實的ノ所持ニ法律上ノ效果ヲ付シ不知無意ノ所持者モ亦債權者タルヘシトスルハ偶然ノ事實ヲ法律關係發生ノ原因ト認ムルモノニシテ余ハ之ヲ排スルニ躊躇セス而シテ竊取者モ亦債權者タルヲ得ルハクンツ^oノ所說ト相同シ

人格說

第五 人格說(Personifikationsheorie) ベッケルハ無記名證券ニ付テ此說ヲ唱道

シフキルクマール、レーグザイ(Volkmar-Liwy, Begriff und Charakter des Wechsels, Z. f. H. R. II. s. 552 ff.)汎ク手形ニ關スル正解トシテ之ヲ採レリ其要手形ヲ債權者トシ、發行者ヲ第一ハ所持人トスルニ在リ、此說ノ非ナルハ敢テ說明ヲ要セス手形ハ受取人又ハ被裏書人ノ財産ニ屬スルモノニシテ權利ノ主體カ他ノ權利ノ主體ノ財産ヲ構成スト云フハ法理ノ認メサル所又債務者證券ニ對シテ債務ヲ負擔ストスルハ債權債務ノ對人的關係タルヲ拒否スルモノナリ

發行說

第六 發行說(Emissionsheorie) 發行說ハ創造說ニ近遜スト雖モ證券ノ作成

ヲ以テ法律關係ノ成立ノ原因トセス發行者ニ於テ有意ニ證券ヲ己ヨリ分離スルヲ法律關係設定ノ要件トス、Stobbe, Handbuch des deutschen Privatrechts III § 171ノ所論ニ見ルニ契約ニ在リテハ當事者一方ノ與フルト他方ノ受クルトハ同一法律行為ノ二面ナリト雖モ手形上ノ法律關係ニ在リテハ之ヲ二箇ノ獨立行為トシ第一ノ行為即チ授與アリタルトキハ債權的關係ハ之ニ因リテ發生スト顧フニ此說ハ發行者ノ意思ニ基カスシテ手形カ流通スルニ至リタル場合ニ於テ發行者債務ヲ負擔スルノ批難ヲ免ルヘシト雖モ理論的說明ヲ缺ケリストツベノ拋棄(Dereliction)ト稱スルハ其實ニ於テ拋棄ニ非ス何トナレハ發行者ノ手形ヲ拋棄ストハ他人ノ占有ニ歸スルヲ目的トスレハナリ又發行說ニ依レハ故意ニ手形ヲ放ツトキ例セハ途上ニ遺棄シタルトキト雖モ手形上ノ法律關係ハ茲ニ成立スルナリ而シテ拋棄ノ意義ヲ嚴格ニ解スルトキハ債務負擔ノ意思

ヲ必要トセサルモノニシテ盜失喪失ノ場合ト何等區別スル所以ヲ知ラサルナリ

善意説

第七 善意説 (Rechtlichkeitstheorie) グリークンフート (Grünhut, Die Wechselbegebung

nach Verfall; Zur Theorie des Wechsels in seiner Zeitschrift XIX. s. 257-326; Wechselrecht I § 28 s. 263 ff.) ハ手形上ノ債務ハ形式ニ因リテ生スル一方的行爲ヲ其唯一ノ基礎トスルモノトシ曰ク署名者爲替手形ノ振出人、裏書人、引受人、參加引受人、約束手形ノ振出人、保證人ハ各獨立シテ其署名ニ因リテ手形關係ニ立チ亦唯署名ヲ必要トスルノミ從テ手形能力ハ署名ノ當時ニ存スルヲ以テ足り手形ノ善意取得ノ時ニ存スルヲ要セス……………然レトモ債權者タルノ意思ヲ有スル者在ラサレハ債務其效果ヲ生スルノ理ナキヲ以テ手形カ他人ノ勢力範圍ニ歸セサル間ハ未タ法律關係ノ設定ヲ説クヘカラス未タ法律關係ノ設定アラサルモ署名ハ單純ナル事實的ノ行爲ニ非ス法律上何等ノ意義ナキモノニ非ス法律行爲ノ純然タル準

備ト稱スヘカラス又手形上ノ債權債務ノ將來ノ發生ノ爲メニ存スル拘束力ナキ材料ニ過キササルモノト云フヘカラス……………他人カ善意ニシテ且形式的資格ヲ表スル占有ヲ取得シタルトキハ完全ナル效力ヲ生スルモノニシテ即チ手形行爲者ノ債務ハ條件附ナリト而シテ法律ニ於テ要件トシテ問フハ手形取得ノ善意ニシテ手形ノ授受ニ非ストシ進テ説テ曰ク手形カ善意ノ占有者ノ手裡ニ歸ストハ振出人カ第一ノ受者ニ授ケタルト否トヲ區別スルコトナシ證券ニ化體セル債務負擔ノ意思ハ契約論者ノ主張スルカ如ク第一ノ受者カ振出人トノ合意ニ基ク授受ノ結果トシテ證券ノ占有ヲ得タル場合ニ於テノミ其效力ヲ生スルニ非ス又一方的行爲説ヲ奉スル多數學者ノ唱フル如ク手形上ノ法律關係ノ成立ハ證券ノ發行ニ因ルニ非ス所有權ノ移轉ニ適當ナル法律行爲ニ因ル證券ノ授受ニ基クニモ非ス手形カ其活動ヲ始メタルトキハ既ニ其效力ヲ生スルモノニシテ其活動カ振出人ノ意思ニ基クト否トヲ論セサルナリ……

……手形ヲ取得スル者ハ一ニ其外觀ニ信賴ス手形カ正當ニ其活動ヲ始メタルヤ否ヤハ如何ニ注意周密ナル者ト雖モ之ヲ知ルヘカラス正當ノ授受ヲ了シタルヤ否ヤハ第三者ノ窺フヘカラサル祕密ナリ善意ノ取得者ノ權利ハ手形ニ表セラレサル事實若クハ出來事ヲ以テ左右スルヲ許スヘキニ非ス振出人カ果シテ手形ヲ授與シタルヤハ實ニ振出人ト受取人トノ間ニ於ケル事項ニシテ當事者間ノ所謂對内關係ナリ將來ニ於ケル善意ノ取得者ノ毫モ關知スル所ニ非ス取得者ヨリ觀レハ他人間ノ事件ニ過キス……振出人カ證券ヲ授與セサルノ事由ハ善意ノ取得者ニ對抗スルヲ得ヘキモノニ非スト

善意說ハブルンチェリー(Bruntschli, deutsches Privatrecht S. 163)無記名證券ニ付キ首唱シグリュインフート之ヲ手形一般ニ應用シタルナリ而シテ以上抄録シタルグリュインフートノ所說ニ徴スルニ發行者ニ於テ手形ヲ授與シ之カ占有ヲ移轉スルハ債務成立ノ條件ニ非ス手形カ善意者ノ占有ニ歸

シタルトキハ之ニ因リテ直チニ法律關係成立シ發行者ノ意思ニ基クト否トヲ問ハサルハ明瞭ナリ而シテ余ノ首肯スル能ハサルハグリュインフートハ署名者ノ債務ハ一方的ニ成立スト明言シテ署名者ハ其署名ヲ抹消シ恰モ一片ノ草稿タルニ終ハラシムルヲ得ヘシト説クハ如何署名者ニ於テ此自由ヲ有スル間ハ債務成立シタリト云フヘカラサルニ非スヤ此疑問ニ對シテグリュインフートハ振出人ハ署名ニ因リテハ唯條件附債務ヲ負擔スルニ過キス其條件トハ證券カ債權者タラント欲スル他人ノ手裡ニ歸スルヲ云フト辯スト雖モ是條件ノ性質ヲ誤ルモノニシテ條件附債務モ均シク債務ナリ而カモ署名者カ其一方の意思ニ依リ隨意ニ條件ノ成就ヲ妨クルヲ得トセハ其所謂條件ハ條件タルノ實質ヲ備ヘサルモノト云ハサルヘカラス又署名者カ毫モ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ有セス又其意思ヲ表示セサルニ拘ハラス善意ノ取得者ニ對シテハ債務ヲ負擔スヘシトセハ如何ニシテ無能力者カ債務ヲ負擔セサルヲ説明スヘキ

カ心神喪失者モ亦手形ノ外觀ニ信賴セル善意取得者ニ對シテハ債務者
 タラサルヘカラサルノ結論ト爲ラングリーンプート此結論ヲ認メサル
 ハ其間理ニ於テ何等區別スル所アルヤ手形行爲ハ意思ノ欠缺ヲ問ハス
 錯誤ニ因リテ手形ヲ發行シタルトキト雖モ之ヲ善意ノ取得者ニ對抗ス
 ルヲ得スト論スルハ其主張スル善意主義ト首尾一貫スルカ如シト雖モ
 何カ故ニ法律行爲ニ關スル一般ノ原則ヲ適用スヘカラサルカ余ハ手形
 法ノ規定ニ於テ其論據ヲ發見スル能ハス無能力者ノ保護ハ公益ニ基ク
 ト云フハ論難ニ對スル辯解トスルニ足ラサルナリ

所有權授與
 説

第八 所有權授與説(Eigentumsverschaffungstheorie) 是ノ一マン(Lehmann, Wech-

selrecht §§ 62-63 s. 211-268, § 69 s. 277; Zur Theorie der Wertpapiere s. 13 ff.) ノ
 唱フル所ニシテ其主趣振出人又ハ裏書人ノ債務ノ成立ニハ二箇ノ要件
 アリ其一ハ債務ヲ負擔スヘキ者ニ於テ債權ヲ取得スヘキ者ヲシテ直接
 ニ若クハ媒介者ヲ經テ間接ニ手形ノ所有者タラシムルニ適當ナル法律

行爲ヲ爲スコト他ノ一ハ手形ニ債權者トシテ其資格ヲ示ス者ニ於テ手
 形ノ所有權ヲ取得スルコト是ナリ而シテ引受人及ヒ參加引受人ハ署名
 ノ當時手形ハ既ニ債權者タルヘキ者ノ所有ニ歸セルヲ以テ其債務ハ單
 ニ署名ニ依リテ成立スト云フニ在リ

レーマン所論ノ根據ハ獨國手形法第七十四條我商法第四百四十一條ニ
 該當スハ唯善意ノ被裏書人ニ適用スルヲ得ヘク受取人ニ適用スル能ハ
 ス故ニ振出人ノ不知無意ナルトキ又ハ之ト直接ノ關係ナクシテ手形ヲ
 取得スルモ受取人ハ之ニ因リテ手形上ノ債權者タルヲ得ス詳言スレハ
 振出人署名ヲ了シ受取人善意ニテ手形ヲ取得スルノ事實ハ未タ振出人
 ノ債務ヲシテ成立セシムルニ足ラス手形ノ所有權移轉ヲ目的トスル物
 權的行爲ノ加ハルアリテ始メテ振出人ハ債務ヲ負擔スルモノナリトス
 ルニ在リ然レトモ被裏書人カ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取
 得シタルトキハ手形ノ所有者ト爲リ又完全ナル債權者タルヲ得テ手形

ニ明記シタル受取人カ此原則ノ適用ヲ受ケサルノ理由アラサルナリグ
リコーンフート、カンスタイン、カルリオン、ヤコビ等皆此點ニ於テレーマン
ノ説ヲ批難セリ殊ニ振出人自己ヲ受取人トシテ手形ヲ發行シ之ヲ裏書
シタル場合ト何等區別スヘキ所ナキナリレーマンノ説ハ根本ニ於テ謬
レリ

所有權説

第九 所有權説 (Eigentumslehre) 所有權説ハ手形ナル證券ノ所有者ヲ以テ
手形上ノ債權者トシ證券ノ所有權ト債權トヲ結合スルニ在リ證券ヨリ
生スル權利 (Recht aus dem Papier) ハ證券ニ存スル權利 (Recht am Papier) ニ伴
フトハ多數學者ノ論スル所ニシテ今茲ニ之ヲ列舉セスト雖モ之ヲ唱道
スル者契約説派ニ屬スル者アリ一方的行爲説ヲ奉スル者アリ
證券ノ所有權及ヒ債權カ同一人ニ歸シ債權カ所有權ヲ吸收スルニ非ス
シテ却テ所有權ニ隨伴シ手形ノ所有者ヲ以テ手形上ノ債權者トシ手形
ヨリ生スル權利ノ所屬ハ手形ニ存スル權利ノ所屬ニ依リテ定マルトス

余ノ見解

手形理論ト
手形行為爲
立トノ別

ルノ思想ハ獨國手形法ノ制定以後ニ於テ始メテ學者ノ唱ヘタル所ニ非
スサビニー、ミッテルマイエル等既ニ之ヲ説キ之ニ關スル原則ヲ説明セリ
普國法、佛國商法手形ノ所有權 (Une propriété d'une lettre de change) 若クハ「手形
ノ所有者」 (Eigenümer des Wechsels) ナル文字ヲ用キ固有ノ裏書ヲ以テ所有
權移轉ノ形式トセリ
我、商、法、ハ、解、釋、ト、シ、テ、余、ハ、所、有、權、ヲ、基、礎、ト、シ、テ、手、形、上、ノ、債、務、ノ、成、立、ヲ、説、明、
ス、ル、ヲ、正、當、ナ、リ、ト、信、ス、之、ヲ、述、ブ、ル、ニ、先、テ、注、意、ス、ヘ、キ、コ、ト、ア、リ、余、ノ、手、形、
理、論、ト、稱、ス、ル、ハ、手、形、上、ノ、債、務、ノ、成、立、如、何、ヲ、攻、究、ス、ル、モ、ノ、ニ、シ、テ、手、形、カ、手、
形、行、爲、ノ、基、礎、タ、リ、若、ク、ハ、手、形、行、爲、ノ、各、獨、立、シ、テ、其、效、力、ヲ、生、ス、ル、ノ、問、題、ト
相、關、連、ス、ル、ニ、非、ス、手、形、行、爲、獨、立、ノ、原、則、ハ、既、ニ、説、明、シ、タル、所、ニ、シ、テ、振、出、行、
爲、偽、造、ニ、シ、テ、法、律、上、ノ、效、果、ヲ、有、セ、ザ、ル、場、合、ニ、於、テ、モ、裏、書、引、受、等、眞、正、ノ、手、
形、行、爲、ハ、完、全、ニ、其、效、力、ヲ、生、ス、ル、ハ、論、ナ、シ、然、レ、ト、モ、是、所、謂、手、形、理、論、ノ、問、題、
ニ、ハ、非、ザ、ル、ナ、リ、手、形、理、論、ハ、各、手、形、行、爲、ハ、如、何、ニ、シ、テ、成、立、ス、ル、カ、行、爲、者、ハ、

如何ナル條件ノ存スルアリテ其行爲ノ拘束ヲ受ケ自ラ債務ヲ負擔スルカ
ヲ問題トシ即チ其各手形行爲其モノヲ論スルニ在リ他ノ手形行爲ノ效力
ヲ生スルト否トハ毫末ノ關係ヲ有セス初學者動モスレハ此二者ヲ混淆ス
宜シク留意スヘキナリ

手形行爲ハ署名ヲ要件トス署名ナクシテ手形行爲ナシ手形上ノ債務者ハ
署名者ナラサルヘカラサルハ手形法ノ大原則ニシテ說ノ如何ヲ問ハス學
者ノ齊ク認ムル所ナリ唯署名ノ一事ヲ以テ足レリトスルカ將署名ノ外何
等之ニ加ハルアルヲ必要トスルカハ即チ學說ノ相異ナル所ナリ而シテ所
有權說ハ手形ナル證券ノ所有權取得ヲ以テ署名者債務成立ノ要件トス余
ハ全然所有權說ヲ是トスルニ非ス然レトモ證券ノ所有權取得ノ思想ハ我
商法ノ認ムル所ナルヲ信ス試ニ我商法ノ規定ニ就キ之ヲ證センカ手形ヲ
取得シタルノ文字ヲ用ユルハ第四百四十一條及ヒ第四百六十四條ニシテ
「手形讓渡」ノ文字ヲ用ユルハ第四百五十五條第四百五十六條及ヒ第四百五

所有權說ノ
根據

第四百四十
一條ノ解

十七條ナリ又「手形ヨリ生シタル債務」ト云ヒ「手形ヨリ生シタル債權」ト云ヒ
「手形上ノ權利」ナル文字ヲ用キタルノ例ハ枚舉ニ遑アラス而シテ「手形上ノ
權利」トハ手形上ノ債權ヲ指示スルハ疑ナク「手形ヨリ生シタル債務」「手形ヨ
リ生シタル債權」ト共ニ手形ノ債權的關係ヨリ見タル文字ナリ「手形ノ取得
」「手形ノ讓渡」モ果シテ同一ノ意義ヲ有ストスルヤ否ヤ第四百四十一條ノ「手
形ノ取得」「手形ノ返還」ハ固ヨリ債權ノ取得若クハ債權ノ返還ト解スヘカラ
サルハ明ニシテ「手形ノ讓渡」ハ裏書ニ用ユル文字ナリト雖モ第四百四十一
條ハ被裏書人ノ權利ヲ決定スルニ付キ最モ其適用ヲ見ルヘキコトノ爭フ
ヘカラサル以上ハ彼是相對照シテ同シク物權的關係ヲ示スモノトスルハ
事理ノ當然ナリ第四百四十一條ニ曰ク何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失
ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス
ト余ハ此規定ハ一方ニ於テ手形ナル證券ノ物權的關係ヲ定メ他ノ一方ニ
於テ物權的關係ト債權的關係トヲ聯結セシメタルモノト解スルナリ物權

的關係ニ付テハ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得セル者ハ之ヲ返還スルノ義務ナク即チ其取得者ニ對シテハ手形返還ノ請求權ヲ有スル者ヲ認メスト云フ是第四百四十一條ノ法文ヲ讀過シテ直チニ看取スルヲ得ル所ナルト雖モ單ニ此意義ニノミ解シ獨リ物權的關係ヲ定ムルモノトシ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ノ占有ヲ取得シタル者ハ之ニ因リテ手形ノ完全ナル所有者ト爲リ其前者正當ノ所有者ニ非サルモ完全ナル所有權ヲ取得シ又之カ爲メニ從前ノ所有者ノ權利消滅スルニ止マリ惡意又ハ重大ナル過失ナキ取得者債權的關係ニ於テ何ノ得ル所ナシトセハ實ニ一箇ノ紙片ヲ擁スルニ異ナラス是豈ニ法文ノ精神ナラシヤ既ニ從前ノ所有者ハ手形ノ返還ヲ請求スルノ權利ナク之カ占有ヲ回復スルヲ得サレハ自ツカラ亦債權者トシテ手形上ノ債權ヲ行フヲ得ス何トナレハ支拂ハ手形ト交換的ニ非サレハ之ヲ求ムル能ハサレハナリ(第四百八十三條第一項)而シテ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ハ手形ヲ返

還スルノ義務ナク手形ノ完全ナル所有權ヲ取得スルニ止マラス裏書ノ連續タル形式ニ依リ最後ノ被裏書人ナリト表セラルルカ故ニ權利者タルノ資格ヲ備ヘ手形上ノ債權者トシテ其權利ヲ行フヲ得サルヘカラス而カモ權利者トシテハ獨リ此占有者アルノミ此權利者カ支拂ヲ受ケタル場合ニ於テ手形金額ヲ從前ノ所有者ニ引渡スノ義務ナキハ論ヲ俟タス之ヲ要スルニ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ノ占有ヲ取得シタル者ハ手形ノ所有者ニシテ亦手形ノ所有者トシテ手形上ノ債權ヲ取得ス手形ノ所有者タル資格ト手形上ノ債權者タル資格ハ同一人ニ歸スト云フヘキナリ(手形上ノ債權ハ手形ノ所有權ニ伴フ) (Das Recht aus dem Papier folge dem Recht am Papier) ト云ヒ「證券ニ存スル權利ハ證券ヨリ生スル權利ノ標準タリ」(Recht am Papier solle massgebend sein für das Recht aus dem Papier) ト云フハ此意ニ外ナラス

因言以上説明シタル所ハ大ニ民法ノ原則ト背馳スルモノアリ其一ハ惡

意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ハ完全ナル所有權ヲ得ルモノニシテ手形ノ記名式無記名式若クハ指圖式ナルヲ區別スルコトナシ此取得者ニ對シテハ絶對的ニ從前ノ所有者ノ手形返還ノ請求權ヲ杜絶シ從テ民法第九十二條及ヒ第九十三條ノ規定ハ自ツカラ手形ニハ其適用ヲ見サルナリ其二ハ民法ハ常ニ債權的關係ヲ觀察點トシ債權ヲ中心ト認ム民法第八十六條ハ無記名債權ハ之ヲ動産ト看做スト定メ證券カ物權ノ目的タルヲ得テ債權カ之ニ伴フモノナルヲ認メス民法第九十二條ノ規定ハ動産トシテ無記名債權ニ適用スヘキモ其他ノ債權ニ適用スヘカラス而カモ同條ニ動産ノ上ニ行使スル權利ヲ取得スト云フハ所謂證券ヨリ生スル債權ノ取得ト解スルノ外ナシト信スト雖モ債權ヲ基礎トスルノ規定タルハ明ナリ又債權ノ讓渡ニ關スル規定モ終始債權ノ一方面ヨリ觀察シ裏書モ民法ハ指圖債權讓渡ノ對抗力ノ條件トスルニ過キス對抗力ノ條件トハ即チ債權移轉ノ效果ハ當事者間ニ

權利ト權利ト行使ノ可能トノ別

於テハ其合意ト共ニ生スルモノナリトノ意ヲ包含ス手形ノ裏書ハ余ハ全然其性質ヲ異ニスルモノト解ス所謂固有ノ裏書ハ手形所有權移轉ノ行為ニシテ而カモ其裏書ハ權利移轉ノ形式ニシテ單ニ對抗力ノ條件ノミニ非サルナリ(大審院判決錄第八卷四二頁第八)其他民法ハ債權的關係ノミヲ規定シタルノ證ハ特ニ舉示スルノ要ナシ手形法ハ證券ノ物權的關係ヲ基礎トスルカ故ニ民法ノ原則トハ其根本的觀念ヲ異ニスルヲ推知スヘキナリ手形上ノ債權カ手形ノ所有權ニ隨伴シ手形ノ所有者ハ手形上ノ債權者タルハ前述スルカ如シ而シテ更ニ注意スヘキハ手形ニ表スル權利自體ト其權利行使ハ可能トハ嚴然之ヲ區別セサルヘカラサルノ一事ナリ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ノ占有ヲ取得シタル者ハ手形ノ所有者ニシテ亦手形上ノ債權者タルカ故ニ權利者トシテ其權利ヲ行使スルヲ得ルハ論ナキナリ之ニ反シテ惡意又ハ重大ナル過失アル者ハ正當ノ所有者ニ非ス亦正當ノ債權者ニ非ス然レトモ債務者之ニ對シテ證券所載ノ給付ヲ爲シ

タルトキハ其給付ハ法律上有效ニシテ債務者ニ於テ惡意又ハ重大ナル過失ナキ限り免責ノ利益ヲ享受スルヲ得此原則ヲ以テ所有權說反對ノ論據トスヘカラス何トナレハ不正者ニ爲シタル給付カ免責ノ效力ヲ有ストハ實體的ノ意義ニ於テ不正者ヲ權利者トシ之ニ對シテ給付ヲ爲ス義務アリトノ意ニ非スシテ唯債務者ニ於テ之ニ給付ヲ爲スヲ得給付ヲ爲スノ權利アリト云フニ過キサレハナリ一言以テ之ヲ云ヘハ所有者ハ權利者ナリ權利行使ノ可能ナル資格ハ權利ヲ移轉シ執行スルノ權利ノ所屬ヲ指示スルニ非ス此點ニ付テハ後ノ詳說ニ讓ルヘシト雖モ "Berechtigung" ト "Legitimation" トハ斷シテ之ヲ混視スヘカラス手形ニ付テモ亦固ヨリ此原則ヲ應用セサルヘカラサルナリ

手形所有權ノ所屬ハ手形上ノ債權ノ所屬ヲ決定ストハ實質上ノ意義ニ於テ權利ノ所在ヲ指示スルハ文字ナリ而シテ余ノ尙ホ進テ研究セントスルハ債務ノ成立ヲ絶對ニ所有權ノ所屬ニ繫ラシムヘキヤ否ヤハ點ナリ所有

余ハ純然タル所有權ヲ執ラス

權說ヲ奉スル學者ハ概ネ手形ノ物權的關係ノミヲ觀察シ苟モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ノ占有ヲ取得シテ茲ニ其所有權ヲ取得シタル者アルトキハ署名者ハ之ニ對シテ手形上ノ債務ヲ負擔セサルヘカラスト論シ全然債權的關係ヲ度外視スルカ如シ是余ノ疑ハサルヲ得サル所ナリ今其理由ヲ略述センニ手形行爲ハ法律行爲ニシテ債權的關係ノ原因タリ然ルニ債權債務ノ成立ニ關スル民法ノ規定ハ何カ故ニ獨リ手形行爲ニ全然適用セラレサルヤ純然タル所有權論者ハ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得セル者ハ手形上ノ債權者ニシテ振出人裏書人ハ之ニ對シテ當然債務ヲ負擔セサルヘカラス手形ノ流通カ發行者ノ意思ニ基カサルトキト雖モ署名者ハ手形行爲者トシテ其責ニ任セサルヘカラスト云フレーマン曰ク手形ノ所有者ハ權利者ナリ所有者ハ單一ノ行爲ニ基キテ所有權及ヒ債權ヲ取得セサルヘカラサルカ故ニ債權ニ關スル一般ノ原則ハ之ヲ手形ニ適用スルヲ得スト (Theorie der Wertpapiere s. 297) カルリオン曰ク證券ニ

表シタル債務負擔ノ意思ハ第三者カ證券ノ所有權ヲ取得シタル時ニ於テ、法律上其效果ヲ生シ又確的ニ固定ス而シテ所有權取得ノ方法ハ之ヲ顧ミス發行者カ證券ヲ流通セシメタルト否ト其占有ヲ喪失シタルノ任意ナルト否トハ問フ所ニ非スト (Carlin, Zur rechtlichen Natur der Wertpapiere Z. f. H. R. XXXVI s. 17) 所有權ノ取得カ債權ノ取得ニ必要ナルハ余ハ我商法ノ解釋ハ上ニ於テ之ヲ認ム然レトモ債權法ノ規定ノ適用ヲ排斥スルハ余ハ服スル能ハサル所ナリ手形カ事實流通スルモ其流通カ手形行為者ノ意思ニ基カス若クハ手形行為ヲ爲スハ意思欠缺セルトキハ其所謂行為者ハ第一ノ受者ニ對シテモ亦第三者ニ對シテモ債務ヲ負擔スヘキノ理由アルナシ (大

院判決録第十頁) ヤコビカ第一ノ受者ト善意ノ第三者トヲ區別スルハ少クトモ我法ノ解釋トシテハ當タラサルナリ其說ニ曰ク證券第一ノ受者ハ物權法ノ原則ニ從テ所有者ト爲リ債權法ノ原則ニ從テ債權者ト爲リタル場合ニ於テ始メテ所有者タリ完全ナル債權者タルヘシ之ニ反シテ民法第七百

九十四條(獨國民法)ハ善意ノ第三者ヲ保護スル規定ニシテ發行者ニ非ザル者ヨリ證券ヲ取得シタル者讓渡人トシテ信シタルニ於テハ其讓渡人カ事實證券ヲ盜取シ拾得シ若クハ冒認シタルトキト雖モ取得者ハ法律ノ保護ヲ受クヘシ云々ト (Jacobi, Wertpapiere S 33 s. 180 ff.) 凡ソ證券的權利ニ在リテハ證券ノ取得者ハ其文言ニ從テ權利ヲ取得スルヲ得ヘキモノナリト雖モ證券ノ盜失遺失其他發行者ノ意思ニ基カサル原因ニ由リテ流通スルニ至ルモ發行者債務ヲ負擔セサルヘカラストスルハ獨國民法ノ如キ明文ヲ要ス證券ノ取得者カ自己ノ前者ヲ所有者ナリ若クハ債權者ナリト信シタルノ故ヲ以テ發行ノ意思ナク債務負擔ノ意思ナキ者モ之ニ對シテ債務者タラサルヘカラストスルハ恰モ無ヨリ有ヲ生スルニ類スルナキカ余ハ證券ノ物權的關係ノ一方面ノミヲ觀察セス債務負擔ノ意思ヲ以テスル債務者ノ一方的行為ヲ債務成立ノ要件ナリト説明セント欲ス一方的行為トハ債務者カ債務ヲ負擔スルハ意思ヲ以テ手形ヲ交付スルノ謂ナリ苟

モ其意思ヲ以テ手形ヲ交付シタルトキハ債務者ノ一方ニ於テハ債務成立ノ要件ハ既ニ備ハレリト云フヘキナリ然レトモ債務ノ成立ニハ人ノ複數ヲ必要トスルカ故ニ債權者タルヘキ者ノ對立ヲ待テ始メテ法律關係ノ設定ヲ説クヲ得債權者ノ發生トハ所有權ノ取得ヲ云フ他人辭ヲ以テ言ヘハ手形上ノ法律關係ハ手形ナル證券カ善意ノ取得者ニ歸シタル時ニ於テ完成スルナリ然レトモ債務者ハ債務負擔ノ意思ヲ以テ既ニ其爲スヘキ所ヲ盡シタリ債務負擔ノ意思ハ確定ノ之ヲ發表シタリ其行爲ノ時ニ於テ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ有シタリ故ニ此時ヲ標準トシテ債務成立ノ條件ノ具備セルヤ否ヤヲ決スヘキナリ能力ノ有無代理權ノ存否即チ然リ所有權取得ノ時ヲ標準トスルニ非サルナリ試ニ其法律上ノ結果ヲ舉クレハ

一 債務ハ署名ニ因リテ成立スルニ非ス手形カ署名者ノ手裡ニ存スルトキハ自由ニ之ヲ撤回シ又ハ廢棄スルヲ得ヘシ

二 債務ノ成立ハ形式的ノ資格ヲ備フル者ニ於テ所有權ヲ取得シタル當

時ニ在リ署名者ハ其前未タ債務ヲ負擔セスト雖モ既ニ手形ヲ交付シタルトキハ所有權取得者ニ對シテハ絶對的ニ債務ヲ負擔セサルヘカラス

三 手形ノ流通債務者ノ意思ニ基カサルトキハ署名者債務ヲ負擔セス故ニ戲ニ署名シ講義ノ材料トシテ手形ヲ作成シタルカ如キ場合ニ於テハ善意ノ取得者モ亦署名者ニ對シテ債權者タル能ハス

四 手形ニ非スト誤信シテ手形ニ署名シタルトキハ手形上ノ債務負擔ノ意思ノ欠缺セルモノニシテ即チ署名者ハ債務ヲ負擔セサルナリ然レトモ錯誤ニ付テハ特ニ注意セサルヘカラサルモノアリ手形ニ署名シタル者ハ所載ノ事項其眞意ト符合セサルモ之ヲ以テ善意ノ取得者ニ對抗スルヲ得サルハ既ニ説明シタル所ニシテ余ハ第四百三十五條ノ明文ヲ以テ證據トス故ニ均シク重大ナル錯誤モ署名自體ニ關スル意思ノ有無ト記載文言ノ意思ニ合フト否トハ自ツカラ之ヲ區別スヘキナリ

五 一派ノ學者ハ債務負擔ノ意思ノ欠缺ハ手形ノ文言ニ信賴スル善意ノ

取得者ニ對スル抗辯ノ事由ト爲ラストシ而シテ全ク意思ナキ者ノ行爲ヲ無効トシ無能力者ノ行爲ハ之ヲ取消シ得ヘキモノト論スルハ余ハ之ヲ根本ノ觀念ニ於テ抵觸セルモノト認ム債務ノ成立ニ債務負擔ノ意思ヲ必要ナリトセハ此抵觸ナキナリ

引受人ノ債務ノ成立

以上ハ振出人及ヒ裏書人ノ債務成立ノ法律上ノ根據ヲ説明シタリ而シテ債務者ノ一方的行爲及ヒ所有權ノ取得ノ併存ヲ必要トスルノ理論ハ引受人ノ債務成立ニ應用スルヲ得ス引受ヲ以テ振出人及ヒ引受人間ノ契約トシ若クハ呈示者及ヒ引受人間ノ契約ト解スル能ハサルハ既ニ述ヘタリ契約説派ニ屬スル一派ノ學者(引受ニ付テ)若クハ廣ク一方行爲説ヲ唱フル幾多ノ學者ノ論スルカ如ク署名ノミヲ以テ引受人ノ債務成立ノ唯一ノ要件トスヘカラス又獨國手形法第二十一條ノ規定ヲ論據トセル署名説ハ執リテ以テ我商法ノ解釋ニ資スヘカラサルナリ手形ハ既ニ他人ノ所有ニ歸セルトキハ更ニ所有權ノ取得ヲ以テ債權取得ノ條件トスルノ理ナキ當然ナ

リ引受人ニ於テ手形ヲ交付スルハ必要ナルハ振出人裏書人ノ行爲ト異ナル所ナク手形ノ取得者カ既ニ真正ノ所有者ナル場合ニ於テハ手形ノ交付アリタル時ニ於テ債務成立スルナリ而シテ手形轉讓ノ間ニ於テ其取得者カ引受人ニ對シテ權利者ト爲ルハ振出人及ヒ裏書人ニ對スルト同シク所有權ノ取得ヲ以テ標準トスヘキナリ

第六章 非手形關係

手形ノ交通ニ牽連シテ生スル法律關係ニシテ固有ノ手形關係ト稱スヘカラサルモノアルハ既ニ述ヘタリ而シテ手形上ノ法律關係ニ非サルモノ余之ヲ非手形關係ト總稱ス

非手形關係ハ大別シテ二トス其一ハ手形法ニ規定スルモノニシテ不當利得ノ償還請求權第四百四十四條爲替手形ノ所持人カ其複本ヲ請求スル權利(第五百十八條)ノ如キ是ナリ他ノ一ハ手形行爲ト密接ノ關係ヲ有スルモ手形法ニ規定ナキモノニシテ手形豫約原因關係資金關係ト稱スルモノ即チ其例ナリ手形ノ授受カ既存ノ法律關係ニ如何ナル影響ヲ及ホスカノ問題モ亦手形上ノ法律關係ニ非サルナリ其他能力代理時効混同債權消滅ノ原因等ニ關スル原則ニ至リテハ概ネ手形法ニ定ムル所ナシ是等ハ皆民法及ヒ他ノ商法一般ノ規定ニ依ラサルヘカラス又手形行爲ノ直接ノ當事者

非手形關係ノ二種

間ニ於テ手形行爲ヲ爲スニ當タリ特約ヲ爲シタルトキハ口頭ヲ以テスルト書面ヲ以テスルトヲ問ハス其效力ヲ有スルハ明ナリ唯其事項ノ手形法ニ規定ナキモノハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效果ヲ生セサルナリ

第一節 手形豫約

手形豫約(Dactum de cambiando; Wechselfchluss= vorvertrag) ハ手形上ノ法律關係ノ設定ヲ目的トスル契約ナリ手形上ノ法律關係ノ設定ハ手形行爲ヲ以テ唯一ノ基礎トシ手形行爲ナクハ手形上ノ法律關係ヲ發生セシムルヲ得ス其之カ設定ヲ目的トスル契約カ手形上ノ法律關係ノ原因タラサルハ理ノ當然ナリ手形豫約ノ履行ハ手形行爲ニシテ手形行爲アリタルトキハ豫約ハ其目的ヲ達シタルモノニシテ自ツカラ消滅ス

凡ソ手形行爲ヲ爲スニ當タリテハ當事者豫メ其行爲ノ内容ニ關スル事項ヲ約定スヘキナリ例セハ手形ノ振出ニ關シテハ何人ヲ支拂人トスヘキカ之ヲシテ先ツ引受ヲ爲サシムヘキカ其發行ノ形式ニ於テ無記名式トスヘ

手形豫約ヲ以テ定ムヘキ事項

キカ將指圖式トスヘキカ支拂人ノ住所地ニ非サル地ヲ以テ特ニ支拂地ト定ムヘキカ手形金額満期日豫備支拂人保證人ハ如何振出人ノ受クヘキ對價複本ノ數如何等ハ振出人受取人間ニ於テ約スヘキ事項ナリ又其契約ハ或ハ手形ノ授受ヲ以テ直接ノ目的トスルアリ或ハ他ノ主タル法律關係ノ結果例セハ賣買消費貸借委任組合貸借等ノ關係存スル場合ニ於テ債務者手形ヲ以テ債權者ニ支拂ヲ爲サントスルニ當タリ支拂ニ代ヘ若クハ支拂ノ爲メニスルコトアリトシテ之ヲ爲スアリ總ヘテ是等ノ場合ニ於テ其契約ノ成立效果ニ至リテハ手形法中何等ノ規定ナク皆民法及ヒ商法一般ノ原則ニ從ハサルヘカラス又手形ノ裏書ヲ爲サントスルニ當タリテモ裏書人及ヒ被裏書人間ニ於テ其授受ニ關シ記名式トスヘキカ將無記名式トスヘキカ拒絕證書ノ作成ヲ免除スルカ無擔保ノ裏書ヲ爲スカ等ノ諸點ハ皆當事者ノ豫約ニ因リテ定マルモノトス又爲替手形ノ引受ニ付テモ支拂人引受ヲ爲スニ先チテ所持人ト契約スルコトナキニ非ス唯稀ナルノミ

形豫約ハ手形行爲ヲ爲スヲ目的トスル契約ナルヲ以テ其履行トシテ手形行爲アリタルトキハ將來ニ於テ存スルハ獨リ手形上ノ法律關係ノミ

第二節 原因關係

手形上ノ債權債務ノ不要因的ナルハ既ニ說明シタリ凡ソ手形行爲ヲ爲スニハ必ス其之ヲ爲スノ理由ナカルヘカラス何カ故ニ手形行爲ヲ爲スカヲ説明スルモノ即チ手形行爲ノ原因ニシテ其原因ニ關スル法律關係ヲ原因關係ト稱ス獨國學者對價關係(Valdenverhältnis)ト云フハ手形上ノ債權者ノ債務者ニ與ヘ又ハ與フヘキ反對給付ノ客觀的名稱ナリ

原因關係ノ形狀一ナラス手形行爲者ニ於テ其相手方ニ信用ヲ與ヘントスルアリ贈與ヲ爲サントスルアリ既存ノ法律關係ノ效力ヲ一層鞏固ナラシメントスルアリ振出人カ受取人ヲシテ其支拂人ニ對シテ有スル債權ノ取立ヲ爲サシメントスルアリ或ハ受取人ヲシテ手形ヲ賣却セシメントスルアリ受取人カ振出人ノ爲メニ保證ヲ爲サントスルアリ手形行爲ノ基礎タ

原因關係ノ
形狀

ル、當事者間ノ實質的關係ハ斯ノ如ク千態萬狀ニシテ之ヲ列舉シ難シト雖モ何カ故ニ手形行爲ヲ爲シタルカノ理由ヲ説明スルニ於テハ一ナリ而シテ其理由ノ如何ハ當事者間ニ於テ法律上ノ效果ヲ有スルハ言フ俟タスト雖モ所謂間接ノ當事者間ニ於テハ原因ノ欠缺不法ハ間フ所ニ非ス亦之ヲ以テ抗辯ノ事由ト爲スヲ得ス直接ノ當事者間ニ於テモ手形上ノ法律關係ハ原因ノ如何ニ拘ハラヌ成立ス唯債務者抗辯ノ材料タルノミ手形上ノ債權債務ノ不要因のナリトハ即チ之ヲ云フナリ

原因關係ハ振出人受取人間ニ於テ之ヲ論スルヲ通例トス然レトモ裏書引受其他ノ手形行爲ニ付テモ同一ノ理論ヲ應用スルヲ得ヘク又應用セサルヘカラサルナリ

昔時手形行爲ヲ契約トシ契約ノ理ヲ以テ説明シタルニ當タリテハ原因ハ固ヨリ其要素タラサルヘカラス現行ノ外國法中尙ホ原因關係ヲ表示スル文字ヲ手形ニ記載スヘキヲ規定スルモノアリ又之ヲ要件トセサル諸國ニ

原因文句
對假文句

於テモ之ヲ記載スルヲ以テ一般ノ慣例トス佛、西、蘭等ノ法律ハ原因文句ヲ記載セサル手形ヲ無効トシ獨、瑞、白、葡等ノ諸法ハ原因關係ニ付キ何等規定スル所ナク我商法亦然リ伊、英等ハ原因文句ノ記載ヲ必要トセサルヲ明定ス斯ノ如ク法制區區ナリト雖モ今日ニ於テ原因關係ヲ表スル文字カ當事者間ニ存スル實質上ノ關係ノ真相ヲ示ササルハ學者ノ汎ク認ムル所ナリ

第三節 資金關係

資金關係(Deckungsverhältnis)トハ爲替手形及ヒ小切手ニ於テ支拂人又ハ引受人ト振出人又ハ手形發行ノ委託者トハ間ニ於ケル法律關係ヲ云フ振出人ハ他人ヲシテ其發行スル手形ノ支拂ヲ爲サシム故ニ之ヲ爲サシムルノ理由ナクシテ在ラス其理由ヲ説明スル關係ヲ稱シテ資金關係ト云ヒ資金ヲ供スルノ義務ヲ負擔スル者ヲ資金義務者ト云フ資金義務者ハ振出人ナルヲ通例トスト雖モ他人ノ委託ニ依リテ手形ヲ振出シタルトキハ其委託者ハ即チ資金義務者ナリ

一、資金關係ノ體樣一ナラス何ヲ以テ資金(Deckung Provision)トスルカハ當事者間ノ實質的關係ニ依リテ異ナレリ振出人手形ノ滿期日到來前ニ支拂人ニ支拂ノ材料ヲ送致スルコトアリ其材料金錢ナルトキハ之ヲ狹義ノ資金ト稱スルヲ得ヘシ然レトモ特ニ材料ヲ送致スルハ稀ニシテ振出人ノ支拂人ニ對シテ有スル債權ヲ以テ資金ニ充ツルコトアリ信用契約ヲ締結シテ根抵當ヲ設定シ若クハ設定セスシテ一定ノ金額ヲ限度トシテ支拂人支拂ヲ爲スコトアリ或ハ資金ニ付キ何等約スル所ナク支拂ヲ爲スコトアリ是等ノ場合ニ於テハ支拂人ハ支拂ヲ爲シタル後振出人ニ對シテ補償ヲ請求ス此補償關係(Revalorungsverhältnis)モ亦資金關係ト稱スヘキハ學者ノ定説ニシテ余モ亦之ヲ是ナリトス

二、資金關係ハ手形上ノ關係ニ非サルナリ昔時手形カ交換ノ觀念ヲ脱却セサル時代ニ在リテハ支拂人ハ資金ヲ受領シテ支拂ノ義務ヲ負擔ストシ自ツカラ資金關係ハ手形上ノ關係タリシナリ然レトモ手形上ノ債務

ハ獨リ手形行爲ニ因リテ生シ手形行爲ヲ以テ手形上ノ債務ノ唯一ノ基礎トシ手形行爲ノ絶對的效力證券的效力ヲ認ムル近世ノ理論ニ於テハ支拂人ハ資金ヲ受領シタルノ故ヲ以テ手形上ノ債務ヲ負擔スルノ理ナク(大審院判決錄第八頁)又振出人ハ支拂人ニ對シテ債權ヲ有スルノ事實ニ依リ其一方的ノ意思表示ヲ以テ支拂人ヲシテ當然手形上ノ債務者タラシムル能ハス資金關係ハ手形行爲ニ何等法律上ノ效果ヲ及ボササルナリ振出人既ニ其資金義務ヲ履行シタル場合ニ於テモ引受又ハ支拂拒絕ノ場合ニ於テハ擔保請求又ハ償還請求ニ應セサルヘカラス資金義務ノ履行ヲ以テ其請求ヲ排斥スルヲ得ス所持人此請求ヲ爲スニ常タリテ固ヨリ振出人ノ資金義務不履行ヲ證明スルノ責任ナク資金ヲ供シタルト否トハ所持人ノ振出人ニ對スル手形上ノ權利ニ何等ノ影響ヲ及ボサス故ニ又所持人其償還請求權保全ノ行爲ヲ爲ササルトキハ振出人ニ對スル權利ヲ失フニ至リ振出人ノ資金義務ヲ履行シタルト否トヲ問ハサル

ナリ佛法ニ於テハ振出人未タ資金ヲ供セサルトキハ所持人ニ對スル手形上ノ責任ヲ免ルルヲ得ストスルモ我商法ハ之ヲ認メス所持人ハ此場合ニ於テ手形法ノ規定スル所ニ依リ不當利得ノ償還ヲ請求スルヲ得ヘシト雖モ手形上ノ債權ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅セサルヲ得ス更ニ支拂人ノ義務ト資金トノ關係ヲ觀察スレハ支拂人引受ヲ爲シタルトキハ此手形行爲ニ因リテ絶對的支拂ノ義務ヲ負擔シ資金ヲ受領セサルヲ理由トシテ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス又既ニ資金ヲ受領シ其他資金義務者トノ間ニ於テ資金關係確定スルモ未タ引受ヲ爲ササレハ手形上ノ債務ヲ負擔スルコトナキナリ(大審院判決錄第八輯第九卷一八頁、第九輯一四八六頁)委託手形(Kommissionsbrakte, lettre de change tirée pour le compte d'autrui)ニ在リテハ委託者(Kommittent, donneur d'ordre)タル第三者ハ資金義務者ナリト雖モ自ラ手形行爲ヲ爲ササルヲ以テ手形上ノ法律關係ニ立ツコトナシ之ニ反シテ振出人ハ受託者トシテ委託者ノ爲メニ手形ヲ發行シタルモ手形行爲者タリ故ニ恰モ

自己ノ爲メニ手形ヲ發行シタルト同シク振出人トシテ手形上ノ債務ヲ負擔セサルヘカラス手形上ノ債權者ニ對シテハ他人ノ計算ノ爲メニ手形ヲ發行シタルヲ理由トシテ債務ヲ拒否スルヲ得サルナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ所謂資金關係ハ支拂人若クハ引受人ト資金義務者トノ間ニ於ケル實質的關係タルヲ推知スヘキナリ引受人ハ振出人ニ對シテモ手形上ノ債務者ナリ唯振出人カ其後者ニ償還ヲ爲シタル後手形上ノ請求ヲ爲ストキハ引受人ハ資金關係ヲ以テ抗辯ノ事由トスルヲ得ルナリ

三 資金關係自體モ手形上ノ法律關係ニ非ス委託手形ニ於テ資金關係カ手形上ノ法律關係ナラサルハ委託者カ手形行爲ヲ爲ササルニ視テ明瞭ナリ然レトモ支拂人ノ振出人ニ對スル關係ニ至リテハ少シク説明ヲ加ヘサルヘカラス獨國手形法ハ其第二十三條第三項ニ於テ振出人ハ支拂人ニ對シテ手形上ノ債務ヲ負擔セサルヲ明定ス我舊商法ハ反對ノ原則ヲ採リ第八百七條ニ於テ支拂人ハ資金義務者ニ對シテ爲替ノ原則ニ從

資金關係ハ
手形上ノ法
律關係ニ非
ス

ヒ資金ヲ請求スルコトヲ得トシタリ現行商法ハ此點ニ付キ何等ノ規定ヲ設ケスト雖モ支拂人ハ振出人ニ對スル手形上ノ債務者ニ非サルハ前述スル所ニ依リテ疑ヲ容レヌ唯其手形上ノ法律關係トセサルノ理由ニ至リテハ獨國學者其說ヲ異ニセリ左ニ其梗概ヲ示サント欲ス

い、手形上ノ法律關係ハ支拂ニ因リテ消滅スルヲ以テ支拂人カ支拂ヲ爲シタル後ニ行フ權利ハ手形上ノ權利ニ非スト論スルハ純然タル循環推理ナリ蓋シ手形上ノ法律關係カ支拂ニ因リテ全然消滅ニ歸スルヤ否ヤカ論題タレハナリ

ろ、支拂人ハ即時ニ補償ヲ請求スルヲ得サルカ故ニ其權利ハ手形上ノ權利ニ非スト云々ハ意義ノ存スル所ヲ解シ難シト雖モ若シ直チニ實行スルヲ得サルニ在リトセハ滿期日ノ到來前ニ於テ引受人ニ對シテ存スル債權モ償還請求權モ皆手形上ノ權利タルノ性質ヲ有セスト論セサルヘカラス

は、レーマンハ實際上ノ便宜ニ基クモノトシ曰ク支拂人カ爲替訴訟ニ依リテ資金ヲ請求スルヲ得ヘシトセハ振出人ハ其請求ニ對スル抗辯ヲ有スルモ爲替訴訟ノ認ムル證據方法ヲ提出スルヲ得サルコト往往ニシテ之アルヘタ從テ權利ノ行使ヲ留保シタル判決ニ基キ一タヒ資金ヲ供シ更ニ普通ノ訴訟ニ依リ其金額ヲ取戻ササルヘカラサルニ至リ爲替訴訟ハ却テ手續ノ錯雜遲延ヲ來スノ奇果ヲ生スヘシト證書訴訟ニ於テハ防禦ノ方法モ亦證書ヲ以テセサルヘカラス書證ナクンハレーマンノ說ク所ノ如ケン(民事訴訟法第四百八十七條第四百九十條乃至第四百九十二條)然レトモ訴訟ノ錯雜遲延ハ余ヲ以テ見レハ理由ノ一端ニ過キサルナリ

に、振出人ノ支拂人ニ對スル約束ハ所謂定額約束ニ非ス故ニ手形上ノ法律關係トスヘカラスト論スル者アリ

余ハ支拂人振出人間ニ於ケル法律關係ノ性質ヲ論據トスルヲ正當ナリ

ト信ス其性質ハ次ニ説明スヘシト雖モ資金關係ハ常ニ二人間ノ實質上ノ關係如何ニ依リテ定マルモノニシテ一定ノ形體ヲ備フルナシ而シテ支拂人補償ヲ請求スルニ當タリテハ手形ヲ以テ單一ノ證據トスルヲ得ス其請求スル所亦一定ノ金額ノ支拂ヲ目的トスルニ非ス是即チ證書訴訟ノ一種タル爲替訴訟ニ依ルノ基礎ヲ缺クモノナリ(民事訴訟法第四百八十一條第四百九十一條)殊ニ我商法ハ手形上ノ法律關係ヲ生スルモノハ必ス手形法ニ規定シタル事項ナラサルヘカラサルヲ定メ(第四百三十九條)資金關係ニ付テハ何等ノ明文ヲ掲ケス手形上ノ效力ヲ有セサルハ疑ナキナリ

四 支拂人ト振出人トノ間ニ於ケル法律關係ハ本體ニ付テハ亦學說區區タリ今其主要ナルモノヲ舉クレハ先ツレーマンハ曰ク爲替手形ハ振出人ノ支拂約束ノ外振出人ノ支拂人ニ對スル支拂ノ委託ヲ包含ス其二人間ニ於ケル關係ハ委任關係ナリ……爲替手形ハ當ニ其形式ニ於テノミ

支拂人振出
人間ノ法律
關係ノ本體

ナラス其内容ニ於テモ支拂人ニ對スル委託ニシテ手形ノ所持人ハ之ヲ支拂人ニ傳達ストテゴール、ルノークレーヴェル、ホッフマン、キニーネ等皆其說ヲ同ウス而シテ極端ノ反對說ヲ持スルヲベルンスタイントス曰ク引受人ノ支拂ヲ爲スハ自己ノ約束ノ履行ニシテ他人ノ委託ノ履行ニ非ス振出人ノ支拂ノ委託ハ外觀上ノ理由ニ止マリ支拂ノ法律原因ニ非サルナリトデルンブルグ、ヅエヒテル、コーザック、グント、ブラッハマン等ノ所論亦然リグリンフートハ折衷說ヲ述ヘテ曰ク振出人カ事實ニ於テ委任關係ノ存セサルヲ證明スルマテハ眞實ノ委任關係存スルモノト看做ササルヘカラスト余ノ信スル所ヲ以テスレハ振出人支拂人間ノ法律關係ハ實質上ノ關係如何ニ依ルモノニシテ我商法ハ支拂ノ委託ヲ以テ爲替手形發行ノ形式上ノ要件トスルモ其委託ハ手形ノ外觀ニ於テ支拂ヲ支拂人ニ要求スルニ過キス其實質ハ固ヨリ一定ノ性質ヲ有スルナク一概ニ之ヲ民法ノ委任若クハ委託ト同視スヘカラス實際ニ就テ之ヲ見ルモ當事者間

ノ關係委託ニ基因スルハ寧ロ稀ナリ支拂人ハ振出人ニ對シテ債務ヲ負擔スルカ故ニ其發行シタル手形ノ支拂ヲ爲スコトアリ又支拂ノ委託ハ事實ニ於テ手形ノ發行ニ先ツコトアリ或ハ後ルルコトアリ殊ニ振出人カ自己ヲ受取人トシテ手形ヲ發行シ支拂人ヲ引受ヲ爲サシメ而シテ未タ裏書ヲ爲ササル場合ニ在リテハ固ヨリ委任關係ノ存在ヲ認ムヘカラス此資金關係ノ法律上ノ性質ハ支拂人ノ振出人ニ對スル補償請求權ノ證明問題ト密接ノ關係ヲ有ス委任說ヲ主張スル者ハ曰ク支拂人ハ振出人ノ委託ニ應シテ支拂ヲ爲シタルモノナルカ故ニ所持人ヲシテ受取ノ旨ヲ記載セシメタル手形ヲ呈示シ若クハ之ヲ呈示セサルモ己ニ對シテ手形ノ發行セラレタルコト及ヒ其支拂ヲ爲シタルコトヲ證明シタルトキハ支拂人ハ既ニ其權利ノ由テ生スル所以ヲ證明セルモノニシテ振出人ニ於テ其請求ヲ斥ケント欲セハ自ラ資金義務ヲ履行シタルノ事實ヲ證明セサルヘカラス故ニ支拂人ハ委託ノ取消ヲ無視シテ支拂ヲ爲

シタリ裏書連續ノ形式的資格ヲ缺ケル者ニ支拂ヲ爲シタリ若クハ手形ノ呈示者カ正當ノ所持人ニ非サルヲ知リテ支拂ヲ爲シタリ等ノ事實ハ皆支拂人ノ補償請求權ヲ否認セントスル振出人ニ於テ證明ノ責任ヲ負擔スト大審院亦此說ニ從フ(大審院判決第八頁)然レトモ前述セル如ク資金關係ハ一定ノ形態ヲ有セス委任ナルコトアリ保證ナルコトアリ當ニ當事者間ニ存スル實質上ノ關係如何ニ依リテ定マルモノナルカ故ニ支拂人カ振出人ニ對シテ補償ヲ請求セントセハ實質的ニ其權利ノ基ク所ヲ證明スヘキハ當然ノ理ナリ詳言スレハ手形ノ發行及ヒ其支拂ノ事實ヲ證明セルノミニテハ足ラス尙ホ實質上ノ關係ニ於テ振出人補償ヲ供スルノ義務アル所以ヲ證明セサルヘカラス佛法ニ於テハ引受ハ資金ヲ推定ス(L'acceptation suppose la provision)ト規定シ其解釋ニ付テハ學者大ニ其說ヲ異ニスト雖モ元來支拂人ノ引受ヲ爲スハ之ヲ爲スノ理由アリテ然ルモノニシテ即チ振出人トノ關係ニ於テ資金ヲ受領シタリト推定ス

ト解スルヲ定説ト稱スヘキカ如シ而シテ其論理上ノ結果ハ引受人カ支拂ヲ爲シタル後振出人ニ對シテ補償ヲ請求スルニ當タリテハ資金ヲ受領セサルノ事實ヲ證明シ以テ此推定ヲ覆ササルヘカラサルナリ此解釋ハ獨國學者ノ振出人支拂人間ノ關係ヲ委任ナリト説明スルト略ホ相同シ

五 資金關係ニ付キ終ニ説明スヘキハ所持人ハ資金ハ上ニ有スル權利ナリ、佛國學者ハ所持人ハ資金ノ所有者ナリ (Le porteur est propriétaire de la provision) 手形ノ取得者ハ其取得ト共ニ支拂人ノ手ニ存スル資金上ニ一種ノ權利ヲ取得シ手形ノ移轉ハ資金ノ移轉タル效力ヲ生スト説明スルヲ常トス而シテ其一種ノ權利ハ之ヲ所有權 (Droit de propriété) ト稱スルモ普通ノ所有權トハ全ク其意義ヲ異ニシ唯所持人ハ資金ヨリ優先ノ辨濟ヲ受クルノ獨占權ヲ有ス (Droit exclusif sur la provision) ト解ス其實際上ノ結果ヲ言ヘハ振出人カ支拂人ニ資金ヲ供シタル後破産ノ宣告ヲ受ケタルト

所持人ノ資金上ニ有スル權利

キハ其資金ハ破産財産ノ構成部分トシテ一般ノ債權者ニ分配セスシテ所持人優先權ヲ行フヲ得ルナリ其他各國ノ法律ヲ參照スルニ獨、匈、伊、羅、葡等皆資金ニ關スル規定ヲ設ケス又資金移轉ノ原則ヲ認メス蘭モ亦所持人ニ資金上ノ權利ヲ與ヘス白ハ獨占權ヲ認メ稍詳ニ規定スル所アリ英國手形法第五十三條ハ「支拂人カ支拂ノ爲メニスル資金ヲ有スルトキハ所持人カ手形ヲ支拂人ニ呈示シタル時ヨリ手形ハ之ニ記載シタル金額ニ付キ所持人ノ利益ノ爲メニ資金ノ讓渡タルノ效力ヲ有スト定ム然レトモ是唯蘇國ニ於テ行ハルルノミ千八百七十五年ノ埃及商法モ亦佛法ノ原則ヲ採用ス

振出人ハ手形發行ノ當時支拂人ニ對シテ債權ヲ有セサルヘカラストシ若クハ支拂人ニ對スル債權ヲ移轉ストスルカ如キ明文アルニ非ス資金ハ必スシモ手形發行ノ當時ニ於テ存セス又振出人支拂人間ニ信用契約ヲ締結セサル場合ニ於テモ手形ヲ發行スルヲ得ヘク現實ノ資金ナキト

キハ自ツカラ亦資金讓渡ナル觀念アルノ理ナシ振出人既ニ資金ヲ供シタル後ト雖モ支拂人未タ引受ヲ爲ササルトキハ其用途ヲ變シ又ハ之ヲ回收スルノ權利ヲ有シ又特別ニ資金ニ關スル權利ヲ移轉スルヲ得ルナリ佛國學者ハ辯シテ曰ク資金ノ讓渡トハ必スシモ現存スル權利ニ付テノミ之ヲ云フニ非ス將來發生スルニ至ルヘキ權利ニモ適用スヘキ原則ナリト此附會ノ說ニ對シテハ敢テ反駁ヲ要セス資金讓渡ノ原則ニ付テ佛國學者ノ論スル所ヲ見ルニ所持人ヲシテ資金上ニ權利ヲ有セシムルハ手形ノ信用ヲ増進シ其流通ヲ圓滿ナラシムルノ利アリ且支拂人ト取引上ノ關係ナクシテ手形ヲ濫發スルヲ防止スルニ於テ大ナル效果アリト然レトモ元來手形ノ信用力ハ手形自體ニ存セサルヘカラサルモノニシテ而カモ振出人カ自由ニ處分スルヲ得ヘキ資金ハ所持人ニ於テハ擔保トシテ信賴スルノ價值ナク且同一ノ資金ニ對シテ幾多手形ノ發行アリタルトキハ決シテ手形ノ支拂確實ナルノ效果アリト云フヘカラサル

ナリ之ヲ手形交通ノ實際ニ徴スルニ手形ノ取得者ハ資金ノ有無ヨリモ寧ロ擔保義務者ノ果シテ信用スルニ足ルヤ否ヤニ著眼ス受取人ハ振出人ノ信用如何ヲ顧ミ被裏書人ハ其直接ノ前者ノ信用如何ヲ問フヲ常トス將來ニ於テ振出人ハ果シテ資金ヲ供スルヤ否ヤヲ測定シテ手形ヲ取得スルニ非ス況ヤ一タヒ供シタル資金ト雖モ振出人ノ之カ處分ニ關スル命令アルニ於テハ支拂人ハ之ニ服セサルヘカラサルニ於テオヤ而シテ支拂人資金ヲ受領セスシテ引受支拂ヲ爲スハ稀ナラス既ニ資金ヲ受領シテ却テ之ヲ拒絕スル往往ニシテ之アリ其拒絕ノ場合ニ於テ所持人ハ支拂人ヲシテ引受ヲ爲サシムルノ強制手段ヲ行ヒ若クハ資金ノ上ニ物權的又ハ債權的權利ヲ行使スル能ハサルナリ加之支拂人ノ手ニ存スル資金カ所持人ノ獨占ニ屬ストノ論ハ振出人資金義務ヲ履行シタル後ニ於テ尙ホ擔保請求及ヒ償還請求ニ應セサルヘカラサルノ理ヲ否認スルヲ適當トスルカ如シ

第四節 手形授受ノ既存ノ法律關係ニ及ホス 效力

手形ノ授受ニ當タリテ當事者間其授受ノ基礎タル特定ノ法律關係ナク手形上ノ法律關係ノ設定ヲ直接ノ目的トスルトキハ唯手形ノ普通ノ活動ヲ論スルヲ以テ足ル然レトモ既ニ債權債務ノ關係當事者間ニ存スル場合ニ於テ手形ヲ授受シタルトキハ其授受カ既存ノ債權債務ニ如何ナル影響ヲ及ホスヘキヤヲ攻究スルノ要アリ我民法第五百十三條第二項ハ債務ノ履行ニ代ヘテ爲替手形ヲ發行シタルトキハ既存ノ債權債務ハ更改ニ因リテ消滅スヘキコトヲ定ム此規定ノ趣意及ヒ解釋ニ付テハ大ニ疑フヘキモノアリ各種ノ手形ニ共通ノ原則ナルヤ爲替手形ニ關スル規定トシテ獨リ其發行ノ場合ニノミ適用スヘキヤ債務者カ他人ノ發行シタル手形ヲ債權者ニ裏書シ債務者カ約束手形ノ所持人トシテ之ヲ債權者ニ裏書シ若クハ債務者カ小切手ヲ發行シテ之ヲ債權者ニ交付シタルカ如キ場合ニ於テ同一

民法第五百十三條第二項ノ趣意

ノ理ニ從フヘキヤ否ヤハ解釋上ノ疑問タラサルヲ得ヌ又手形行爲カ既存ノ法律關係ヲ消滅セシムルノ效力ヲ有スルトキハ總ヘテ之ヲ更改ナリト論スヘキヤ否ヤルソ債務者カ手形ヲ交付スルニ當タリテ當事者ノ意思ハ必スシモ同シカラス果シテ民法ハ悉ク更改ヲ以テ律セントスルノ趣意ナルヤ

手形ノ授受ハ當然ノ消滅力ヲ有セ

手形ノ授受カ既存ノ法律關係ヲ消滅セシムルノ效力ヲ有スルトキハ將來ニ於テ當事者間ニ存スルモノハ獨リ手形上ノ法律關係アルノミ之ニ反シテ消滅力ナキトキハ二箇ノ法律關係ハ併存スルナリ曩時當然ノ消滅力ヲ主張シタル學者ナキニ非サリシト雖モ當事者カ既存ノ法律關係ヲ消滅セシムルノ意思ヲ有セサルニ拘ハラヌ更改トスルモ代物辨濟トスルモ將相殺トスルモ當然ノ消滅力ハ當ニ理論ニ悖ルノミナラス質權、抵當權、保證違約金等既存ノ債權ニ附屬スル利益ヲ失フハ債權者ノ手形授受ニ付キ期スル所ニ非ス故ニ近世ノ學者ハ皆當事者ノ意思ヲ重シ既存ノ法律關係ヲ消

總論 非手形關係 手形授受ノ既存ノ法律關係ニ及ホス效力

手形ノ授受
ハ更改ナル
コトアリ代
物辨濟ナル
コトアリ

滅セシムルニハ其明示又ハ默示ノ意思表示アルヲ必要トセリ

一 既存ノ法律關係カ手形ノ授受ニ因リテ消滅スルノ理ニ代物辨濟ナルヤ將更改ナルヤニ付テハ學說其揆ヲ一ニセス我民法ハ爲替手形發行ノ場合ヲ更改ノ下ニ規定シ債務者カ債務ノ履行ニ代ヘテ爲替手形ヲ發行シ之ヲ債權者ニ交付シタルトキハ既存ノ債務ハ更改ニ因リテ消滅スヘキモノナルハ民法ノ解釋トシテ疑ヲ容ルヘカラサルカ如シ然レトモ之ヲ嚴格ナル爲替手形發行ノ場合ニ限定セントスルハ寧ロ民法ノ精神ニ適セサル偏狹ノ解釋ナリ

余ハ手形行爲カ既存ノ法律關係ヲ消滅セシムルハ必スシモ更改ニ依ルニ非ス代物辨濟タルコトアルヲ信ス代物辨濟ハ物的行爲ナルヲ原則トスルモ必スシモ有體物ノ授受ヲ以テ成ルニ非ス債務者カ債權者ニ對シテ新ニ債務ヲ負擔シ又ハ第三者カ債務ヲ負擔スルモ亦代物辨濟ノ性質ニ悖ルコトナキナリ苟モ當事者間ニ於テ既存ノ債務ノ履行辨濟トスル

消滅力ハ爲
替手形發行
ノ場合ニ限
ラス

ノ契約アラハ其外形ニ於テ既存ノ債務ニ代フルニ新ナル債務ヲ以テスルモ亦代物辨濟ナリ我民法第四百八十二條モ亦斯ノ如ク解釋セサルヘカラス然ラハ何ヲ以テ更改ト區別スヘキカ余ハ一ニ當事者ノ意思如何ヲ標準トスルノ說ヲ是認スルモノニシテ債務ノ辨濟トシテ授受スルノ意思ナルトキハ代物辨濟ナリ債權ノ形體ヲ變シテ新ナル法律關係ニ依リテ既存ノ法律關係ノ經濟的目的ヲ達セント欲スルトキハ更改ナリ余ハ民法第五百十三條第二項ノ規定ハ單一ノ例ヲ掲ケタルニ過キスト解セント欲ス同條ノ字句ニハ適セサルカ如シト雖モ其字句ニ拘泥スルトキハ甚タ理論ニ遠サカルハ結果ヲ生スヘケレハナリ

二 手形ノ授受カ既存ノ法律關係ニ如何ナル效力ヲ及ホスカヲ論スルニ當タリテハ學者爲替手形又ハ約束手形ヲ發行シテ之ヲ債權者ニ交付シ債務者ニ於テ債權者カ自己若クハ第三者ヲ受取人トシテ發行シタル爲替手形ノ引受ヲ爲シ又ハ債務者カ債權者ニ裏書ヲ爲シタル場合ヲ擧ケ

消滅力ナキ
場合ニ於ケル
手形授受
ノ效果

サルハ稀ナリ我民法ハ唯爲替手形發行ノ場合ヲ掲クルノミ然レトモ債
務者カ他人ノ發行シタル爲替手形ノ裏書ヲ爲シタル場合ハ其消滅的效
力ニ於テ爲替手形發行ノ場合ニ優ルモ劣ルコトアルヘカラス又小切手
ハ其經濟的作用ヨリ論ズレバ支拂證券ニシテ之カ發行若クハ裏書ノ既
存ノ法律關係ニ對スル效力ハ少クトモ爲替手形ノ發行若クハ裏書ニ比
シテ薄弱ナルノ理由ナキナリ又振出人カ自己ヲ受取人トシテ爲替手形
ヲ發行セル場合ニ於テ之ヲ完全ナル手形ト見ルヘキヤ否ヤニ付テハ學
者其說ヲ異ニスト雖モ支拂人カ引受ヲ爲シタルトキハ皆手形トシテ完
成スルヲ認ム而カモ是狹義ニ於ケル爲替手形發行ノ場合ニ非サルナリ
余ハ民法ノ規定ヲ制限的ニ解釋セサルノミナラス更改又ハ代物辨濟ノ
原則ヲ手形行爲ニ共通ナルモノトシ極メテ自由ノ解釋ヲ採ラント欲ス
三 既存ノ法律關係カ手形ノ授受ニ因リテ消滅スルトキハ更改ノ場合ニ
於テモ代物辨濟ノ場合ニ於テモ將來ニ存スルハ獨リ手形上ノ法律關係

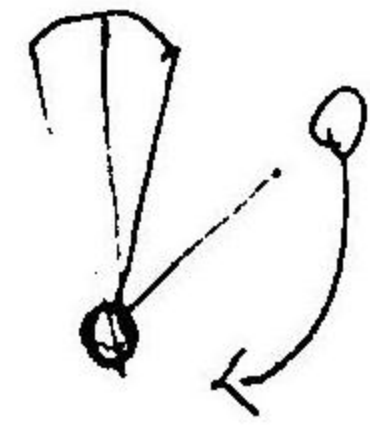
手形授受ノ
確保的効果

ナリ故ニ債權者ハ唯手形上ノ債權者トシテ其權利ヲ行使スルノ一途ア
ルノミ之ニ反シテ二箇ノ法律關係併存スル場合ニ於テ債權者ハ同時ニ
二箇ノ債權ヲ有スルナリ然レトモ併セテ之ヲ行使スルヲ得サルハ論ナ
ク其何レヲ擇フヘキカハ手形授受ノ效果如何ニ依リテ決セサルヘカラ
ス
い 債務者獨リ手形上ノ債務ヲ負擔シ第三者ヲシテ支拂ヲ爲サシムル
ニモ非ス又債務ヲ負擔スル第三者ナキトキ例セハ債務者カ約束手形
ヲ發行シ又ハ自己ヲ支拂人ト定メタル他地拂爲替手形ノ引受ヲ爲シ
テ支拂擔當者ヲ記載セサルカ如キ場合ニ於テハ手形ノ授受ハ單ニ既
存ノ法律關係ヲ確保スルニ過キサルモノ (Begebung sicherungshalber) ト解
スルヲ正當トス故ニ債權者ハ其選擇ニ從ヒ既存ノ債權又ハ手形上ノ
債權ヲ行使スルノ自由ヲ有セサルヘカラス
ろ 手形ノ授受カ所謂支拂ノ爲メニスルモノナルトキ (Begebung zahlungs-

支拂ノ爲メ
ニ於テハ先
ニ於テハ先
シテ行ハシ
ムヘシ

Huber) ハ當事者ハ手形ノ支拂ヲ以テ手形上ノ債權債務ヲ消滅セシメ
之ニ依リテ既存ノ債權債務ヲ消滅セシメントスルノ意思ナリト推測
セサルヘカラス故ニ債權者ハ先ツ手形上ノ債權者トシテ手形ノ支拂
ヲ求ムルノ途ニ出ツヘキナリ而シテ如何ナル程度マテ手形上ノ債權
ノ行使ヲ試ミサルヘカラサルカニ至リテハ學者其說ヲ異ニス債權者
ハ訴ヲ提起シテ其權利ノ強制ヲ試ミサルヘカラストシ若クハ手形上
ノ債務者ノ何レヨリカ支拂ヲ得又ハ手形ノ移轉ニ依リ對價ヲ得ルノ
途アラハ之ヲ試ミサルヘカラストスル者ナキニ非スト雖モ當事者ハ
其授受シタル手形カ普通ノ徑路ヲ取ルヘキヲ豫想シタルモノニシテ
固ヨリ手形上ノ債權ノ強制的手段ヲ實行セシムルノ負擔ヲ債權者ニ
命スルモノト解スヘカラスト故ニ債權者カ引受又ハ支拂ヲ求メタル場
合ニ其拒絕ニ遭遇シタルトキハ手形上ノ債權行使ヲ棄テ直チニ既存
ノ債權ヲ行使スルヲ得ルナリ債權者ハ既存ノ權利ヲ行使セサルヘカ

債權者ハ無
傷ノ手形ヲ
債權者ニ返
カセサルヘ



ラサルノ義務ヲ有スルモノニ非ス手形上ノ法律關係ニ基キ引受人ニ
對シテ支拂ヲ強制シ償還義務者アル場合ニ於テハ之ニ對シテ償還請
求ヲ爲スハ固ヨリ債權者ノ自由ニ在リ寧ロ是債務者ノ希望スル所ナ
リ

四 引受又ハ支拂拒絕ノ場合ニ於テ債權者ハ既存ノ法律關係ニ基キテ其
權利ヲ行使スルヲ得ルハ前述シタルカ如シ然レトモ債權者ハ債務者ヲ
シテ其前者又ハ引受人ニ對シテ手形上ノ權利ヲ行使スルヲ得セシメサ
ルヘカラス債務者カ手形上ノ債權ヲ行使スルヲ得サルトキハ債權者ハ
既存ノ債權ヲ喪失スヘキハ理ノ當然ナリ今其最モ著シキ一例ヲ舉クレ
ハ債權者カ債務者ヨリ手形ノ裏書ヲ受ケ己尙ホ所持人タル場合ニ於テ
拒絕證書作成ノ期間内ニ手形ヲ呈示セス支拂拒絕證書ヲ作成セシメヌ
又ハ償還請求ノ通知ヲ發スルヲ怠リ爲メニ自ラ手形上ノ權利ヲ失フノ
ミナラス裏書人タル債務者ヲシテ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失ハ

シメタルトキハ債權者ハ債務者ニ對シテ既存ノ債權ヲモ失フナリ換言セハ債務者ハ債權者ヨリ無傷ノ手形ノ返還ト交換的ニ既存ノ債務ヲ履行スルノ義務アルノミ

五 手形ノ授受ハ既存ノ債務ノ消滅ヲ目的トスルモノニシテ手形ノ支拂ヲ爲スヘキ地位ニ在ル者カ滿期日ニ於テ支拂ヲ爲シタルトキハ手形上ノ法律關係ハ茲ニ消滅シ同時ニ亦既存ノ法律關係モ消滅セサルヘカラス手形ノ順當ノ支拂アリタルトキハ當事者ハ其豫期シタル目的ヲ達シタルモノニシテ既存ノ法律關係ハ絶對的ニ消滅スヘキナリ又債權者債務者ヨリ得タル手形ヲ利用シ之ニ依リテ得タル對價ヲ失フノ虞ナキニ至リタルトキハ債權者ハ既存ノ債務辨濟ノ材料ヲ保有スルカ故ニ此場合ニ於テモ亦既存ノ法律關係ハ消滅スルナリ債權者カ債務者ヨリ手形ヲ取得スルハ滿期日ノ到來ヲ待テ自ラ支拂ヲ求ムルノ意ニ非ス手形ノ利用ニ依リテ得ルモノ亦債務辨濟ニ充當スルハ寧ロ當事者ノ期スル所

手形ノ利用
ニ依リテ
消滅スル
場合

ニシテ今債權者手形ヲ裏書シタル場合ニ償還義務ヲ免レタルトキ債權者ノ前者其償還義務ヲ履行シタルトキ又ハ債權者カ無擔保ノ裏書ヲ爲シタルトキハ既存ノ法律關係ノ消滅ヲ來スナリ

第五節 不當利得ノ償還請求權

所持人カ手形上ノ權利ノ保全ニ必要ナル行爲ヲ爲サス又ハ法定ノ期間内ニ其權利ヲ執行セサルトキハ手形上ノ權利ヲ失フヘク其之ヲ喪失シタル場合ニ於テ爲替手形ノ振出人若クハ引受人約束手形及ヒ小切手ニ在リテハ其振出人ニ對スル不當利得ノ償還請求權 (wechselrechtliche Bereicherungs-klage) ハ第四百四十四條ノ明定スル所ナリ振出人ハ手形ノ發行ニ當タリテ受取人ヨリ對價ヲ得テ其未タ支拂人ニ資金ヲ供セサル場合ニ於テ手形上ノ償還義務ヲ免ルルハ振出人ノ利ナリ (大審院判決錄第八輯第七卷三四頁) 引受人ハ時効期間ノ經過ニ因リテ手形上ノ債務ヲ免レ振出人ヨリ受領シタル資金ヲ保有スルハ即チ其利ナリ約束手形ノ振出人モ亦受取人ノ供シタル對價ヲ得テ所持

人ニ對スル債務ヲ免ルルハ其利ナリ而シテ所持人ハ其權利ノ保全若クハ執行ヲ怠リタルノ責アルモ保全行為ハ極メテ短キ期日ニ之ヲ爲ササルヘカラス時効期間ニ至リテモ亦甚ク短シ一方ニ於テ所持人偶此期ヲ空過シタル場合ニ於テ全然其權利ヲ失ヒ而シテ他ノ一方ニ於テハ振出人若クハ引受人ハ前述ノ利益ヲ享受スルハ二者ノ待遇權衡ヲ得タルモノト云フヘカラス是ニ於テ乎法律ハ手形上ノ權利消滅ノ後ニ於テ尙ホ振出人及ヒ引受人ニ一種ノ負擔ヲ命シ以テ所持人ヲ救済スルノ途ヲ設ク是即チ不當利得償還ノ制度ナリ

一 不當利得償還請求權ノ本體ニ付テハ學者其說ヲ同ウセスト雖モ手形上ノ權利ノ殘物 (ein Residuum des Wechselanspruchs) ナリトスルヲ通説トス獨國ノ判例モ亦然リ然レトモ是未タ權利ノ法律上ノ性質ヲ解明スルニ足ラサルナリ

カンスタインハ手形上ノ債務ナリトシ引受人又ハ振出人ハ依然トシテ

不當利得償還請求權ノ本體

手形金額及ヒ償還金額支拂ノ義務ヲ負擔シ唯不當利得ノ範圍内ニ於テ其義務ノ存スル抗辯ヲ爲スヲ得又債權者ハ爲替訴訟ニ依ルノ特權ヲ失フニ過キスト論ス是獨國手形法第八十三條ニ用キタル文字 (so. *ähnlich* diesen..... *verpflichtet*) ニ拘泥セル議論ニシテ同條ノ解釋トシテ甚ク失當ナルノミナラス我商法ノ解釋トシテ固ヨリ採用スヘカラス又民法ノ定ムル不當利得ト其性質ヲ一ニスト論スルモ誤ナリ何トナレハ所持人カ手形上ノ權利ヲ喪失シタルハ法律ノ規定ニ因ルモノニシテ敢テ振出人若クハ引受人ノ行為ニ基クニ非ス且振出人引受人ノ利得ハ所持人ノ財産又ハ勞務ニ因ルニ非サレハナリ又損害賠償ノ性質ヲ有スルモノト解スヘカラス蓋シ所持人ハ權利ノ行使ヲ怠リ自ラ損失ヲ速キタルモノニシテ他人ヲシテ之ヲ負擔セシムルノ理ナケレハナリ又手形授受ノ基礎タル法律關係ニ原因スル請求權トスルハ法律行為ノ連絡ナキ間接當事者ノ權利アル所以ヲ説明スルヲ得ス終ニスタウブハ手形法的及ヒ民

總論 非手形關係 不當利得ノ償還請求權

法的原素ノ結合(eine Vereinigung von wechselfrechtlichen und civilrechtlichen Elementen)
 トシ手形上ノ債務消滅シタリト云フハ唯手形ニ固有ノ形式固有ノ解釋
 ニ基キ手形自體ニ因リテ支持セラルル手形的債權ニ付テ之ヲ云フニ過
 キス不當利得ノ償還請求權ハ同シク手形ヨリ生スル權利(ein Anspruch aus
 dem Wechsel)ナリト論結セリ然レトモ其論スル所前後矛盾シ殊ニ手形ヨ
 リ生シタル債權カ消滅シタル後ニ於テ始メテ生スル權利ヲ稱シテ手形
 ヨリ生スル請求權ナリト解スルハ余ノ首肯スル能ハサル所ナリ余ハ手
 形法ノ規定ニ基ク純然タル民事上ノ關係ナリト論スルヲ以テ正鶴ヲ得
 タリト信ス其手形上ノ法律關係ニ非サルハ手形上ノ權利ノ消滅ヲ條件
 トスルニ依リテ明ナリ又所持人償還ヲ請求スルニ當タリテ手形ノ占有
 者タルヲ要セス即チ不當利得ノ償還ニ付テハ手形ハ單純ナル證據證券
 ノ用ヲ爲スニ過キササルナリ而シテ民事上ノ關係ト云フハ民法ノ不當利
 得ト其性質ヲ同ウスルノ意ニ非ス一種特別ノ法律關係ナリ

不當利得ノ
 償還請求權
 ハ手形上ノ
 權利ノ消滅
 ナ前提トス

手形上ノ債
 務ノ履行ハ
 不當利得ノ
 償還請求權
 ヲ前提トス

- 二 不當利得ノ償還請求權ハ手形上ノ權利消滅シタル後ニ於テ始メテ行
 フヲ得ヘキモノタルハ疑ナシ然レトモ所持人ノ有スル一切ノ權利ノ消
 滅ヲ必要トスルヤ否ヤニ付テハ獨國ノ學者亦其說ヲ一ニセス所持人カ
 保全行爲ヲ爲ササルカ爲メ其前者ニ對スル償還請求權ヲ喪失シ引受人
 ニ對スル權利ノ未タ時効ニ因リテ消滅セサル場合ニ於テモ其權利ノ實
 效ヲ收ムル能ハサルトキハ振出人ニ對シテ償還ヲ請求スルヲ得ト論ス
 ル者アリ然レトモ少クトモ我商法ノ解釋トシテハ之ヲ採ラス
- 三 不當利得ノ償還請求權ハ手形上ノ債權カ嘗テ成立シタルヲ條件トシ
 又其請求ヲ受クル者ニ於テ手形上ノ債務ヲ否認スルヲ得サルヲ必要ト
 ス故ニ手形カ振出人ノ意思ニ基カスシテ流通スルニ至リタルトキ其他
 全然意思ノ欠缺セルトキ若クハ債務者カ無能力ヲ理由トシテ其債務ヲ
 否認スルヲ得ル等ノ場合ニ於テハ亦不當利得ノ償還請求權ニ應スルノ
 理ナキナリ

不當利得ノ
償還請求者

一三二

四 不當利得ノ償還請求權ヲ有スル者ハ手形上ノ權利消滅ノ當時ニ於テ
正當ニ債權者タル資格ヲ有スル者ナラサルヘカラス其相續人又ハ讓受
人カ承繼者トシテ此權利ヲ有スルハ普通ノ原則ニ於テ明ナリ又手形上
ノ償還義務ヲ履行シタル前者カ手續ノ欠缺又ハ時効ニ因リテ其權利ヲ
喪失シタル場合ニ於テ所持人トシテ不當利得ノ償還請求權ヲ行フヲ得
ルモ疑ナシ手形上ノ償還義務ヲ免レタル裏書人カ任意ニ償還金額ノ支
拂ヲ爲シタルカ爲メニ此權利ヲ有セサルモ亦説明ヲ須キス

不當利得ノ
償還義務者

五 不當利得ノ償還請求ヲ受クル者ハ手形行爲ヲ爲シテ手形上ノ債務ヲ
負擔シタル者ナラサルヘカラス故ニ支拂人委託手形ニ於ケル委託者支
拂擔當者ハ義務者ニ非ス又手形上ノ債務者モ我商法ニ於テハ之ヲ爲替
手形ノ振出人並ニ引受人約束手形及ヒ小切手ノ振出人ニ限レリ故ニ裏
書人ハ不當利得ノ償還義務者ニ非サルハ明ナリ其立法上ノ可否ハ一箇
ノ問題ナリ

舉證ノ責任
ハ所持人ノ
負擔ナリ

既存ノ債權
ト不當利得
ノ償還請求
權

六 不當利得ノ償還ヲ請求セントスル者ハ不當利得ノ事實ヲ證明セサル
ヘカラス即チ舉證ノ責任ハ原告ノ負擔スル所ナリ學者或ハ手形カ數人
ノ手ヲ經タルトキハ原告ノ證明ハ縱令不能ナラストスルモ難ヲ強ユル
モノニシテ之ヲ法律ノ精神ト推測スルヲ得スト論スルモ是大ナル誤謬
ナリ所持人カ手形上ノ權利ヲ喪失シタルハ其行使ヲ怠リタルカ故ニシ
テ不當利得ノ請求權ハ寧ロ法律ノ恩典ト云ハサルヘカラス此恩典ニ加
フルニ尙ホ舉證ノ責任ヲ免レシムルノ特惠ヲ與フヘカラス

七 手形授受カ消滅力ヲ有セサル場合ニ於テ債權者手形上ノ權利ヲ喪失
スルモ尙ホ既存ノ債權ヲ行使スルヲ得ルトキハ不當利得ノ償還請求權
ヲ行フヲ得ス何トナレハ此權利ハ所持人他ニ救濟ノ途ナキ場合ニ於テ
法律ノ特ニ與ヘタル最後ノ手段ナレハナリ

第七章 爲替訴訟及ヒ手形抗辯

手形上ノ債權債務ハ普通ノ債權債務ト大ニ其性質及ヒ效力ヲ異ニスルハ既ニ述ヘタル所ニシテ手形上ノ法律關係ノ設定ニ法定ノ形式ヲ具ヘタル證券ヲ必要トシ各手形行爲ノ形式モ法律ノ定ムル所ニシテ其形式ヲ履行セサルトキハ之ヲ無効トシ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ノ占有ヲ取得シタル者ハ手形ノ所有者トシテ完全ナル債權ヲ取得シ債務者ノ債權者ニ對抗スルヲ得ヘキ抗辯ノ事由ヲ制限シ極メテ短期ノ時效期間ヲ定メ所持人法定ノ保全行爲ヲ爲ササルトキハ之カ爲メニ手形上ノ權利ヲ喪失シ手形行爲ヲ爲シタル者ハ手形ニ記載スル所其眞意ト符合セサル場合ニ於テモ善意ノ所有者ニ對シテハ手形ノ文言ニ準由シテ拘束ヲ受ク凡ソ是等ノ事項ハ手形上ノ債權債務カ普通ノ債權債務ト異ナル主要ノ點ナリ手形ノ強力 (rigor cambialis; Wechselstrenge) ナル文字ハ往往獨國學者之ヲ用ユ

手形強力ノ
意義

故ニ先ツ其意義ニ付キ一言スヘシ或ハ前掲手形上ノ債務ニ固有ナル點ヲ一括シテ手形ノ強力ト云ヒ或ハ手形法ニ規定シタル事項ニ非サレハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セサルノ意ニ解スト雖モ皆謬ナリ古代ノ手形法ニ於テハ債務者ハ其身體ヲ以テ責任ヲ負擔シタルモノニシテ債務者支拂ヲ怠リタルトキハ債權者ハ之ヲ拘禁セシムルコトヲ得タリ身體拘禁ハ手形ニ固有ナル制度ニ非サリシモ中古以來漸次廢滅ニ歸シ獨リ手形ニノミ之ヲ存置シタルヲ以テ自ツカラ手形ニ特別ノ制度ト變シタルナリ然レトモ近代ノ法律之ヲ襲用スルナキヲ以テ手形ノ強力ヲ解シテ身體ノ拘禁トスヘカラサルハ明白ナリ而シテ手形ノ強力ヲ説ク者ハ之ヲ形の強力實の強力ニ區別スルヲ常トス形の強力 (formelle Wechselstrenge) トハ手形上ノ債務者ノ爲メニ不利ナル手續法上ノ規定ヲ云ヒ實の強力 (materielle Wechselstrenge) トハ實體の規定ニシテ債務者ノ爲メニ不利ナルモノヲ云フ形の強力ノ意義ニ付テハ論者其說ヲ異ニセサルカ如シ即チ爲替訴訟カ普

形の強力

通證書訴訟ト其適用ノ法規ヲ異ニスルノ意ナリ之ヲ我民事訴訟法ノ規定ニ求ムレハ一ハ裁判管轄ニ關スル第四百九十五條ニシテ手形上ノ債務者數人ニ對シテ訴ヲ提起スルトキハ手形ノ支拂地又ハ債務者ノ一人ノ住所地ノ裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ得テ即チ普通ノ裁判籍ニ依ラスシテ可ナルヲ債務者ノ不利トシ他ノ一ハ口頭辯論ノ期日ハ訴狀ノ送達ヨリ二十四時間アルヲ以テ足レリトスル第四百九十六條ニシテ第九十四條及ヒ第三百七十七條ノ原則ニ對スル例外ナリ實の強力ニ至リテハ學者ノ解スル所頗ル區區タリテ^ホルハ定額約束ノ有效及ヒ實質的關係ト獨立シ自ツカラ手形ニ固有ナル抗辯ノ法規ナリト說明シ此說ヲ奉スル者尠シトセスコ^イザツクハ手形ノ強力ヲ手形法ノ本質的要件トシテ^ホルト同一ノ解釋ヲ取レリ之ニ反シテカンスタインハ擔保ノ供與共同責任及ヒ債權ノ不要因の意ナリトシレーマンハ實の強力トシテ特ニ掲クヘキハ滿期日ノ到來前ニ擔保ヲ供スルノ義務及ヒ正當ノ履行ナキ場合ニ於テ損害賠償ニ比シテ遙

實の強力

手形抗辯
(抗辯制限)

ニ多大ノ金額ヲ支拂ハサルヘカラサル義務ナリト言ヘリ
 手續法上ノ強力ヲ説カサル者稀ナラス之ヲ説クモ唯手形發達ノ歴史ヲ叙スルニ當タリ身體ノ拘禁ヲ掲クルニ過キササル者尠シトセス實體法上ノ強力ニ至リテハ説明ヲ試ミサル者亦甚々多シ我商法ニ於テ此文字ヲ用ユルコトナク余ハ之ヲ特別ノ觀念トシテ其意義ヲ論議スルハ要ヲ認メサルナリ、
 手形抗辯 (Wechselinreden) トハ手形上ノ債務者カ其債權者ニ對抗スルヲ得ル抗辯ニシテ其抗辯ニ制限アルニ由リテ學者亦抗辯制限 (Einredebeschränkung) ノ制度ト稱ス我商法第四百四十條ハ手形ノ債務者ハ本編ニ規定ナキ事由ヲ以テ手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗スルヲ得ス但直接ニ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラヌト規定ス此規定ハ獨國手形法第八十二條ノ „Der Wechselschuldner kann sich nur solcher Einreden bedienen, welche aus dem Wechselrechte selbst hervorgehen oder ihm unmittelbar gegen den jedesmaligen Kläger

手形法上ノ
抗辯
民事上ノ抗
辯

zustehen”トアルニ倣ヒタルナリ而シテ獨法ノ解釋ニ付テ學說同シカラス
ト雖モ开ハ姑ク措キ余ハ我商法ノ解釋トシテハ抗辯ノ事由ヲ大別シテ二
トス其一ハ手形法(商法第四編)ニ規定シタル事由ニシテ他ノ一ハ民法及ヒ
商法一般ノ規定ニ從ヒテ直接ニ請求者ニ對抗シ得ヘキ事由ナリ前者ハ之
ヲ手形法上ノ抗辯(wechselrechtliche Einreden)ト稱シ後者ハ民事上ノ抗辯(civil-
rechtliche Einreden)ト稱スルヲ得ヘシ斯ノ如ク抗辯ヲ認ムル法律ヲ標準トシ
テ抗辯ノ事由ヲ區別スルハ全ク抗辯ノ實體ヲ顧ミサルモノニシテ其立法
上ノ當否ニ付テハ論スヘキモノナキニ非スト雖モ第四百四十條ハ「本編ニ
規定ナキ事由」ノ文字ヲ用キ自ツカラ手形法ニ規定セル事由ト手形法ニ規
定セサル事由ニシテ請求者ニ對スル一般私法上ノ關係ニ基キ直接ニ對抗
スルヲ得ヘキモノトノ二種トスルノ意ナルハ解釋論トシテ疑ヲ容レサル
カ如シベルンスタインハ獨法ノ規定ヲ解シテ “wechselrechtliche Einreden”
„gemeinbürgerliche Einreden”ノ別ナリトシ手形法上ノ抗辯ヲ當事者間ノ手形

物的抗辯
客觀的抗辯

上ノ關係ニ基因スル抗辯トシ各手形所有者ニ對抗スルヲ得ルノ效力アル
ヲ本則トシ特定ノ所持人ニ對抗スルヲ得ルヲ例外ナリト論スルモ我商法
ノ解釋トシテハ當タラサルナリ何レカ本則ニシテ何レカ例外ナルカノ別
アルヲ認メヌ又民事上ノ抗辯ヲ當事者相互ノ手形上ノ關係以外ニ於ケル
地位ヨリ生スルモノトシ其效力ニ付テハ當該原告ト當該被告トノ間ニ於
ケル特別ノ關係ニ基因スルトキニ限り其效力ヲ有スト説明スルモ是亦我
商法ノ解釋トシテ採ルヘカラス
余ハ手形法上ノ抗辯モ民事上ノ抗辯モ其ニ物的效力ヲ有スルモノト人的
效力ヲ有スルモノトノ二種アルヲ認ム物的抗辯(dingliche Einreden, exceptions
in rem)ハ一ニ之ヲ客觀的抗辯(objective Einreden)ト稱シ手形上ノ債務ノ存否
ヲ爭フ抗辯ニシテ一切ハ所持人ニ對抗スルヲ得ルモノナリ發行ノ形式ノ
欠缺ヲ理由トスルハ手形上ノ法律關係ノ根本的不成立ヲ主張スルナリ所
持人ノ保全行為懈怠ヲ理由トスルハ被請求者ニ於テ其後者全員ニ對シ債

人的抗辯
主觀的抗辯

務ノ消滅ヲ主張スルモノナリ是手形法上ノ物的抗辯ノ例ナリ手形發行ノ意思ナキヲ對抗スルハ民事上ノ物的抗辯ナリ無能力ヲ理由トシテ債務ヲ否認スルモ亦手形法ニ規定セサル事由ニ基因スル物的抗辯ナリ人的抗辯 (persönliche Einreden, exceptions in personam) 或ハ主觀的抗辯 (subjektive Einreden) ト稱シ當該請求者ニ對スル當該被請求者ノ抗辯ニシテ當事者間ノ實質的關係ヲ理由トスルハ民事上ノ人的抗辯ナリ惡意又ハ重大ナル過失アリテ手形ヲ取得シタル事實ヲ對抗スルハ手形法上ノ人的抗辯ナリ

物的抗辯ハ債務者ニ於テ其債務ヲ否認スルノ理由ナルカ故ニ其理由カ手形法ノ規定ニ基クト民法其他一般私法ノ規定ニ基クトヲ問ハス況ク各人ニ對抗スルノ效力ヲ有ス以テ何人ニ對抗スルヲ得ヘキヤノ範圍ヲ論スルノ必要ナシ之ニ反シテ當該請求者ニ對抗スル人的抗辯ニ至リテハ請求者ノ外尙ホ何人ニ對抗スルヲ得ヘキヤヲ一言スルノ要アリ原始的ニ獨立ノ權利ヲ取得セス所謂權利ヲ承繼スル者ハ其被承繼人ニ對シテ存スル抗辯

手形法上ノ
物的抗辯ノ
對抗力

ヲ認メサルヘカラス拒絶證書作成ノ期間經過ノ後ニ於ケル被裏書人ハ裏書人ノ權利ヲ取得スルノミ(第四百六十二條)振出人カ裏書ヲ禁止シタル手形ノ讓受人相續人ニ對シテハ前者ニ對スル抗辯ハ自ツカラ對抗力ヲ有スルナリ

物的抗辯ハ手形法ニ規定スル事由ニ因ルモノト然ラサルモノトノ別アルハ前述セルカ如シテ其對抗力ニ付テハ手形法上ノ物的抗辯ニシテ各債務者カ各債權者ニ對抗スルヲ得ルモノアリ發行行為形式ノ欠缺引受人又ハ約束手形ノ振出人カ手形金額ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲シ支拂拒絶證書作成ノ期間經過ノ後手形金額ヲ供託シ(第四百八十五條)引受人ナキ場合ニ於テ所持人拒絶證書ノ作成期間内ニ手形ヲ呈示セス(拒絶證書ヲ作成セシメサルハ免除者免責ノ理由タラス)他地拂又ハ一覽後定期拂ノ手形ノ所持人カ呈示期間ヲ遵守セサルカ如キ其例ナリ又一人ハ債務者カ各債權者ニ對抗スルヲ得ル抗辯トシテハ其署名ノ偽造無擔保ノ裏書拒絶證書作

總論 爲替訴訟及手形抗辯

成期間ノ經過後ニ於ケル裏書ヲ例トシ而シテ裏書禁止ノ裏書ヲ爲シタル者ハ其直接ノ後者ノ外一切ノ債權者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負擔セサルナリ

民事上ノ抗辯ノ對抗力

手形法ニ規定セサル抗辯ノ事由モ亦其種類一ナラズ一人ノ債務者カ各債權者ニ對抗スルヲ得ヘキモノハ債務負擔ノ意思ノ欠缺無能力代理權ノ欠缺ノ如シ一人ノ債務者カ特定ノ債權者ニ對抗スルヲ得ヘキモノハ債務ノ免除交互計算其他手形行爲ノ基礎タル實質上ノ關係ニ基因スルモノノ如キ是ナリ代理權ニ加ヘタル制限アルヲ知リテ手形ヲ取得シタル者ニ對抗シ得ヘキ事由モ亦此種ニ屬ス支配人合名會社合資會社ノ代表社員株式會社ノ取締役ノ手形行爲ヲ例トス

第八章 國際手形法

手形ハ流通證券ニシテ國際商業上ノ相殺具タルハ其經濟的作用ノ著シキモノナリ一國ニ於テ發行シ終始其國ニ於テ輾轉シ又其國ニ於テ支拂ハルルモノニ非ス甲國ニ於テ發行シタル手形カ乙國ニ於テ流通シ更ニ丙國ニ轉シ竟ニ丁國ニ於テ支拂ハルルカ如キハ決シテ稀ナラス其他引受又ハ支拂ヲ求ムルカ爲メニスル呈示引受又ハ支拂拒絶ノ場合ニ於ケル遡求權等ハ必スシモ一國內ニ於テ生セサルナリ而シテ各國ノ法律是等ノ點ニ關シ其規定ヲ同ウセサルニ於テハ手形上ノ債務者タル能力手形行爲ノ形式手形行爲ノ法律上ノ效力手形上ノ權利ノ保全若クハ執行ニ必要ナル手續等ハ何レノ國ノ法律ニ從フヘキモノナルヤヲ研究セサルヘカラス我法例ハ國際私法上ノ原則ヲ定メタルモ手形行爲ニ應用スヘカラサルモノアリ亦特ニ手形行爲ニ固有ノ規定ヲ要スルモノアリ是ヲ以テ商法施行法ハ其第

手形行為ノ
能力

百二十五條及ヒ第百二十六條ニ於テ手形行為ノ效力、手形行為ノ方式、手形行為ノ手形上ノ權利ヲ保全スルニ必要ナル手續ニ關スル原則ヲ掲ケタリ

第一 當事者ノ能力ニ付テ其本國法ニ從フハ國際私法上ノ原則ニシテ我

法例第三條第一項亦此原則ヲ明揭ス而シテ手形能力ニ關シテハ商法及ヒ商法施行法ニ特別ノ規定ナク法例ノ定ムル所ニ依ラサルヘカラス外國人カ日本ニ於テ法律行為ヲ爲シタル場合ニ於テ其本國法ニ依レハ無能力者タルトキハ其行為ハ或ハ不成立或ハ取消シ得ヘキナリ然レトモ其外國人カ日本ノ法律ニ依レハ能力者タルトキハ其者ノ日本ニ於テ爲シタル行為ハ之ヲ有效トス是即チ法例ノ主趣ナリトス而シテ斯ノ如キ例外ヲ認メタルノ理由ヲ釋スルニ外國人カ日本ニ於テ法律行為ヲ爲シタル場合ニ於テハ其外國人カ其本國法ニ依レハ果シテ能力者ナルヤ否ヤハ之ヲ知リ易カラズ殊ニ日本ノ法律ニ依レハ能力者タルトキハ何人モ皆其能力者タルヘキヲ信スヘク外國人ヲシテ其本國法ニ依ル無能力

手形行為ノ
方式

ヲ主張スルヲ許スハ偶善意者ノ利益ヲ傷クルノミ手形能力ニ付テモ其理ハ一ナリ而シテ現行ノ法律ニ於テ所謂一般ノ手形能力ヲ認ムルモノト然ラサルモノトアリ其然ラサルモノハ勿論一般能力ノ原則ヲ採用スル法律ニ於テモ其規定スル所相異ナレリ故ニ能力ニ關スル規定ハ大ニ其適用ヲ見ルヘキナリ

外國人カ其本國法ニ依リテ能力者タルトキハ日本ノ法律ニ依レハ無能力者タルヘキトキト雖モ完全ナル能力者トシテ債務ヲ負擔スヘキハ言ヲ俟クス蓋シ人ノ能力ハ其本國法ニ依ルカ我法ノ原則ナレハナリ

第二 手形行為ノ方式ハ彼ノ行為地ノ法律ニ依ルノ原則 (locus regit actum) ニ從フ外國ニ於テ爲シタル手形行為ノ要件ハ總ヘテ其行為ヲ爲シタル國ノ法律ニ依リテ定マルモノニシテ其行為者ノ本國法ノ如何ヲ問ハス支拂ヲ爲スヘキ國ノ法律如何ヲモ問ハサルナリ此行為地ノ法律カ行為ノ方式ヲ定ムルノ原則ハ外國法ニ於テモ汎ク認ムル所ニシテ獨、匈、瑞、伊、

英等皆然リ佛國ノ學者亦之ヲ認ム蓋シ手形行爲ヲ爲ス者ハ其行爲地ノ法律ヲ知り其定ムル所ニ從ヒテ之ヲ爲シタリトスルハ自然ノ推定ナレハナリ其行爲地トハ手形ニ記載シタル地ニ非スシテ事實行爲ヲ爲シタル地ト解スヘキハ當然ナリ

行爲地法ノ定ムル方式ヲ履行シタルトキハ我法ハ其行爲ヲ有效トシ其行爲カ日本法律ノ定ムル要件ヲ具備セルヤ否ヤヲ區別セス其手形カ日本ニ於ケル手形行爲ノ基礎タルヲ得ヘキハ言フ俟タス之ニ反シテ行爲地ノ法律ニ從ハサル手形行爲ハ其行爲地ニ於テ無効ナルハ勿論我法亦之ヲ無効トス是行爲地法ニ依ルノ必然ノ結果ナリ

手形行爲ノ方式ハ行爲地法ニ依ルノ原則ニ對シ商法施行法第二百二十五條第二項ハ二箇ノ例外ヲ認ム

行爲地法ノ原則ニ對スル例外

其一ハ外國ニ於テ爲シタル手形行爲カ其國ノ法律ニ定メタル形式ヲ具ヘス從テ其國ノ法律ニ依レハ無効タルヘキモノト雖モ日本ノ法律ニ

定メタル要件ヲ具備スルトキハ爾後日本ニ於テ爲シタル手形行爲ハ之ヲ有效トスルニ在リ例セハ發行地ノ法律指圖文句ノ記載ヲ必要トスル場合ニ於テ之ヲ記載セサルトキハ我法ハ其發行行爲ヲ無効トス從テ其手形ハ日本ニ於テ有效ナル手形行爲ノ基礎タルヲ得サルヲ原則トス然レトモ其手形カ日本ニ於テ流通スル場合ニ於テハ日本人ハ日本ノ法律ノ定ムル所ニ從テ手形行爲ノ效力ヲ判斷スルモノト推測スルハ不當ニ非ス故ニ裏書引受等日本ニ於テ爲シタル手形行爲ハ我法之ヲ有效トス固ヨリ發行行爲ヲ以テ有效トスルニハ非サルナリ

其二ハ日本人カ外國ニ於テ日本人ニ對シテ手形行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ其行爲ノ方式カ外國法ノ定ムル所ニ適セサルモ日本ノ法律ノ定ムル所ニ適シタルトキハ我法ハ之ヲ有效トス蓋シ日本人相互ノ間ニ於テ手形行爲ヲ爲シタルトキハ縱令外國ニ於テ之ヲ爲スモ日本ノ法律ノ定ムル所ニ從フノ意思ナリト推定シテ可ナレハナリ故ニ日本ノ

法律ニ定メタル方式ヲ履行シタルトキハ我法律ハ之ヲ以テ足レリトシ敢テ行爲地法ノ方式ヲ履行シタルヤ否ヤヲ問フヲ要セサルナリ余ハ商法施行法第二百五條第二項ヲ解シテ我法ハ行爲地法ノ方式ヲ履行セサル行爲自體ヲ有效ト認メタルモノト論セント欲ス其行爲ヲ無效トシ唯爾後日本ニ於テ爲シタル行爲ヲ有效トスルハ寧ロ法文ノ字句ニ拘泥スルモノニシテ法律ノ精神ニ適ハサルナリ

第三 手形上ノ權利ノ行使及ヒ保全ニ關スル行爲ノ方式ハ各其行爲ヲ爲ス地ノ法律ニ依ル(商法施行法第二百六條)是亦多數外國立法例ノ認ムル所ニシテ獨、匈、瑞、伊、英等然リ此原則ハ唯形式ニ於テ行爲地ノ法律ニ依ルヘキヲ云フニ止マリ如何ナル行爲カ手形上ノ權利ノ保全又ハ行使ニ必要ナルヤノ問題ヲ決スルニ非ス故ニ支拂拒絶ヲ證スルノ手續如何拒絶證書ノ作成期間場所作成者等即チ行爲地ノ法律ニ依ルノミ

第四 外國ニ於テ爲シタル手形行爲ノ效力ニ付テハ商法施行法何等ノ明

手形上ノ權利ノ行使ニ關スル方式

手形行爲ノ效力

文ヲ掲ケス獨國手形法モ亦之ヲ規定セス學者ノ説ク所同シカラス行爲地ノ法律ニ依ルヘシトスルアリ主タル債務者ニ付テハ履行地償還義務者ニ付テハ其住所地ヲ標準トスヘシトスルアリ主タル債務者ニ付テハ履行地トシ償還義務者ニ付テハ手形ニ記載シタル行爲地其記載ナキトキハ事實上ノ行爲地ニ依ルヘシトスルアリ或ハ履行地ヲ一般ノ標準トシ主タル債務者ニ付テハ之ヲ支拂地トシ償還義務者ニ付テハ其手形行爲ノ當時ニ於ケル住所トスルアリ我法例第七條ハ法律行爲ノ效力ハ當事者ノ意思ニ從ヒ何レノ國ノ法律ニ從フヘキカラ定メ其意思分明ナラサルトキハ行爲地法ニ依ルヘシトス而シテ此規定ハ亦手形行爲ニ適用スヘキハ論ヲ俟タスト雖モ其所謂當事者ノ意思ハ法例ノ規定上必スシモ手形ニ表示スルヲ必要トセス且之ヲ表示スルモ其意思表示ハ商法ノ解釋上手形法上ノ效力ヲ生セサルヲ以テ余ハ手形行爲ニ付テハ當事者ノ意思ノ如何ヲ問ハス常ニ行爲地法ニ依ルモノト論セント欲ス而シ

テ手形行爲ノ效力ト稱スルハ行爲者ノ負擔スル責任ノ種類、範圍、債務ノ執行ヲ強制スル條件、其消滅理由特ニ時効、不可抗力ノ拒絶證書作成ノ期間ニ及ホス效力、手形上ノ權利ノ保全ニ如何ナル條件ヲ必要トスルヤ等是ナリ無記名式ノ裏書、滿期日以後ニ於ケル裏書、拒絶證書作成期間ノ經過後ニ於ケル裏書、單純ナラサル引受等各、其效力如何、支拂人ノ手ニ存スル資金ハ手形ノ移轉ニ因リテ所持人ニ移轉スルヤ否ヤ、償還金額ハ如何ニシテ之ヲ定ムルヤ、債務者ハ債權者ニ對シテ如何ナル抗辯ヲ爲スヲ得ルヤ等ノ問題亦皆行爲地法ニ依リテ之ヲ決スヘク其他擔保ノ請求又ハ償還ノ請求ヲ爲スノ條件例セハ一定ノ期間内ニ手形ヲ呈示スルノ必要アルヤ、引受又ハ支拂ノ拒絶ヲ證明スルノ必要アリヤ、所持人ハ豫備支拂人又ハ豫備支拂人ニ非サル者ノ參加引受又ハ參加支拂ヲ受諾セサルヘカラサルヤ否ヤ等亦手形行爲ノ效力ニ關スル問題ナリ

支拂ノ體様

第五 支拂ノ體様例セハ支拂日、恩惠期日等ハ支拂地ノ法律ニ依ルヘキナ

リ此點ニ關シテハ商法施行法及ヒ法例共ニ何等規定スル所ナキヲ以テ一般ノ理論ニ依リテ判斷セサルヘカラス

第九章 時效

手形上ノ債務者カ普通ノ債務者ニ比シテ嚴格ナル拘束ヲ受クルハ手形上ノ債權ヲ鞏固確實ニシ以テ手形ノ流通ヲ圓滑ナラシメントスルカ爲メナリ而シテ一方ニ於テ債務者ニ此重大ナル負擔ヲ命セハ自ツカラ他ノ一方ニ於テ債權者ニ其權利行使ヲ怠ラサルヘキヲ命シ以テ二者ノ待遇ノ均衡ヲ圖ラサルヘカラス償還請求ヲ爲スニ當タリテ特ニ短キ期間ヲ定メ其期間内ニ拒絶證書作成及ヒ通知ノ發送ヲ爲サシメ一覽後定期拂ノ手形及ヒ一覽拂ノ手形ニ付キ呈示期間等ヲ定メ他地拂ノ手形ノ所持人カ支拂擔當者ニ手形ヲ呈示シ支拂拒絶ノ場合ニ於テ拒絶證書ノ作成及ヒ通知ノ手續ヲ盡ササルトキハ主タル債務者ニ對スル權利ヲモ失フヘキヲ定メ又參加引受人アル場合ニ於テ所持人カ拒絶證書作成期間内ニ之ニ手形ヲ呈示セサルトキハ參加引受人ハ其義務ヲ免レ參加支拂ニ付テモ所持人法定ノ期

間内ニ法定ノ手續ヲ爲ササルトキハ豫備支拂人ヲ指定シタル者又ハ參加人並ニ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フニ至ル等皆此趣旨ニ基ク法律カ特ニ短期ノ時效期間ヲ定メタルモ亦債務者ノ負擔ヲ輕減スルノ制度ナリ

我商法第四百四十三條ハ時效期間ヲ定メタルノミ故ニ時效ノ中斷停止其法律上ノ效果等總ヘテ民法ノ規定ニ從ハサルヘカラス

一 引受人及ヒ約束手形ノ振出人ノ債務ハ滿期日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス他地拂手形ノ引受人他地拂約束手形ノ振出人主タル債務者ノ保證人等ノ債務モ亦理ニ於テ一ナリ參加引受人ニ付テハ參加引受ノ法律上ノ性質ト關連シ余ハ三年說ヲ是認スルモノナリ支拂人カ引受ヲ爲スニ當タリ滿期日ヲ變更シタル場合ニ於テ時效期間ハ手形ニ記載シタル滿期日ニ依ルヘキカ或ハ引受ノ滿期日ニ依ルヘキカニ付テハ學說一ナラサルモ前說ヲ正當ナリトス即チ滿期日ノ延長短

縮ヲ區別セサルナリ

一五四

二 爲替手形ノ振出人及ヒ爲替手形、約束手形、小切手ノ裏書人ニ對スル償還請求權ノ時効期間ハ六個月ニシテ所持人ニ付テハ拒絕證書作成ノ日ヨリトシ裏書人ニ付テハ償還ヲ爲シタル日ヨリトス其償還トハ必スシモ償還金額ノ支拂ノミヲ云フニ非ス相殺其他債務消滅ノ事由、交互計算ニ組入レタルモ亦償還ト同視スヘキハ當然ナリ

償還義務者カ拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル場合ニ於テ所持人之ヲ作ラシメサリシトキハ其免除ナキ場合ニ於テ作成スヘカリシ日即チ作成期間ノ末日ヲ以テ第四百四十三條ノ支拂拒絕證書作成ノ日ト解スヘキナリ

各論

爲替手形約束手形

第一章 振出

第一節 振出ノ方式

手形ハ設權證券ニシテ手形上ノ法律關係ノ設定ハ手形ナル證券ノ作成ヲ必要トシ又手形行爲ト稱スルハ各法定ノ要件アリ而シテ手形ノ發行ハ所謂基本的手形行爲ニシテ此行爲アリテ始メテ裏書引受其他ノ手形行爲ノ基礎成レリト云フヘシ殊ニ手形ハ流通ヲ目的トスル證券ニシテ其授受ニ當タリテ何人モ能ク其外觀ニ於テ手形タルヲ知ルヲ得セシメサルヘカラス之ヲ授クル者ハ嚴格ナル債務ニ服スルヲ知リ之ヲ受クル者ハ亦鞏固ナル債權ヲ取得スルヲ知リ以テ敏活ナル商業上ノ交通ニ於テ過虞ナキヲ期

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

一五五

要件ハ嚴守
ヲ要ス

セントス發行行為ノ形式ヲ定ムルノ理由茲ニ在リ故ニ左ノ結果ヲ生ス

第一 法律カ要件トシテ掲クルモノ(第四百四十五條、第五百二十五條)ハ命令的ノ性質ヲ有シ法律ハ嚴格ニ之ヲ遵奉スヘキヲ命ス其列記スル事項ハ之ヲ手形ニ記載スヘキヲ注意スルニ非ス各人ノ採否ニ任スルニ非ス故ニ之ヲ遵奉セサルトキハ手形行為トシテノ成立方式ヲ缺クモノニシテ自ツカラ手形ナク手形上ノ債權債務ヲ設定スルノ效果ヲ有セス(大審院判七六頁)而シテ其形式ヲ缺クノ理由如何ヲ問ハズ故意、錯誤、過失ノ手形行為ヲ無効タラシムルニ於テハ一ナリ

方式ハ手形
自體ヲ以テ
決ス

第二 手形タルノ方式ヲ具フルヤ否ヤハ一ニ手形其モノニ依リテ之ヲ決シ苟モ方式ヲ具ヘサレハ公然ノ瑕疵ヲ帶フルモノニシテ何人モ能ク外形ヲ見テ手形タラサルヲ知ルヘキナリ其不備ハ手形以外ノ意思表示ヲ以テ補足スルヲ許サス當事者ノ意思手形行為ヲ爲スニ在ルノ證據顯然ナルモ其事實ヲ證明シテ以テ債權債務ノ成立ヲ主張スルヲ得サルナリ

方式ハ外觀
ニ依リテ決
ス

(大審院判七六頁)

第三 手形ノ方式ハ一ニ外觀ニ依リテ之ヲ決定ス余ハ之ヲ外觀的解釋ノ原則ト稱ス蓋シ手形ニ記載セル事項ハ形式ニ於テ完全ナルヲ必要トスルノミニシテ事實ト符合スルヲ要セサルナリ若シ事實ト符合スルヤ否ヤヲ問ヒ其符合セサル場合ニ於テ手形行為ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノトセハ實ニ法律カ模標的ノ形體ヲ備ヘサルヘカラストシ且之ニ依リテ手形ノ圓滿ナル流通ヲ期シタル目的ヲ達スルヲ得サラシム凡ソ手形ノ授受ニ當タリテ其所載ノ事項カ事實ト符合スルヤ否ヤヲ調査スヘシトセハ全然手形ノ流通力ヲ奪フモノト云ハサルヘカラス而シテ手形ニ記載スル所事實ニ符合セサル場合ニ於テ其取得者ノ善意惡意ヲ問ハズ手形行為ノ效力ヲ左右スルコトナキナリ(大審院判七六頁、七九頁、九三頁、九七頁、一〇二頁、一〇六頁)此原則ニ付テハ法學新報第十四卷第一號「手形ノ外觀的解釋ノ原則」ヲ論シテ大審院ノ判例ニ及フト題スル拙論ヲ參照スヘシ

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

手形ノ外觀
ニ依リテ決
ス

手形行為の
基本的形式
として
提存
ノ
存
在
ヲ
ス

方式の備
有ハ
職權
ヲ
以
テ
調査
ス

第四 振出行爲其形式ヲ具ヘサルカ爲メ無効ナルトキハ其無効手形ニ爲シタル他ノ手形行爲モ亦自ツカラ無効タラサルヲ得ス之ヲ明定スル立法例尠カラスト雖モ敢テ明文ヲ待テ知ルヘキニ非ス唯茲ニ注意スヘキハ手形行爲獨立ノ原則ト抵觸セサルコト是ナリ法定ノ形式ヲ具ヘサルトキハ何人モ能ク手形其モノニ就テ其無効ナルヲ知ルヘケレハナリ

第五 方式ハ法律ノ嚴命スル強行的法規ニ屬シ當事者ノ意思如何ニ關セサルナリ故ニ其形式ヲ具ヘタルヤ否ヤハ裁判官職權ヲ以テ調査スヘキ事項ニシテ當事者ノ陳述ヲ待チテ始メテ判斷スルニ非ス大審院カ振出地記載ノ有無ハ職權ヲ以テ調査スヘキ事項ニ非スト判決シタルハ(大審院判決第十頁)余ノ執ラサル所ナリ又當事者カ如何ナル意思ヲ以テ或事項ヲ記載シタルヤヲ問フハ亦外觀ヲ以テ手形ノ效力ヲ決スルノ原則ト兩立セス(大審院判決第九頁四七八頁五)

振出行爲トシテ其形式ヲ具ヘタルヤ否ヤハ振出人ノ行爲ニ付テ之ヲ觀察

方式の備
有ハ
職權
ヲ
以
テ
調査
ス

ハ、キ、ハ論ナキナリ他ノ手形行爲ヲ以テ其足ラサル所ヲ補充スルヲ許サス例セハ手形金額ノ記入ナキ場合ニ於テ支拂人引受ヲ爲スニ當タリテ之ヲ記載スルモ其引受ケタル金額ヲ手形金額ト解スル能ハサルノミナラス引受モ其效力ヲ有セス又後日ニ至リ足ラサルヲ補ヒ既往ニ遡リテ不備ヲ追完スルヲ認メス然レトモ當事者ノ同意ヲ以テ之ヲ追完スルハ妨ナシ唯之ヲ稱シテ追完ト云フハ當タラス債務者ノ同意ヲ與ヘタルハ新ナル手形行爲ヲ爲シタルモノト解セサルヘカラス(大審院判決第五七頁)

以上説明シタルカ如ク法定ノ形式ハ嚴格ノ遵守ヲ要スルモ其記載カ通常ノ方法ニ依ラス若クハ正確ナラサルノ故ヲ以テ手形ヲ無効ナリトスルハ形式偏重ノ極端論ト云ハサルヘカラス多少不明ノ點アルモ手形其モノニ付テ意義ノ在ル所ヲ推知スルヲ得ヘキトキハ敢テ手形行爲ノ效力ヲ妨クルニ非サルナリ(大審院判決第八頁)

終ニ一言スヘキハ手形カ其方式ヲ缺キタル爲メ無効タル場合ニ於テ法律

上何等ノ效果ヲモ有セサルヤノ問題はナリ余ハ當事者ノ意思ハ一ニ手形上ノ債務ヲ負擔セントスルニ在リ唯單ニ債務ヲ負擔スルヲ得ハ足ルニ非サルヲ信ス

第一款 爲替手形

爲替手形振出ノ要件ハ商法第四百四十五條ニ列舉セリ

第一 爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

是學者ノ手形文句(Wechselklausel)ト稱スルモノニシテ之ヲ必要トシタル所以ハ他ノ證券ト識別シ其授受ニ當タリ爲替手形タルヲ知リ易カラシメントスルニ在リ之ヲ要件トスルト然ラサルトハ立法例ニ於テハ殆ト相

半ス

手形金額

第二 手形金額

手形金額ハ手形上ノ債權債務ノ目的ニシテ債務者ハ其支拂フヘキ金額如何ヲ知リ手形ノ取得者ヲシテ其請求スルヲ得ヘキ金額如何ヲ知ラシ

ム

一 債權債務ノ目的ハ金錢ナルヲ要ス是レ流通ノ圓滿執行ノ簡易ヲ期スルニ在リ我商法ハ商品手形ヲ認メス公債證書株券其他ノ有價證券ハ手形上ノ債權債務ノ目的タル能ハサルナリ

二 手形金額ハ一種ノ貨幣ヲ以テ示ササルヘカラス然レトモ特種ノ貨幣ヲ以テ支拂フヘキヲ記載シ若クハ外國ノ貨幣ヲ以テスルハ妨ナシ

三 手形金額記載ノ場所ハ之ヲ問ハス手形金額タルヲ推知スルヲ得ハ可ナリ

四 手形金額ハ一定ニシテ且確定ナラサルヘカラス百圓ヲ下ラサル金額ヲ支拂フヘシ滿期日ニ於テ百馬克ニ相當スル金額ヲ支拂フヘシ百圓以上ノ金額ヲ支拂フヘシ又ハ百圓或ハ二百圓ヲ支拂フヘシトスルカ如キハ共ニ手形金額ノ記載トシテ不適當ナリ利息ノ約束ニ付テハ我商法明文ヲ掲ケス然レトモ手形ニハ確定ノ金額ヲ示スヲ必要トス

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

ルカ故ニ其金額一定セサレハ計算上之ヲ確定スルヲ得ヘキ場合ト雖モ不可ナリ

五 爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額ト他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額ト定ム(第四百四十六條)外國語ヲ以テ發行スル手形ニ付テモ外國法ノ如ク文字ヲ以テ記載シタルト數字ヲ以テ記載シタルトヲ區別セス然レトモ通例文字ヲ以テ記載スルモノヲ主タル部分ノ記載ト解スヘキナリ

支拂人ノ氏名又ハ商號

第三 支拂人ノ氏名又ハ商號

支拂人ハ手形ニ記載シタル振出人ノ委託ニ應シテ手形金額ノ支拂ヲ爲スヘキ者ニシテ其氏名又ハ商號ヲ手形ニ記載セサルヘカラサルハ言ヲ俟タス其記載ハ或ハ氏名タルコトヲ得ヘク或ハ商號タルコトヲ得ヘシ而シテ法律ノ求ムル所ハ支拂人トシテ氏名又ハ商號ノ記載ノミ振出人

數人ノ支拂人

カ、支、拂、人、ト、シ、テ、指、定、セ、ン、ト、期、シ、タ、ル、者、ノ、氏、名、又、ハ、商、號、タ、ル、ヲ、要、セ、ス、又、手、形、ニ、記、載、シ、タ、ル、氏、名、又、ハ、商、號、カ、事、實、ニ、於、テ、存、在、ス、ル、ヲ、要、セ、ス、又、商、號、ニ、付、テ、ハ、固、ヨ、リ、登、記、シ、タ、ル、モ、ハ、ナ、ル、ヲ、必、要、ト、セ、ス、唯、氏、名、又、ハ、商、號、ト、シ、テ、ア、リ、得、ヘ、キ、モ、ハ、ノ、記、載、ア、ル、ヲ、以、テ、足、ル、數、人、ノ、支、拂、人、ヲ、記、載、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、ル、ヤ、否、ヤ、ニ、付、テ、バ、分、離、的、記、載、ニ、付、テ

モ重複的記載ニ付テモ學說必スシモ同シカラス甲及ヒ乙ヲ支拂人トシテ指定スルノ有效ナルハ明ナリ或ハ數人ノ支拂人ノ記載ハ數箇ノ支拂地ヲ生スヘキヲ以テ手形ヲシテ無効ナラシムト論スル者アルモ其無効ノ理由ハ支拂人ノ指定ニ關スルニ非スシテ支拂地ノ指定ナリ數人ノ支拂人アリ其住所地各相異ナルトキト雖モ一箇ノ支拂地ヲ指定シタルトキハ支拂地トシテハ唯一アルノミ而シテ數人ノ支拂人中其一人ノ引受拒絕ハ擔保請求權行使ノ結果ヲ生シ償還請求權ハ支拂人皆支拂ヲ拒絕シタル場合ニ非スンハ之ヲ行フヲ得サルモノト云ハサルヘカラス甲或

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

受取人ノ氏
名又ハ商號

第四 受取人ノ氏名又ハ商號

受取人ハ第一ノ受者ナリ無記名式ヲ以テ發行セサル手形ニ於テ之ヲ記
載スヘキハ當然ナリ而シテ其氏名又ハ商號ノ記載ニ付テハ支拂人ノ氏
名又ハ商號ニ付テ述ハタル所ヲ應用スルコトヲ得ヘシ唯茲ニ注意スヘ
キハ事實受取人トシテ指定セントシタル者ノ氏名又ハ商號ヲ記載セザ
ル場合ニ於テハ其者ハ受取人タルノ權利ヲ取得スルヲ得サルナリ
數人ノ受取人ノ記載ニ付テモ亦學說一致セス重複的記載ノ場合ニ於テ
ハ數人ノ受取人ハ共同シテ其權利ヲ行使スヘク分離的記載ノ場合ニ於
テハ受取人ハ單獨ニ其權利ヲ行ヒ又其一人ノ裏書ニ依テ後者ノ形式
的資格(裏書ノ連續)ヲ構成スルニ足ルモノト信ス

數人ノ受取
人

支拂ノ委託

第五 單純ナル支拂ノ委託

日附

第六 振出ノ年月日

爲替手形ニ在リテハ支拂ノ委託ヲ記載セサルヘカラス其委託ハ必スシ
モ振出人支拂人間ノ實質的關係ヲ表セサルハ既ニ論シタルカ如シ委託
ノ單純ナルヘク條件ヲ附スルヲ得ヌ又支拂ノ原因ヲ定メ支拂金額ノ淵
源ヲ指定スルカ如キハ之ヲ許サス

振出人カ手形發行ノ當時能力者ナリシヤ否ヤ代理人タルノ資格仍ホ消
滅セザリシヤ否ヤ破産ニ瀕シテ爲シタル行爲ナルヤ否ヤ等ヲ知ルノ便
アリ振出ノ年月日モ事實ト符合スルヲ必要トセサルハ亦外觀的解釋ノ
原則ノ一適用ナリ(大審院判決錄第一八頁)

振出ノ年月日ハ手形ノ滿期日ヲ確定スルニ必要ナルコトアリ日附後確
定シタル期間ヲ經過シタル日ヲ以テ滿期日トシタル手形ニ於テ其日附
トハ振出ノ年月日ヲ云フ又一覽拂ノ手形ニ在リテ支拂要求ノ呈示期間
及ヒ一覽後定期拂ノ手形ニ在リテ引受要求ノ呈示期間ハ振出ノ年月日

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

満期日

第七 満期日
ニ依リテ之ヲ計算ス(第四百八十二條、第四百六十六條)

満期日ニ關スル一般ノ原則

満期日トハ手形金額ノ支拂アルヘキ日ナリ債權者ハ此時期ニ於テ支拂ヲ請求スルヲ得債務者亦此時期ニ於テ支拂ヲ爲スヲ得ルナリ

満期日ノ記載方法ハ第四百五十條ニ之ヲ限定ス其他ノ指定方法ヲ認メス唯我商法ハ英國手形法ニ倣ヒ満期日ヲ記載セサルトキハ之ヲ一覽拂ノ手形ト看做ス(第四百五十一條)故ニ満期日ヲ表示スヘキ場合ニ年ノミヲ記載シタルトキハ一覽拂手形ナリト認ムヘキナリ(大審院判決、録第(十輯一五七八頁))

満期日ニ關スル一般ノ原則ヲ擧クレハ

- 一 不能ナルヘカラス、不能ナル満期日トハ振出ノ日附以前ノ時期ヲ指定シ又ハ二月三十日トスルカ如シ
- 二 不定ナルヘカラス、満期日ノ到來スルヤ否ヤハ未定ナルヘカラスルノミナラス其到來ノ時期モ亦未定ナルヘカラス換言セバ満期日ハ

満期日指定ノ方法

必然到來シ其到來スヘキ時期確定スルヲ要ス到來ノ未定トハ結婚後八日トシ成年ニ達シタル時トスルカ如シ到來スルコト必然ナルモ其時期ノ未定ナルトハ甲ノ死亡後五日トシ甲死亡ノ日ト定ムルカ如キヲ云フ

- 三 手形金額ノ全部ニ付キ一ナラサルヘカラス、其一部ニ付テ或日ヲ満期日トシ他ノ一部ニ付キ他ノ日ヲ満期日ト定メ一月一日以後毎月金百圓ヲ支拂フヘントスルハ不可ナリ又満期日ノ重複的記載若クハ分離的記載ハ手形ヲシテ無効タラシム即チ手形金額ノ全部ニ付キ満期日ノ單一確定ナルヲ要スルナリ
- 四 年ノ記載ヲ缺クハ必スシモ手形ヲ無効タラシメス 満期日カ發行ノ年ニ在ルトキ例セハ三十八年六月一日ニ振出シタル手形ニ十月三十一日トスルハ可ナリ

満期日ヲ定ムルノ方法ハ第四百五十條ニ定ムル所ニシテ之ニ依リ手形

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

ヲ四種ニ分ツコトヲ得

- 一、定日手形 定日手形トハ確定ノ日ヲ以テ満期日トシタル手形ヲ云フ而シテ其日トハ一日ヨリ長カルヘカラス亦短カルヘカラス又其日ハ手形ニ記載スヘキハ當然ナルモ必スシモ曆日ナルヲ要セス三十八年ノ天長節トシ明年ノ紀元節トスルカ如シ
- 二、日附手形 日附手形トハ日附後確定セル期間ヲ經過セル日ヲ以テ満期日トシタル手形ナリ満期日ヲ振出ノ年月日ニ依リテ確定スルナリ振出ノ年月日ヲ基礎トシテ算定スル點ニ於テ定日手形ト異ナレリ
- 三、一覽拂手形 一覽拂ノ手形トハ呈示ノ時ニ於テ支拂ハルヘキ手形ヲ云フ其支拂要求ノ呈示期間ハ法律上一年ヲ以テ最長期トス其期間内ニ於テ債權者ノ行爲ニ因リテ満期日定マルナリ
- 四、一覽後定期拂手形 一覽後定期拂手形トハ一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日ヲ以テ満期日トシタル手形ナリ其一覽ト稱スルハ法律

上單純ナル一覽ノ意ナルカ將引受要求ノ呈示ヲ指スカニ付テハ學說同シカラサルモ余ハ少クモ我商法ノ解釋トシテハ爲替手形ニ在リテハ後説ヲ可トス

支拂地

第八 支拂地

支拂地トハ手形金額ノ支拂アルヘキ地ナリ地ノ意義ハ大審院約束手形ノ振出地ニ付テ屢判決シタル所ニシテ最小獨立ノ行政區畫タル地域ヲ指スモノトセリ(大審院判決錄第七輯第五卷七七頁、同第九卷一二四頁、第九輯第六卷一〇一頁、第九輯一二〇頁、第十輯一四九頁)

我商法ハ所謂同地手形ヲ認メ振出地ト支拂地ト相異ナル (*distancia loci, Ortsverschiedenheit, de place en place, d'un lieu sur un autre*) ヲ必要トセス而シテ支拂ハ支拂人ノ住所所在地ニ於テスルヲ通例トスルカ故ニ特ニ支拂地ヲ掲ケサルトキハ手形ニ記載シタル支拂人ノ住所所在地ヲ以テ支拂地トス(第四百五十二條)若シ手形ニ住所地ノ記載ナキトキハ其手形支拂地

ナキノ故ヲ以テ無効ナリ

住所地下ハ形式的ニ解スヘキカ將真正ノ住所地タルヲ要スルカハ一箇ノ疑問ナルヘシ獨國手形法ニ於テハ支拂人ノ傍ニ記載シタル地ハ事實ノ如何ニ拘ハラズ法律上手形上ノ住所地タリト規定スルカ故ニ疑ヲ容ルルノ餘地ナシトス我商法ハ斯ル明文ヲ掲ケスト雖モ余ハ手形ノ外觀的解釋ノ原則ヨリ同一ニ論斷セサルヘカラスト信ス

數箇ノ支拂地

支拂地ハ單一ナルヲ要ス故ニ數箇ノ支拂地ハ重複的若クハ分離的ノ記載共ニ手形ヲシテ無効ナラシム然レトモ同一ノ名稱ノ地アル場合ニ於テ地名ヲ記載シタルトキハ果シテ何レノ地ヲ指示スルヤ手形面ニ於テ知ル能ハサルモ支拂地ノ記載トシテ足ル(大審院判決第一〇一頁)

振出人ノ署名

第九 振出人ノ署名

爲替手形ハ其發行ノ當時ニ於テ主タル債務者ナク手形ハ振出人ノ擔保義務ニ基キテ流通ス從テ振出人カ手形行爲者トシテ署名スヘキハ當然

數人ノ振出人

ナリ(明治三十三年法律第十七號參照)會社振出人タル場合ニハ其會社ヲ代表スル者會社ノ商號ヲ記載シ且自己ノ氏名ヲ署セサルヘカラス(大審院判決第一三五頁)數人ハ振出人ハ固ヨリ法律ノ禁セサル所ニシテ數人ハ皆自己ノ手形行爲ニ基キテ手形上ノ債務ヲ負擔ス余ハ之ヲ連帶債務者トセス(大審院判決第一五五頁參照)

印紙ヲ貼用スヘキハ印紙稅法ノ定ムル所ナリ(印紙稅法及ヒ明治三十七年法律第一號非常特別稅法)印紙ヲ貼用セサルトキハ法律ノ定ムル制裁アリト雖モ手形ヲ無効ナラシムルニ非サルナリ

第一款 約束手形

約束手形ニ在リテハ振出人カ主タル債務者トシテ自ラ支拂ヲ爲スヘキ債務ヲ負擔シ第三者ニ支拂ノ委託ヲ爲スニ非ス從テ引受ノ制度アルノ理ナク引受ノ拒絕又ハ擔保請求ニ關スル規定ハ約束手形ニ應用スヘカラサルナリ

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

振出地

約束手形發行ノ要件ハ第五百二十五條ノ列擧スル所ナリ而シテ其各箇要件ノ意義ニ付テハ第一款ニ於テ爲替手形ノ要件ニ付キ述ヘタル所ヲ應用スヘキナリ手形文句手形金額受取人ノ氏名又ハ商號振出ノ年月日一定ノ満期日等ハ總ヘテ爲替手形ト異ナルコトナシ約束手形ニ於テハ振出地ノ記載ヲ必要トシ支拂地ノ記載ナキ場合ニ於テハ振出地ヲ以テ支拂地トスルナリ(第五百二十六條)而シテ振出地トハ爲替手形ノ支拂地ト同シク事實上ノ振出地タルヲ要セサルハ外觀的解釋ノ原則ノ結果ナリ大審院モ近時此解釋ヲ取レリ尙ホ一言加フヘキハ振出人肩書ノ地ヲ振出地ト解スルハ大審院ノ屢判決セル所ナリ(大審院判決錄第七輯第九卷一四八頁)單純ナル支拂ノ約束ハ約束手形ノ要件ナリ其單純トハ爲替手形ト同シク支拂ノ約束トハ振出人ノ支拂債務負擔ノ意思表示ナリ

第三款 變形手形

爲替手形ニハ振出人受取人及ヒ支拂人アルヲ普通ノ形式トシ受取人ハ支

支拂ノ約束

拂ヲ受クヘキ者トシテ之ヲ手形ニ指定シ支拂人ハ振出人ノ手形ニ記載シタル支拂ノ委託ニ應シテ支拂ヲ爲スヘキ者トシテ之ヲ指定ス約束手形ニ在リテハ振出人ハ自ラ第一位ニ於テ支拂ヲ爲スヘキノ意思ヲ表示シ債權者トシテ受取人ヲ指定スルヲ通例トス共ニ法定ノ要件ヲ記載シテ發行スルナリ余ノ茲ニ變形手形ト云フハ前述セル普通ノ形體ヲ備ヘサル手形ノ總稱ナリ

第一 振出人自己ヲ受取人トシタル手形

爲替手形ノ振出人ハ他人ヲ受取人トシテ指定スルヲ以テ例トスルモ自己ヲ受取人トスルヲ得(第四百四十七條)此場合ニ於テハ同一人カ振出人ト受取人トノ資格ヲ併有スルナリ (Wechsel auf eigene Ordre, lettre de change tirée à l'ordre du tireur lui-même) 此種ノ手形ハ發行ノ當時ニ於テ受取人未タ定マラサルカ又之ヲ發見セサルカ若クハ先ツ支拂人ニ引受ヲ爲サシメタル後之ニ依リテ流通ヲ容易ナラシメントスル等ノ場合ニ於テ發行ス

振出人受取人同一人ナル手形

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

當然手形ト
シテ完全ナ
リ

ルナリ

振出人ト受取人トカ同一人ナル手形ハ當然完全ナルヤ否ヤニ付テハ學者其説ヲ異ニス佛法ニ於テハ學說判例共ニ裏書アリテ始メテ手形トシテ完備ストスルカ如シ獨國ノ學者中引受又ハ裏書アリテ始メテ手形ノ成立ヲ論スル者ナキニ非スト雖モ法律ハ振出人ニ許スニ自己ヲ受取人ト指定スルヲ明揭スルヲ以テ手形ノ完成ニ付テ振出人受取人カ別人ナル場合ト毫モ區別スヘキ理由ナシ而シテ裏書ハ振出人カ受取人タル資格ニ於テ之ヲ爲スモノニシテ純然タル裏書ナリ之ヲ以テ發行行為ノ補充ナリト解スヘカラス換言セハ振出ト裏書トヲ併セテ單一ノ行為ト見ル能ハス振出ノ内容ハ裏書ノ内容ヲ以テ之ヲ補充スルヲ許サス引受又ハ裏書アリテ始メテ手形トシテ成立スト論スルハ振出行爲ノ未タ完カラサル手形カ引受裏書ニ因リテ手形タルノ效力ヲ生スルヲ認ムルニ歸著スヘシ唯振出人ト受取人ト同一ナル場合ニハ債權者債務者ノ對立ヲ

振出人支拂
人同一人ナ
ル手形

缺ダヲ以テ未タ手形タルノ作用ヲ發揚セサルモノト云フヘキナリ

第二 振出人自己ヲ支拂人トシタル手形

同一人ニシテ振出人ト支拂人トノ資格ヲ併有スルハ亦我商法ノ認ムル所ニシテ(第四百四十七條)而カモ振出地支拂地ノ同地ナルト異地ナルトヲ區別セサルナリ同一ノ商號ヲ有スル本店ト支店ト又ハ支店ト支店トノ間ニ於テ手形ヲ發行シ若クハ振出人カ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲サントスルトキハ此種ノ手形ヲ發行ス (*Trassirt-eigener Wechsel, eigen-gezogener Wechsel, Wechsel an eigene Adresse*) 而シテ振出人支拂人ノ同一人ナルハ手形ノ形式ニ明ナラサルヘカラス同一人ナルヤ否ヤハ一ニ手形ノ外觀ニ依リ之ヲ決ス故ニ事實同一人ナルモ相異ナレル商號ヲ記載スルカ又一ノ方ニ於テハ氏名ヲ記載シ他方ニ於テハ商號ヲ記載シ又ハ二種ノ商號ヲ有スル者カ其一ヲ以テ振出人ト爲リ他ノ一ヲ以テ支拂人ト爲ルカ如キ場合ニ於テハ其ニ通常ノ手形ト云ハサルヘカラス

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

純然タル爲替手形ナリ

振出人自ラ支拂人トシテ手形ノ支拂ヲ爲スヘキ地位ニ在リ普通ノ爲替手形ニ於ケルカ如ク他人ニ支拂ヲ委託スルノ形ナク事實ニ於テ約束手形ニ類スト雖モ法律上之ヲ爲替手形ト論セサルヘカラス從テ引受引受拒絶及ヒ擔保請求ニ關スル規定ハ皆之ヲ適用スヘク又所持人カ手形上ノ權利ヲ保全スルノ行爲ヲ爲ササルトキハ振出人ハ其資格ニ於テ償還義務ヲ免ルルニ至ルナリ

他地拂手形

第三 他地拂手形

爲替手形ノ支拂ハ支拂人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ニ於テスルヲ通例トス而シテ振出人カ之ト異ナリタル地ヲ支拂地ト定メタルトキハ之ヲ他地拂手形(Domicilierter Wechsel, domiciliary bill)ト稱ス此種ノ手形ヲ認ムルノ要ハ主トシテ支拂人ノ營業所又ハ住所ノ所在地カ商業上ノ交通ナキカ又ハ其交通ノ甚タ稀ナル場合ニ於テ特ニ交通ノ頻繁ナル地ヲ手形ノ支拂地トシテ之ニ依リテ手形金額ノ取立ヲ簡易ニシ手形ノ流通ヲ圓滑ナ

ラシメントスルニ在リ

支拂地ハ支拂人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ト相異ナレルコト手形ノ外觀ニ於テ明ナラサルヘカラス事實上ハ異地ハ法律ハ問フ所ニ非ス二地相異ナルモ之ヲ手形ニ記載セサルトキハ他地拂手形ニ非ス又二地同シキモ相異ナレル地ヲ記載シタルトキハ他地拂手形ナリ果シテ然ラハ支拂地及ヒ支拂人ノ營業所若クハ住所ノ所在地ト解スヘキ地共ニ手形ニ顯然タラサルヘカラス然ルニ第四百五十三條ニ支拂地カ支拂人ノ住所地下異ナルトキト云ヒ手形ニ記載シタル支拂人ノ住所地下ト明言セサルヲ理由トシテ第四百五十二條ト對比シ其所謂住所地下ト明記スルノ要ナシト論スル者アリ是文字ノ末ニ拘泥シ他地拂手形ノ性質ヲ誤解スルモノナリ

他地拂手形ノ二種

他地拂手形ニ二種アリ振出人カ支拂地ニ於テ支拂人ノ爲メニ支拂ヲ爲スヘキ他人ヲ指定スルト然ラサルト是ナリ前者ヲ確定ナル他地拂手形

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

ト云ヒ後者ヲ不確定ナル他地拂手形ト稱スルヲ通例トス不確定ナル他地拂手形ニ在リテハ支拂人引受ヲ爲スニ當タリ支拂ヲ爲スヘキ他人ヲ記載スルコトアリ之ヲ記載セサルコトアリ其記載ヲ爲サシムルノ便宜ヲ與フル爲メニ振出人ハ引受要求ノ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得支拂人カ引受ヲ爲シテ支拂ヲ爲スヘキ者ヲ記載セサルトキハ引受人トシテ自ラ支拂地ニ於テ支拂ヲ爲ササルヘカラス(第四百七十二條)支拂ヲ爲スヘキ者トシテ指定セラレタル者之ヲ支拂擔當者(Domiciliat, domiciliaire, domiciliation)ト稱ス

他地拂約束手形

約束手形ニモ他地拂ナルモノアリ第五百二十九條ニ於テ爲替手形ニ關スル第四百五十三條ノ規定ヲ約束手形ニ準用シタルカ故ニ他地拂約束手形トハ振出人ノ住所地ニ非サル地ヲ以テ支拂地ト定メタル手形ヲ指稱スルナリ

無記名式手形

第四 無記名式手形

無記名式手形ハ所持人又ハ持參人ニ支拂フヘキ旨ヲ記載シタル手形ニシテ我商法ニ於テハ手形金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ發行スルヲ得ルナリ(第四百四十九條)無記名式ノ發行ハ英米法之ヲ認ム其他諸國ニ在リテハ概ネ之ヲ認メス

白地手形

第五 白地手形

白地手形(Blankwechsel)トハ手形ニ記載スヘキ要件ヲ故ラニ記載セスシテ他人ヲシテ他日之ヲ補充セシムル意思ヲ以テ發行シタル手形ナリ我商法其有效ナルヲ明定セス外國ノ法律概ネ皆然リ而シテ學說判例共ニ之ヲ有效ト認ムルカ如シ凡ソ手形ニ要件ヲ記載スルノ順序ハ法律ノ問ハサル所ニシテ時ニ於ケル先後ハ手形行爲ノ效力ヲ左右スルコトナシ故ニ發行者ニ於テ署名ヲ了シ將來他人ノ補充スル所ニ從テ責任ヲ負擔スルノ意思ヲ表示シタルトキハ法律ハ其意思表示ノ效力ヲ認メサルヘカラス(大審院判決錄第十一輯五七頁)

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

發行者ハ手形上ノ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ以テ署名セサルヘカラス署名ノ必要ナルハ論ナク債務負擔ノ意思ノ必要ナルハ手形理論ニ於テ余ノ主張スル原則ノ當然ノ結果ナリ苟モ其意思存セサルトキハ善意ノ取得者ニ對シテモ債務ヲ負擔スルコトナキナリ

白地手形ハ要件ノ補充アルマテハ手形タルノ形體ヲ具ヘサルカ故ニ署名者ニ於テ未タ手形上ノ債務ヲ負擔セス所持人ハ之ニ依リテ手形上ノ權利ヲ行フ能ハサルハ明ナリ而シテ一旦補充アリタルトキハ署名者ハ署名ノ當時ニ遡リテ責任ヲ負擔スルヤ將補充ノ時ニ於テ始メテ債務成立スルヤノ問題ニ付テハ學說一致セス然レトモ手形行為者ノ債務ハ署名ノ當時ヲ以テ之ヲ決スヘキモノナルハ反覆説述シタル所ニシテ而モ補充權カ相續若クハ移轉スルヲ得ヘキ一種ノ財產權ナルヲ認ムル以上ハ署名者ノ意思ハ白地手形ヲ授與シタル當時既ニ補充スル所ニ從テ責任ヲ負擔セント欲スルニ在リテ其意思ハ既ニ確定セルモノト云ハサ

補充ノ遡及カ

補充權ノ相續性移轉性

ルヘカラス唯手形タルノ形體ヲ具ヘサルカ故ニ所持人ニ於テ權利實行ノ手段ヲ缺クニ過キササルノミ(大審院判決第十卷五七頁參照)余ハ補充ハ遡及カヲ説クヨリ寧ロ法律關係ハ成立ハ署名ノ當時ヲ以テ之ヲ決スヘキモノト論スルヲ當タレリトス是ヲ以テ署名者死亡シ破産若クハ禁治産ノ宣告ヲ受ケ其他代理權消滅スルモ署名者ニ於テ補充スル所ニ從ヒテ債務ヲ負擔セントスル意思ニ影響ヲ及ホスノ理ナキナリ
補充權ハ一身ニ專屬スルノ權利ニ非ス署名者ハ補充スル所ニ從テ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ表明シ特定人ニ對シテ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ表示セサルトキハ手形轉ノ結果其所有權ヲ取得シタル者ニ對シテ債務者タラント欲スルモノト解セサルヘカラス是故ニ學者皆補充權ノ相續性移轉性ヲ説クナリ
補充ノ方法ニ付テハ固ヨリ當事者間ニ於テ豫メ約セル所ニ從フヘキナリ手形金額滿期日等署名ノ當時尙ホ未定ナルトキハ金額ニ付テハ其最

各論 爲替手形約束手形 振出 振出ノ方式

白地引受

高限度ヲ約シ満期日ニ付テハ其最長若クハ最短期限ヲ約シテ手形ヲ授受ス斯ノ如キ制限ヲ設ケタルトキハ之ヲ遵奉スヘキハ論ナク又當事者間明約スル所ナキトキト雖モ慣例ノ認ムル普通ノ方法ニ依リテ補充セサルヘカラサルナリ特ニ手形ノ支拂地ヲ記載シテ之ヲ他地拂トスルカ如キハ普通ノ方法ト認ムヘカラス何トナレハ支拂ハ支拂人ノ住所地ニ於テスルヲ通則トシ其他ノ地ヲ記載スルトキハ振出人ハ償還請求ニ遭遇スルノ虞アレハナリ而シテ所持人カ契約又ハ慣例ニ反シテ補充シタルトキハ署名者ハ補充權濫用ノ抗辯ヲ爲スヲ得ヘシト雖モ善意ノ取得者ニ對シテ補充シタル所ニ從テ責任ヲ負擔セサルヘカラス終ニ一言スヘキハ白地引受(Blank acceptance)モ白地手形行爲トシテ前述セル一般ノ原則ニ從テ之ヲ論スヘキナリ

第二節 任意事項

余ノ任意事項ト稱スルハ通常手形ニ記載スル事項及ヒ特別ノ必要ニ基キ

任意事項
ノ二種
手形上ノ
效力ヲ生
スル事項

テ特ニ記載スル事項ノ總稱ナリ我商法ハ手形法ニ規定セサル事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セサルノ大原則ヲ掲ケタル(第四百三十九條)ヲ以テ任意事項ト雖モ手形上ノ效力ヲ生スルモノハ手形法ニ其規定ナカルヘカラス其他ノ事項ニ至リテハ法律敢テ其記載ヲ禁スルニ非ス其記載事項カ手形ノ本體ニ反セサルニ於テハ其效力ヲ害セス唯手形法ニ規定セサルモノナルヲ以テ所謂直接ノ當事者間ニ於テ其效力ヲ有スルノミ

任意事項ヲ大別シテ二トス

第一 手形上ノ效力ヲ生スル事項ヲ列擧スル左ノ如シ

- 一 裏書禁止(第四百五十五條) 裏書ハ手形ノ通性ナリト雖モ其要素ニ非ス振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ法律ハ其效力ヲ認ム

- 二 豫備支拂人(第四百四十八條) 豫備支拂人トハ支拂人カ引受又ハ支

各論 爲替手形約束手形 振出 任意事項